

令和4年度
学校体育のあしあと



新潟市教育委員会

新潟市の子ども



確かな学力



豊かな心



健やかな体

目 次

(フォルダ No.)

表紙				01
巻頭言	学校支援課長	丸山 明生		01
I 新潟市児童生徒の体力状況				
1 令和4年度児童生徒の体力等調査結果				02
2 体力向上にかかわる研修会等				03
○ 新潟市小学校体育指導者研修会	小針小学校	三本 雄樹		
○ 新潟市中学校保健体育指導者研修会	学校支援課	高見 潤		
○ 新潟市中学校柔道安全指導研修会	新津第一中学校	捧 博陽		
II 教育研究協議会の研究				
1 小学校教育研究協議会体育部の研究				04
○ 研究発表会の内容				
研究主題	できて・わかり・動きを「つなぐ」体育授業を目指して（最終年次） ～6年間の系統性を意識した授業づくり～			
	巻北小学校	栃澤 誠		
	真砂小学校	藤本 拓矢		
2 中学校教育研究協議会保健体育部の研究				05
○ 研究の概要	木戸中学校	阿部 健		
○ 第1分科会 2年 器械運動（跳び箱運動）	大形中学校	金川 亮		
○ 第2分科会 1年 ダンス（創作ダンス）	両川中学校	矢木 忍		
○ 第3分科会 1年 保健分野 (心身の機能の発達と心の健康)	白根北中学校	新井 慧真		
○ 第4分科会 3年 保健分野 (健康な生活と疾病の予防)	潟東中学校	高森 修一		
III 各体育連盟の活動				06
1 小学校体育連盟の活動	沼垂小学校	竹松 譲		
2 中学校体育連盟の活動	小針中学校	藤田 淳		
IV 教育課程等に係る事項				07
1 年間指導計画例 小学校 中学校				
2 評価に関する参考資料				

学校体育に関する総括と展望

新潟市教育委員会
学校支援課長 丸山 明生

日頃より、各学校園において体育・保健体育や健康領域の指導、また、体力向上の活動に真摯に取り組んでいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、今年度も児童生徒の学校生活に影響を及ぼしました。各校では、体育・保健体育の授業や部活動等の児童生徒同士のかかわりの場面において、多くの制限があったことと推察しております。今後、どのような状況となっていくか、注視していく必要があると感じているところです。

このような制限の中で、全国体力運動能力、運動習慣等調査（体力テスト）では、調査対象である小学校5年生、中学校2年生の男女それぞれの体力状況について、本市は全国的にも上位に位置する結果となりました。さらに、「目標をもって学習したことが自分の『できる』『わかる』に繋がっている」と回答した児童生徒の割合が高く、全国平均値を上回っていることもわかりました。これは、小学校・中学校、両校種の教育研究協議会の体育・保健体育部の研究主題に沿った活動が実を結んでいることの表れだと感じています。そして、各校における一人一台端末を活用した個別最適な学びや協働的な学び、小中学校の体育連盟による日々の取組に大きく起因しているものと考えています。

心配なことは、令和元年度以降、児童生徒の体力状況が全国的に低下傾向であることです。本市も例外ではありません。全国平均を上回っているものの、コロナ禍における運動機会の減少、活動内容の制限は、児童生徒の体力面に大きな影響を与えました。今、児童生徒の体力向上への解決策が求められています。

本市では、毎年、自校の体力面での課題を精査し、学校全体で「体力向上ジャンプアップ」に取り組んでもらっています。「わかる」「できる」を実感できる楽しい授業や友達と取り組む組織的・計画的な活動こそ、児童生徒の意欲の高まり、体力の向上に繋がっていると感じます。令和5年度も体育・保健体育でたくさんの経験を積んでほしいと願っています。

終わりに、「学校体育のあしあと」の発刊に当たり、寄稿いただいた皆様にお礼を申し上げますとともに、本冊子が政令市新潟の学校体育の充実・発展のために活用されることを祈念し、発刊の言葉といたします。

1 新潟市児童生徒の体力状況

【令和4年度児童生徒の体力調査結果】

—小学校5年生、中学校2年生の結果から—

調査事項

(1) 実技調査 (8種目)

○握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ (中学校はハンドボール投げ)

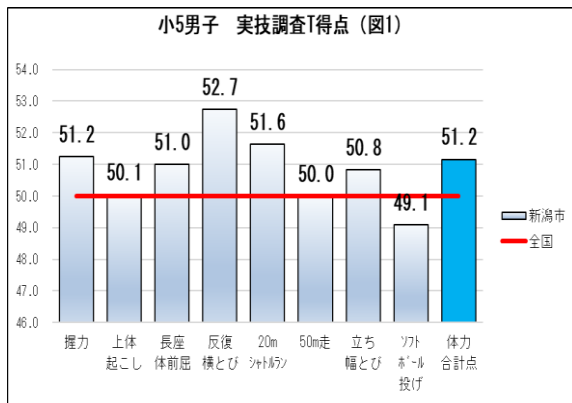
(2) 意識調査

○運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

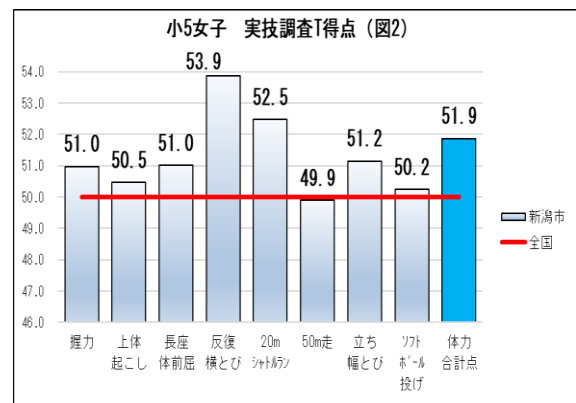


新潟市調査結果概要

(1) 小学校5年生 実技 (図1、2 () は昨年度順位)

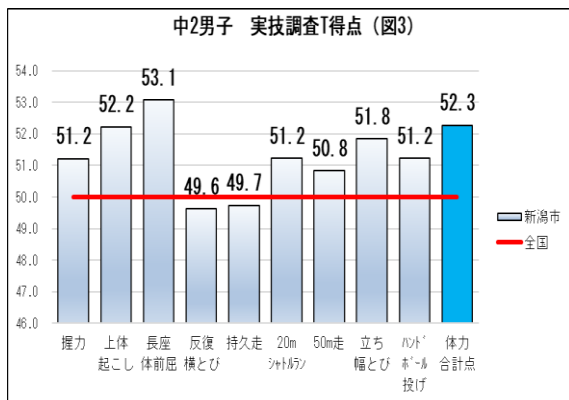


〔都道府県別〕 全国 9 位 (16位)
〔政令指定都市別〕 全国 1 位 (3位)

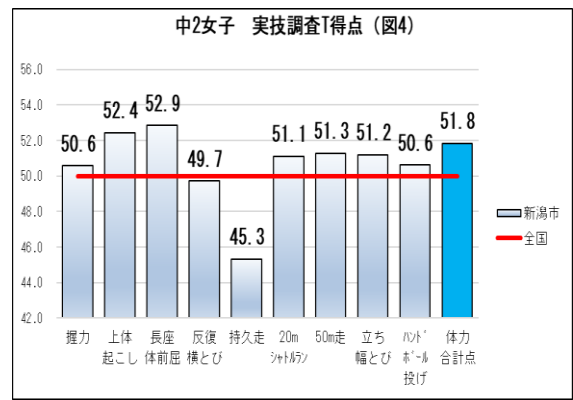


〔都道府県別〕 全国 9 位 (10位)
〔政令指定都市別〕 全国 1 位 (1位)

(2) 中学校2年生 実技 (図3、4 () は昨年度順位)



〔都道府県別〕 全国 4 位 (1位)
〔政令指定都市別〕 全国 1 位 (1位)



〔都道府県別〕 全国 6 位 (3位)
〔政令指定都市別〕 全国 3 位 (1位)

※シャトルランを「持久走」に置き換えて実施している学校もあるが、実施対象が極めて少ないため、本市ではシャトルランで全体の傾向を見取ることとする。

(3) 質問紙調査

◇運動が好きな児童生徒が多い。

小学校5年生 男子93.0% (91.9%)、女子86.0% (85.4%)

中学校2年生 男子88.9% (88.6%)、女子76.8% (76.1%)

※ () は昨年度数値

◇朝食を毎日きちんと食べたり、運動が大切であることを自覚したりして、健康な生活を送ったり意識したりしている児童生徒の割合が高い。

◇体育や保健体育の学習にすすんで取り組んでいる児童生徒が多い。

◇目標を意識して授業に臨んだり、友達との対話的な活動の中で学んだりすることで「わかる」「できる」を実感している児童生徒が多い。

◇運動や体育授業への意欲で、全国平均を下回った項目があった。「わかった」「できた」ことが「楽しい」につなげられる授業づくりが求められる。

新潟市の取組の実態

◇各校において、体力面での課題から体力向上の取組を設定し、実践している。

「体力ジャンプアップ」の取組例

○体力テストの結果を分析し、自校の課題を焦点化して取り組む。

○校内で実技講習会を設定し、指導方法や授業マネジメントについて検討する。

○体育的行事や児童会・生徒会活動とタイアップし、運動機会を増やす。

○健康増進・生活リズム改善のために、中学校区全校で共通した取組を行う。

◇体育指導者講習会を行い、各校の体育主任や保健体育担当の教員に指導法や理論を伝達している。

◇体育や保健体育の授業では、多様な方法でICT端末を活用している。自分の動きを前時と比較したり、チームの状態を動画で客観的に捉えたりするなど、使用頻度だけでなく有効な活用の方法も実践の中で検証されてきている。

全国の調査結果から見える課題

◇全国的に、令和3年度より各種目の平均値は低下している。

◇新潟市は、政令指定都市の順位や全国平均と比較すると上位にるように見えるが、令和3年度に比べ、小中男女とも体力得点は低下傾向にある。令和元年度から経年的に低下しており、新型コロナウイルス感染症の際の運動時間や場所の制限などが影響の一つとして考えられる。

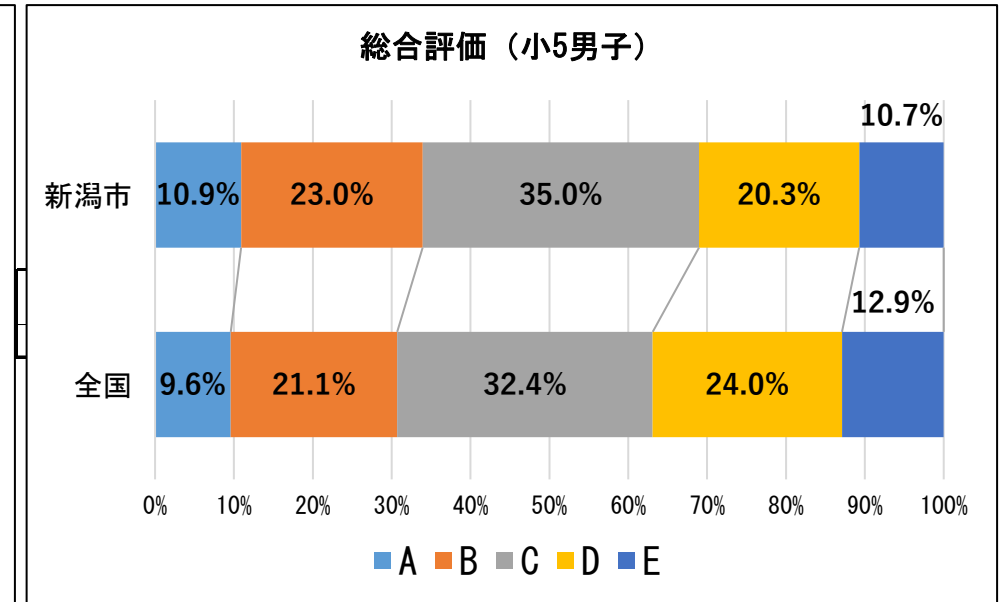
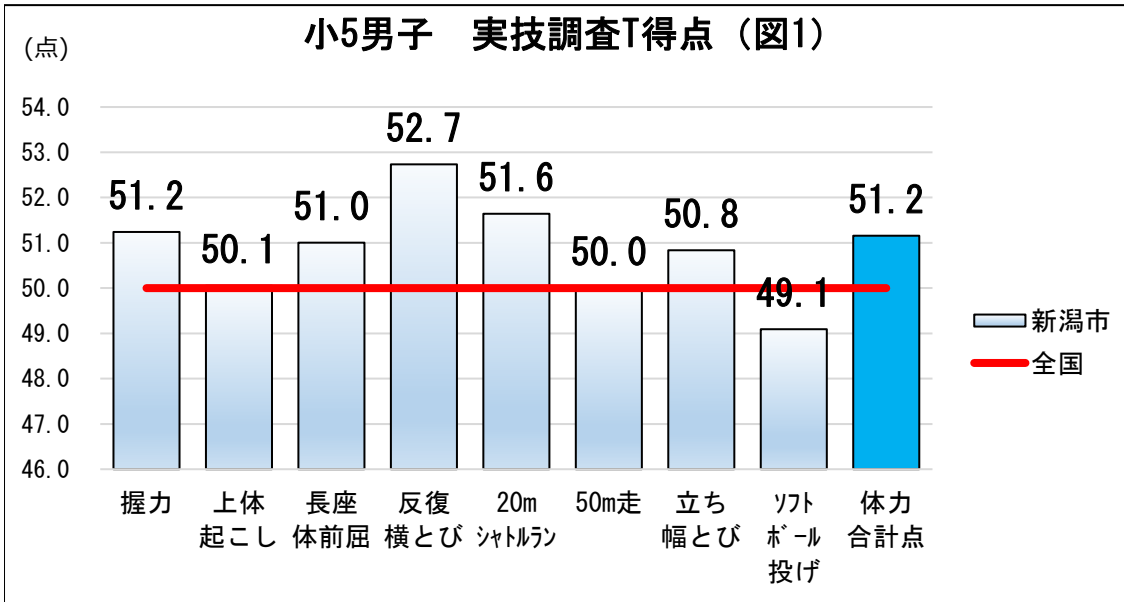


【小学校5年男子】

小学校 5年男子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	492,561	16.21	3.91	50.0	472,895	18.86	5.97	50.0	490,084	33.80	8.98	50.0	487,367	40.37	8.44	50.0
新潟市	3,203	16.69	3.87	51.2	3,196	18.89	5.73	50.1	3,196	34.65	8.47	51.0	3,188	42.62	8.23	52.7

小学校 5年男子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	468,784	45.93	21.03	50.0	486,845	9.53	1.26	50.0	488,436	150.86	23.78	50.0
新潟市	3,160	49.38	21.01	51.6	3,182	9.53	1.12	50.0	3,185	152.72	22.25	50.8

小学校 5年男子	ソフトボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	487,347	20.31	8.14	50.0	435,327	52.29	9.51	50.0	435,327	9.6%	21.1%	32.4%	24.0%	12.9%
新潟市	3,185	19.63	7.49	49.1	3,073	53.35	9.16	51.2	3,068	10.9%	23.0%	35.0%	20.3%	10.7%



【小学校5年女子】

資料2

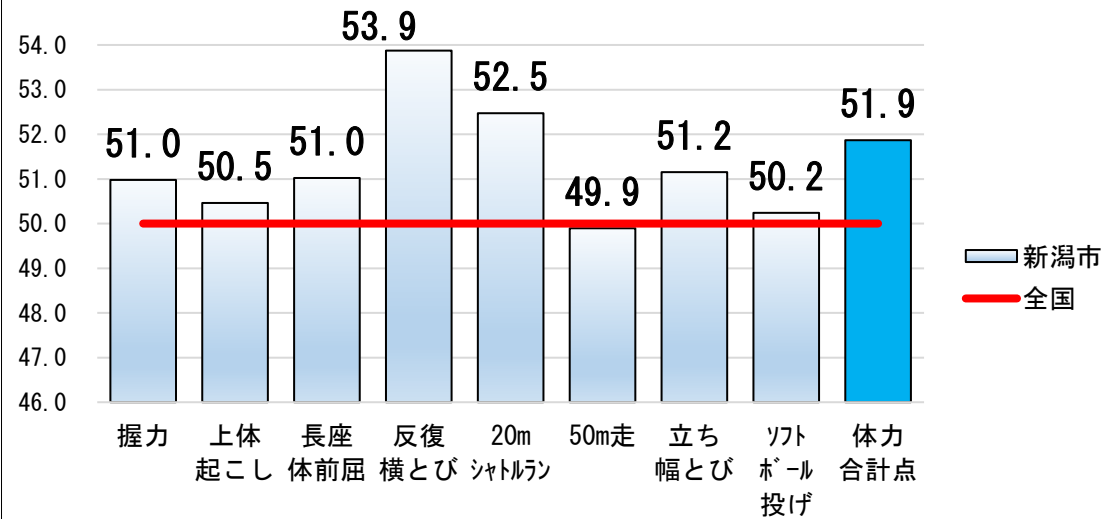
新潟市教育委員会

小学校 5年女子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	476,628	16.10	3.92	50.0	457,806	17.97	5.31	50.0	474,771	38.20	9.06	50.0	472,196	38.67	7.50	50.0
新潟市	3,016	16.49	3.99	51.0	3,011	18.20	4.98	50.5	3,011	39.07	8.52	51.0	2,995	41.42	7.10	53.9

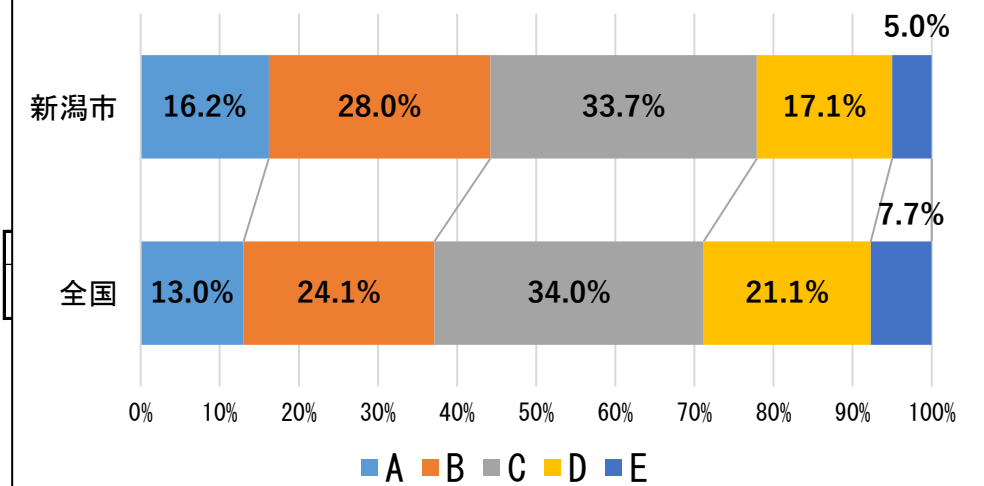
小学校 5年女子	20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	453,876	36.98	15.92	50.0	471,462	9.70	1.00	50.0	472,949	144.59	22.33	50.0
新潟市	2,986	40.90	15.86	52.5	3,006	9.71	0.95	49.9	3,006	147.06	21.44	51.2

小学校 5年女子	ソフトボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	471,610	13.16	4.72	50.0	424,139	54.32	8.91	50.0	424,139	13.0%	24.1%	34.0%	21.1%	7.7%
新潟市	2,996	13.27	4.57	50.2	2,919	55.92	8.57	51.9	2,919	16.2%	28.0%	33.7%	17.1%	5.0%

小5女子 実技調査T得点 (図2)



総合評価 (小5女子)

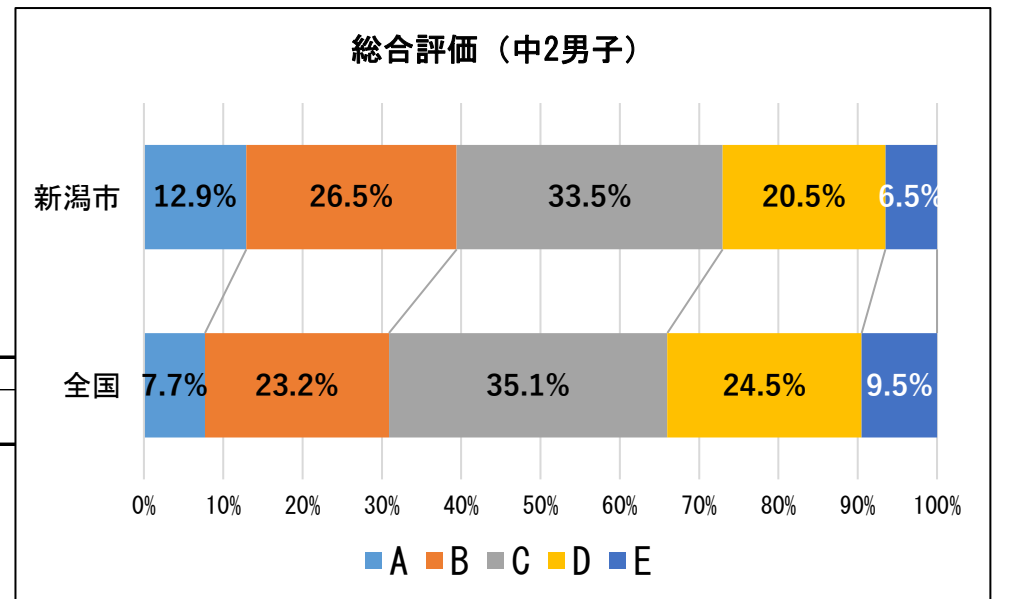
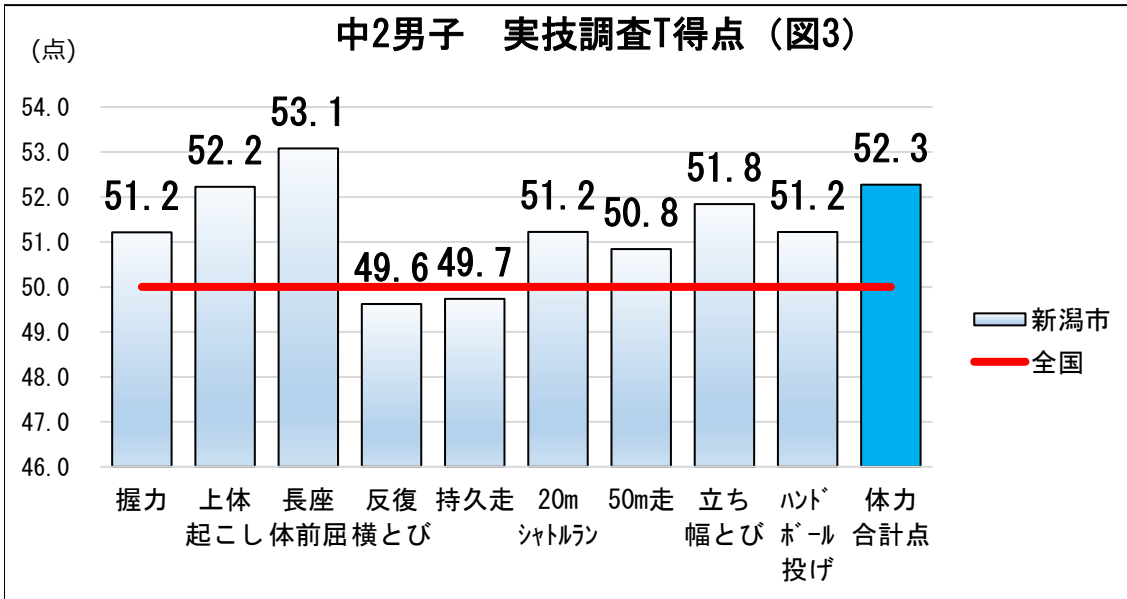


■実技集計

中学校 2年男子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	457,671	28.95	7.26	50.0	452,489	25.64	6.26	50.0	454,365	43.76	11.22	50.0	450,547	51.02	8.90	50.0
新潟市	2,971	29.82	7.17	51.2	2,962	27.10	6.56	52.2	2,951	47.39	11.79	53.1	2,940	50.66	9.46	49.6

中学校 2年男子	持久走(秒)				20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	128,492	410.92	72.45	50.0	310,422	77.69	25.79	50.0	445,279	8.06	1.07	50.0	450,488	196.82	30.36	50.0
新潟市	21	408.90	76.02	49.7	2,902	80.69	24.54	51.2	2,916	7.97	1.07	50.8	2,942	202.42	30.41	51.8

中学校 2年男子	ハンドボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	448,233	20.20	6.08	50.0	407,411	40.90	10.74	50.0	407,411	7.7%	23.2%	35.1%	24.5%	9.5%
新潟市	2,938	20.93	5.98	51.2	2,810	43.40	11.00	52.3	2,810	12.9%	26.5%	33.5%	20.5%	6.5%



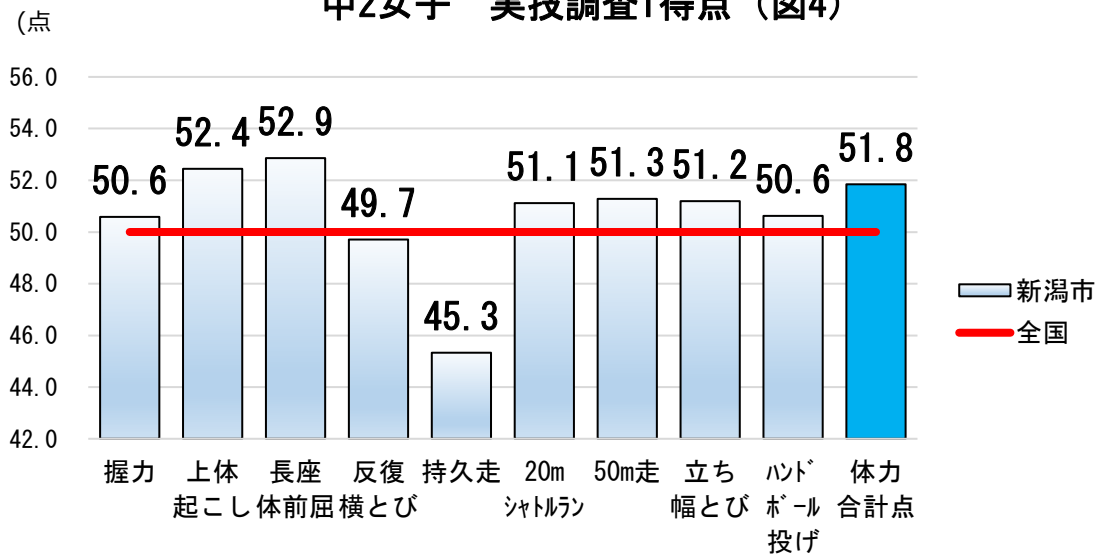
■実技集計

中学校 2年女子	握力(kg)				上体起こし(回)				長座体前屈(cm)				反復横とび(点)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	435,662	23.17	4.70	50.0	431,731	21.58	5.90	50.0	434,201	46.05	10.54	50.0	430,157	45.81	7.30	50.0
新潟市	2,754	23.44	4.62	50.6	2,731	23.02	5.89	52.4	2,742	49.14	10.81	52.9	2,733	45.60	7.20	49.7

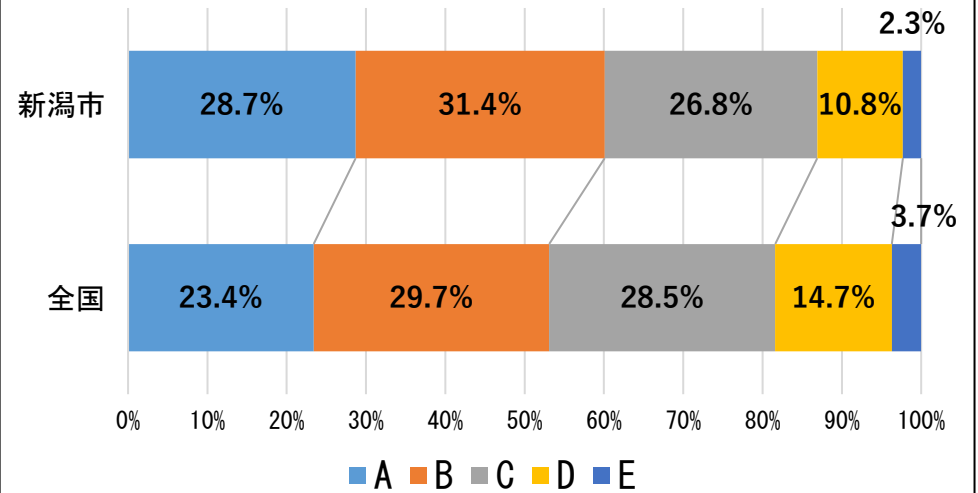
中学校 2年女子	持久走(秒)				20mシャトルラン(回)				50m走(秒)				立ち幅とび(cm)			
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点
全国	121,933	303.96	49.17	50.0	293,463	51.34	19.62	50.0	423,700	8.97	0.95	50.0	429,723	166.89	25.87	50.0
新潟市	16	289.44	31.09	45.3	2,677	53.44	18.79	51.1	2,722	8.87	0.78	51.3	2,729	170.00	26.06	51.2

中学校 2年女子	ハンドボール投げ(m)				体力合計点(点)				総合評価(%)					
	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	平均値	標準偏差	T得点	標本数	A	B	C	D	E
全国	427,575	12.38	4.17	50.0	388,872	47.28	11.51	50.0	388,872	23.4%	29.7%	28.5%	14.7%	3.7%
新潟市	2,728	12.63	4.01	50.6	2,580	49.36	11.27	51.8	2,580	28.7%	31.4%	26.8%	10.8%	2.3%

中2女子 実技調査T得点 (図4)



総合評価 (中2女子)



令和4年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

【児童・生徒質問紙】		1 運動が好き	2 自分には運動が大切である	3 朝食を毎日食べる	4 体育・保健体育の授業は楽しい	5 体育・保健体育の授業に進んで学習している	6 目標を意識した学習で、できたり分かったりする	7 友達と助け合ったり教えあったりする学習で、できたり分かったりする
小学校 5年男子	全国	92.4%	93.3%	82.3%	94.0%	93.2%	84.0%	82.6%
	新潟市	93.0%	94.3%	84.1%	93.0%	93.7%	85.3%	83.6%
小学校 5年女子	全国	86.0%	90.7%	81.1%	89.5%	91.3%	82.6%	85.3%
	新潟市	86.0%	93.2%	83.5%	88.9%	92.5%	84.5%	86.5%
中学校 2年男子	全国	88.8%	91.8%	80.1%	90.7%	90.2%	84.1%	85.3%
	新潟市	88.9%	92.1%	85.1%	88.9%	93.2%	86.8%	88.2%
中学校 2年女子	全国	77.2%	86.2%	73.6%	83.9%	87.6%	82.6%	86.9%
	新潟市	76.8%	86.3%	79.7%	79.9%	89.3%	85.5%	88.4%

※技ができるようになるための方法として「自分で工夫した」「先生や友達のまねをした」「動画を見た」等の回答が多かった。

※「運動が好き」「体育・保体は楽しい」の間で、全国平均値を下回った項目があった。「できる」「わかる」「楽しい」授業づくりが求められる。

【学校質問紙】		1 児童生徒の体力・運動能力向上のための学校としての目標の設定	2 運動・スポーツが苦手な児童生徒向けの取組、能力差に応じた取組の実施	3 体育・保体の授業での話し合う活動の実施	4 家庭への生活習慣改善のための資料の配布	5 体育・保体の授業でのICTの活用（毎時間～1週間に1回以上）	6 【ICT活用】ゲームや試合の内容を撮影（複数回答あり）	7 【ICT活用】以前に撮影した動きとの比較（複数回答あり）
小学校	全国	80.0%	52.0%	59.5%	39.6%	30.8%	31.9%	60.8%
	新潟市	93.6%	74.5%	70.2%	75.5%	45.8%	51.1%	77.7%
中学校	全国	70.0%	62.4%	87.7%	22.7%	43.4%	32.6%	50.4%
	新潟市	96.1%	84.3%	94.1%	35.3%	62.8%	47.1%	58.8%

※例年、学校で「体力向上ジャンプアップ」の計画に基づいて目標を設定し、授業等を通じて児童生徒の体力向上に取り組んでいる学校が多い。

※授業で適宜ICTを有効活用しながら、運動が苦手な児童生徒にも応じた授業づくりを行っている。今後、さらに活用例等の情報を提供したり共有の機会を設定したり

児童質問紙集計

1. 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。	①好き ②やや好き ③やや嫌い ④嫌い
-------------------------------------	------------------------------

区分	運動が好き							
	男子				女子			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国集計	69.8%	22.6%	5.2%	2.4%	55.0%	31.0%	9.7%	4.3%
新潟市	69.3%	23.7%	4.9%	2.1%	54.6%	31.4%	10.5%	3.4%

2. あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。	①大切 ②やや大切 ③あまり大切ではない ④大切ではない
--	---------------------------------------

3. 中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。	①思う ②やや思う ③あまり思わない ④思わない
---	-----------------------------------

区分	運動は大切								中学校で授業以外でも自主的に運動したい							
	男子				女子				男子				女子			
	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
全国集計	68.7%	24.6%	5.3%	1.4%	59.2%	31.5%	7.8%	1.5%	63.2%	25.2%	8.8%	2.8%	54.9%	30.1%	11.8%	3.2%
新潟市	71.0%	23.3%	4.5%	1.2%	62.2%	31.0%	5.7%	1.0%	64.3%	25.0%	8.2%	2.5%	58.0%	29.5%	9.9%	2.6%

男子

4. ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをしていますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。	月 □分 火 □分 水 □分 木 □分 金 □分 土 □分 日 □分
---	--

区分	曜日ごとの運動実施								曜日ごとの運動実施時間平均(分)							
	男子								男子							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間
全国集計	79.9%	80.0%	81.1%	79.7%	79.6%	82.8%	78.7%	95.7%	56.72	59.02	64.96	60.13	60.21	133.44	129.14	558.04
新潟市	80.6%	80.3%	81.6%	80.0%	79.3%	82.8%	78.3%	95.3%	52.00	55.07	61.69	53.83	55.05	110.05	105.08	489.92

女子

4. ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをしていますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。	月 □分 火 □分 水 □分 木 □分 金 □分 土 □分 日 □分
---	--

区分	曜日ごとの運動実施								曜日ごとの運動実施時間平均(分)							
	女子								女子							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間
全国集計	72.9%	72.5%	74.5%	72.3%	72.9%	78.0%	72.3%	94.2%	38.78	39.42	44.80	40.60	41.92	74.81	66.46	343.59
新潟市	71.6%	70.6%	74.6%	69.9%	71.7%	77.1%	71.4%	93.6%	35.10	37.40	43.20	36.39	40.72	66.56	60.10	318.10

5. 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめず)	①毎日食べる ②食べない日もある ③食べない日が多い ④食べない
------------------------------	---

区分	朝食を食べる							
	男子				女子			
	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
全国集計	82.3%	14.0%	2.7%	1.0%	81.1%	15.6%	2.7%	0.7%
新潟市	84.1%	12.9%	2.3%	0.7%	83.5%	13.9%	1.7%	0.8%

6. 毎日どのくらいねていますか。	①10時間以上 ②9時間以上10時間未満 ③8時間以上9時間未満 ④7時間以上8時間未満 ⑤6時間以上7時間未満 ⑥6時間未満
-------------------	--

区分	1日の睡眠時間											
	男子						女子					
	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満
全国集計	10.0%	27.0%	29.7%	20.6%	8.9%	3.8%	9.5%	28.9%	30.8%	19.7%	8.5%	2.7%
新潟市	8.1%	28.0%	33.3%	20.6%	7.4%	2.6%	8.9%	28.8%	34.4%	19.3%	7.2%	1.4%

7. 平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。	①5時間以上 ②4時間以上5時間未満 ③3時間以上4時間未満 ④2時間以上3時間未満 ⑤1時間以上2時間未満 ⑥1時間未満 ⑦全く見ない
---	--

区分	平日の視聴時間													
	男子							女子						
	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない
全国集計	16.9%	10.2%	13.8%	20.9%	23.5%	12.8%	2.0%	12.6%	9.4%	12.5%	19.4%	24.7%	18.6%	2.7%
新潟市	16.3%	12.2%	16.3%	23.5%	22.6%	7.9%	1.2%	11.0%	10.0%	14.4%	22.2%	27.7%	13.1%	1.6%

8. 学校の運動部や地域のスポーツクラブ(スポーツ少年団や習い事をふくみます)に入っていますか。当てはまるものをすべて選んでください。	①運動部 ②地域のスポーツクラブ ③入っていない
---	--------------------------------

9. 放課後や学校が休みの日に、運動部や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることがありますか。	①よくある ②時々ある ③あまりない ④全くない
--	-----------------------------------

区分	運動部やスポーツクラブの所属						運動部やスポーツクラブ以外で運動をすること							
	男子			女子			男子				女子			
	運動部	地域のスポーツクラブ	入っていない	運動部	地域のスポーツクラブ	入っていない	よくある	時々ある	あまりない	全くない	よくある	時々ある	あまりない	全くない
全国集計	27.2%	49.5%	34.3%	19.3%	34.6%	51.5%	43.0%	33.6%	14.2%	9.1%	31.8%	39.8%	18.0%	10.5%
新潟市	19.5%	47.5%	39.1%	12.4%	30.0%	59.9%	40.4%	34.1%	15.2%	10.2%	30.7%	40.9%	17.8%	10.6%

10. 体育の授業は楽しいですか。	①楽しい ②やや楽しい ③あまり楽しくない ④楽しくない
-------------------	---------------------------------------

区分	体育の授業は楽しい							
	男子				女子			
	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
全国集計	73.4%	20.6%	4.4%	1.7%	59.4%	30.1%	8.3%	2.2%
新潟市	71.6%	21.4%	5.0%	2.1%	55.3%	33.6%	8.8%	2.3%

<p>10-2. (質問10で「楽しい」または「やや楽しい」と回答した人) そのように思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<p>①自分が好きな種目、できる種目があるから ②体を動かすことが好きだから ③友達と一緒にできるから ④運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから ⑤いろいろな種目を体験できるから ⑥できなかったことができるようになるから ⑦先生にほめられてうれしいから ⑧友達にみとめられてうれしいから ⑨体を動かすとすっきりした気分になるから ⑩その他</p>
---	---

		体育の授業が楽しいと思う理由									
		男子									
区分		自分が好きな種目、できる種目があるから	体を動かすことが好きだから	友達と一緒にできるから	運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	いろいろな種目を体験できるから	できなかったことができるようになるから	先生にほめられてうれしいから	友達にみとめられてうれしいから	体を動かすとすっきりした気分になるから	その他
全国集計		65.7%	63.3%	58.6%	23.8%	50.7%	50.1%	17.2%	18.3%	45.4%	15.2%
新潟市		64.7%	66.3%	56.8%	24.5%	51.5%	51.2%	17.5%	19.6%	44.5%	15.6%

		体育の授業が楽しいと思う理由									
		女子									
区分		自分が好きな種目、できる種目があるから	体を動かすことが好きだから	友達と一緒にできるから	運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	いろいろな種目を体験できるから	できなかったことができるようになるから	先生にほめられてうれしいから	友達にみとめられてうれしいから	体を動かすとすっきりした気分になるから	その他
全国集計		65.1%	55.5%	58.2%	21.9%	46.7%	58.9%	17.1%	16.0%	42.9%	12.1%
新潟市		68.5%	57.2%	56.5%	21.3%	45.8%	60.4%	18.2%	16.2%	41.3%	11.2%

<p>10-3. (質問10で「あまり楽しくない」または「楽しくない」と回答した人) 今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<p>①運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら ②できなかったことができるようになったら ③自分に合った場やルールが用意されてたら ④タブレットなどのICTを活用できたら ⑤先生にほめてもらえたら ⑥友達にみとめてもらえたら ⑦先生に個別に教えてもらえたら ⑧自分のペースで行うことができたなら ⑨人と比べられなかったら ⑩その他</p>
--	--

		今後どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなると思うか									
		男子									
区分		運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	できなかったことができるようになったら	自分に合った場やルールが用意されてたら	タブレットなどのICTを活用できたら	先生にほめてもらえたら	友達にみとめてもらえたら	先生に個別に教えてもらえたら	自分のペースで行うことができたなら	人と比べられなかったら	その他
全国集計		17.5%	36.0%	25.3%	14.3%	8.5%	11.1%	7.7%	42.0%	30.3%	33.4%
新潟市		13.8%	38.1%	25.7%	12.8%	3.2%	6.9%	5.5%	39.9%	28.9%	39.0%

		今後どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなると思うか									
		女子									
区分		運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	できなかったことができるようになったら	自分に合った場やルールが用意されてたら	タブレットなどのICTを活用できたら	先生にほめてもらえたら	友達にみとめてもらえたら	先生に個別に教えてもらえたら	自分のペースで行うことができたなら	人と比べられなかったら	その他
全国集計		21.3%	50.6%	32.6%	9.4%	11.6%	13.6%	10.5%	59.6%	43.7%	24.5%
新潟市		24.1%	58.4%	34.4%	7.5%	14.4%	13.1%	10.0%	58.4%	40.0%	20.9%

11. 体育の授業では、進んで学習に参加していますか。		①いつも進んで学習している ②だいたい進んで学習している ③あまり進んで学習していない ④進んで学習することはない							
区分	進んで学習に参加している								
	男子				女子				
	いつも進んで学習している	だいたい進んで学習している	あまり進んで学習していない	進んで学習することはない	いつも進んで学習している	だいたい進んで学習している	あまり進んで学習していない	進んで学習することはない	
全国集計	63.2%	30.0%	5.6%	1.3%	55.2%	36.1%	7.4%	1.3%	
新潟市	65.1%	28.6%	4.8%	1.4%	56.0%	36.5%	6.2%	1.3%	

12. 体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。		①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない														
13. 体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。		①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない														
区分	目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること								自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」すること							
	男子				女子				男子				女子			
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国集計	32.2%	51.8%	13.4%	2.6%	26.1%	56.5%	15.3%	2.0%	34.0%	49.9%	13.7%	2.3%	28.3%	54.2%	15.6%	1.9%
新潟市	34.3%	51.0%	12.6%	2.1%	26.2%	58.3%	14.0%	1.6%	37.7%	48.1%	12.0%	2.2%	29.3%	54.7%	14.2%	1.7%

14. 体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。		①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない							
15. 体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。		①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない ⑤ICTを活用していない							
区分	友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」すること								
	男子				女子				
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	
全国集計	35.5%	47.1%	14.7%	2.8%	36.1%	49.2%	12.8%	1.9%	
新潟市	39.1%	44.5%	13.7%	2.7%	37.9%	48.6%	11.9%	1.6%	

区分	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること									
	男子					女子				
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない
全国集計	14.9%	32.5%	23.4%	5.7%	23.6%	12.8%	34.5%	23.2%	4.5%	25.0%
新潟市	17.6%	34.3%	24.5%	4.5%	19.1%	14.9%	38.5%	24.1%	3.3%	19.3%

<p>16. これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。 当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<p>①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった ②授業中に自分でくふうして練習した ③自分に合った場やルールが用意された ④先生や友達のまねをしてみた ⑤友達に教えてもらった ⑥授業中に自分の動きをさつえいした動画を見た ⑦授業外の時間に先生に教えてもらった ⑧授業外の時間に自分で練習した ⑨授業外の時間に自分で本を読んだり動画を見たりした ⑩できるようになったことがない</p>
---	---

区分	できないことができるようになったきっかけ									
	男子									
	授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	授業中自分で工夫した	自分に合った場やルールが用意された	先生や友達のまねをしてみた	友達に教えてもらった	授業中自分の動きを動画で見た	授業外に先生に教えてもらった	授業外に自分で練習した	授業外に自分で本や動画を見た	できるようになったことがない
全国集計	41.3%	40.0%	13.4%	49.7%	50.5%	11.3%	6.8%	25.4%	15.2%	4.0%
新潟市	40.5%	39.9%	11.5%	50.3%	47.5%	12.1%	6.5%	25.6%	15.9%	4.2%

区分	できないことができるようになったきっかけ									
	女子									
	授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	授業中自分で工夫した	自分に合った場やルールが用意された	先生や友達のまねをしてみた	友達に教えてもらった	授業中自分の動きを動画で見た	授業外に先生に教えてもらった	授業外に自分で練習した	授業外に自分で本や動画を見た	できるようになったことがない
全国集計	35.6%	36.2%	10.8%	56.8%	60.8%	11.4%	5.4%	30.7%	13.6%	2.8%
新潟市	34.5%	32.6%	10.2%	58.2%	61.2%	14.2%	4.5%	29.3%	15.0%	2.4%

<p>17. 体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。</p>	<p>①思う ②やや思う ③あまり思わない ④思わない</p>
--	---

区分	体育の授業は生活を健康で明るいものにする							
	男子				女子			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
全国集計	65.2%	26.3%	6.1%	2.4%	59.4%	30.0%	8.1%	2.6%
新潟市	65.3%	25.1%	7.1%	2.5%	59.5%	30.9%	7.4%	2.1%

<p>18. 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。</p>	<p>①目標を立てている ②目標は立てていない</p>
---	---------------------------------

区分	体力・運動能力向上の目標			
	男子		女子	
	目標を立てている	目標は立てていない	目標を立てている	目標は立てていない
全国集計	74.0%	26.0%	72.2%	27.8%
新潟市	75.7%	24.3%	75.0%	25.0%

生徒質問紙集計

1. 運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。					①好き ②やや好き ③やや嫌い ④嫌い			
区分	運動が好き							
	男子				女子			
	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
全国集計	61.7%	27.1%	7.4%	3.8%	44.1%	33.1%	15.2%	7.6%
新潟市	62.7%	26.2%	7.7%	3.4%	42.3%	34.5%	15.7%	7.5%

2. あなたにとって運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツは大切なものですか。					①大切 ②やや大切 ③あまり大切ではない ④大切ではない											
3. 中学校を卒業した後、自主的に運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。					①思う ②やや思う ③あまり思わない ④思わない											
区分	運動は大切								中学校卒業後、自主的に運動したい							
	男子				女子				男子				女子			
	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	大切	やや大切	あまり大切ではない	大切ではない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
全国集計	65.5%	26.3%	6.3%	1.9%	50.3%	35.9%	11.2%	2.5%	56.1%	29.3%	11.0%	3.6%	41.6%	36.4%	16.8%	5.2%
新潟市	66.4%	26.7%	4.9%	2.0%	49.9%	36.3%	11.1%	2.6%	57.1%	29.2%	10.0%	3.7%	42.8%	34.7%	17.0%	5.5%

4. 学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるものをすべて選んでください。					①運動部 ②文化部 ③地域のスポーツクラブ ④所属していない			
区分	部活動やスポーツクラブの所属							
	男子				女子			
	運動部	文化部	地域のスポーツクラブ	所属していない	運動部	文化部	地域のスポーツクラブ	所属していない
全国集計	72.8%	11.0%	18.6%	8.9%	56.4%	30.7%	10.9%	10.7%
新潟市	75.5%	9.4%	16.0%	7.8%	56.1%	32.0%	10.1%	9.3%

男子

4-2. 質問4で、「運動部」と答えた人は、部活動で1日およそどのくらいの時間、運動していますか。それぞれの曜日					月	□分										
					火	□分										
					水	□分										
					木	□分										
					金	□分										
					土	□分										
					日	□分										
区分	曜日ごとの運動実施								曜日ごとの運動実施時間平均(分)							
	男子								男子							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間
全国集計	73.1%	90.5%	65.7%	83.7%	93.1%	91.3%	40.1%	99.1%	83.97	103.26	73.67	95.94	107.11	169.15	74.93	696.37
新潟市	79.0%	89.2%	68.9%	83.4%	95.1%	94.5%	39.1%	99.4%	91.31	102.41	78.42	95.88	109.60	161.01	66.72	696.22

女子

4-2. 質問4で、「運動部」と答えた人は、部活動で1日およそどのくらいの時間、運動していますか。それぞれの曜日					月	□分										
					火	□分										
					水	□分										
					木	□分										
					金	□分										
					土	□分										
					日	□分										
区分	曜日ごとの運動実施								曜日ごとの運動実施時間平均(分)							
	女子								女子							
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間
全国集計	71.8%	90.2%	63.6%	82.9%	93.1%	91.6%	31.7%	99.2%	82.53	101.91	71.07	94.34	106.37	169.86	56.97	673.67
新潟市	75.0%	92.3%	65.4%	84.9%	93.7%	94.4%	34.7%	99.6%	87.93	106.60	75.35	97.29	106.71	174.49	66.91	708.92

男子

5. 普段の1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。(質問4-2で時間を書いた人は、その時間を含めて記入してください)	月	<input type="checkbox"/>	分	火	<input type="checkbox"/>	分	水	<input type="checkbox"/>	分	木	<input type="checkbox"/>	分	金	<input type="checkbox"/>	分	土	<input type="checkbox"/>	分	日	<input type="checkbox"/>	分
	曜日ごとの運動実施										曜日ごとの運動実施時間平均(分)										
区分	男子										男子										
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間					
全国集計	78.8%	85.6%	77.0%	82.8%	86.5%	88.5%	68.1%	94.2%	81.66	96.53	79.31	91.55	98.95	176.73	115.65	733.78					
新潟市	80.3%	85.1%	76.8%	82.4%	87.5%	89.6%	63.0%	94.5%	87.12	95.07	81.03	90.43	101.04	158.58	91.71	700.13					

女子

5. 普段の1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、1日にどのくらいの時間、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをしていますか。(質問4-2で時間を書いた人は、その時間を含めて記入してください)	月	<input type="checkbox"/>	分	火	<input type="checkbox"/>	分	水	<input type="checkbox"/>	分	木	<input type="checkbox"/>	分	金	<input type="checkbox"/>	分	土	<input type="checkbox"/>	分	日	<input type="checkbox"/>	分
	曜日ごとの運動実施										曜日ごとの運動実施時間平均(分)										
区分	女子										女子										
	月	火	水	木	金	土	日	1週間	月	火	水	木	金	土	日	1週間					
全国集計	68.5%	74.3%	66.1%	71.8%	75.6%	79.0%	54.8%	87.7%	62.66	73.20	58.14	69.36	76.58	123.66	60.47	519.43					
新潟市	67.2%	74.0%	63.9%	70.9%	74.6%	78.4%	50.0%	86.8%	63.15	74.86	58.17	69.15	74.14	120.49	57.62	514.22					

6. 朝食は毎日食べますか。(学校が休みの日もふくめます)	①毎日食べる ②食べない日もある ③食べない日が多い ④食べない							
	朝食を食べる							
区分	男子				女子			
	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない	毎日食べる	食べない日もある	食べない日が多い	食べない
全国集計	80.1%	13.9%	3.8%	2.2%	73.6%	20.3%	4.3%	1.8%
新潟市	85.1%	10.4%	2.7%	1.7%	79.7%	16.1%	2.9%	1.3%

7. 毎日どのくらいねていますか。	①10時間以上 ②9時間以上10時間未満 ③8時間以上9時間未満 ④7時間以上8時間未満 ⑤6時間以上7時間未満 ⑥6時間未満											
	1日の睡眠時間											
区分	男子						女子					
	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満	10時間以上	9時間以上10時間未満	8時間以上9時間未満	7時間以上8時間未満	6時間以上7時間未満	6時間未満
全国集計	2.0%	6.4%	19.4%	37.4%	26.2%	8.6%	1.1%	4.4%	14.7%	33.6%	33.6%	12.6%
新潟市	1.6%	4.9%	21.1%	37.7%	26.8%	7.9%	0.8%	4.1%	17.1%	36.5%	32.2%	9.3%

8. 平日(月～金曜日)について聞きます。
 学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。

①5時間以上
 ②4時間以上5時間未満
 ③3時間以上4時間未満
 ④2時間以上3時間未満
 ⑤1時間以上2時間未満
 ⑥1時間未満
 ⑦全く見ない

区分	平日の視聴時間													
	男子							女子						
	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない	5時間以上	4時間以上5時間未満	3時間以上4時間未満	2時間以上3時間未満	1時間以上2時間未満	1時間未満	全く見ない
全国集計	16.6%	11.7%	18.4%	26.2%	20.9%	5.5%	0.7%	14.8%	11.3%	18.1%	25.9%	21.7%	7.4%	0.6%
新潟市	13.2%	10.9%	19.1%	28.8%	22.3%	5.0%	0.6%	10.7%	10.7%	18.8%	29.1%	24.3%	6.1%	0.3%

9. 放課後や学校が休みの日に、部活動や地域のスポーツクラブ以外で、運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることがありますか。

①よくある
 ②時々ある
 ③あまりない
 ④全くない

区分	部活動やスポーツクラブ以外で運動をすること							
	男子				女子			
	よくある	時々ある	あまりない	全くない	よくある	時々ある	あまりない	全くない
全国集計	33.2%	32.8%	20.7%	13.3%	17.9%	32.8%	29.8%	19.4%
新潟市	28.4%	32.6%	23.9%	15.0%	15.2%	30.2%	31.6%	23.0%

10. 保健体育の授業は楽しいですか。

①楽しい
 ②やや楽しい
 ③あまり楽しくない
 ④楽しくない

区分	体育の授業は楽しい							
	男子				女子			
	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない	楽しい	やや楽しい	あまり楽しくない	楽しくない
全国集計	56.8%	33.9%	6.7%	2.6%	41.9%	42.0%	12.6%	3.5%
新潟市	52.4%	36.5%	7.8%	3.3%	36.4%	43.5%	15.8%	4.3%

<p>10-2. (質問10で「楽しい」または「やや楽しい」と回答した人) そのように思う理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①自分が好きな種目、できる種目があるから ②体を動かすことが好きだから ③友達と一緒にできるから ④運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから ⑤いろいろな種目を体験できるから ⑥できなかったことができるようになるから ⑦先生にほめられてうれしいから ⑧友達にみとめられてうれしいから ⑨体を動かすとすっきりした気分になるから ⑩その他
---	--

		体育の授業が楽しいと思う理由									
		男子									
区分		自分が好きな種目、できる種目があるから	体を動かすことが好きだから	友達と一緒にできるから	運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	いろいろな種目を体験できるから	できなかったことができるようになるから	先生にほめられてうれしいから	友達にみとめられてうれしいから	体を動かすとすっきりした気分になるから	その他
全国集計		60.4%	57.4%	65.6%	14.4%	47.4%	32.2%	10.3%	11.7%	39.7%	8.5%
新潟市		59.6%	56.6%	62.5%	12.1%	40.2%	29.4%	9.5%	12.5%	34.6%	7.9%

		体育の授業が楽しいと思う理由									
		女子									
区分		自分が好きな種目、できる種目があるから	体を動かすことが好きだから	友達と一緒にできるから	運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえるから	いろいろな種目を体験できるから	できなかったことができるようになるから	先生にほめられてうれしいから	友達にみとめられてうれしいから	体を動かすとすっきりした気分になるから	その他
全国集計		60.6%	47.3%	66.9%	11.7%	41.7%	38.4%	11.4%	11.0%	36.1%	8.1%
新潟市		59.7%	45.3%	67.8%	9.1%	34.0%	33.5%	9.5%	13.4%	28.7%	8.4%

<p>10-3. (質問10で「あまり楽しくない」または「楽しくない」と回答した人) 今後どのようなことがあれば、今より体育の授業が楽しくなると思いますか。当てはまるものをすべて選んでください。</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら ②できなかったことができるようになったら ③自分に合った場やルールが用意されてたら ④タブレットなどのICTを活用できたら ⑤先生にほめてもらえたら ⑥友達にみとめてもらえたら ⑦先生に個別に教えてもらえたら ⑧自分のペースで行うことができたなら ⑨人と比べられなかったら ⑩その他
--	---

		今後どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなると思うか									
		男子									
区分		運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	できなかったことができるようになったら	自分に合った場やルールが用意されてたら	タブレットなどのICTを活用できたら	先生にほめてもらえたら	友達にみとめてもらえたら	先生に個別に教えてもらえたら	自分のペースで行うことができたなら	人と比べられなかったら	その他
全国集計		13.1%	31.5%	20.0%	11.6%	5.8%	6.3%	3.4%	38.1%	26.8%	35.6%
新潟市		11.5%	31.6%	21.7%	13.7%	4.8%	4.8%	2.2%	40.9%	27.2%	32.3%

		今後どのようなことがあれば体育の授業が楽しくなると思うか									
		女子									
区分		運動のコツやポイントを分かりやすく教えてもらえたら	できなかったことができるようになったら	自分に合った場やルールが用意されてたら	タブレットなどのICTを活用できたら	先生にほめてもらえたら	友達にみとめてもらえたら	先生に個別に教えてもらえたら	自分のペースで行うことができたなら	人と比べられなかったら	その他
全国集計		13.8%	50.1%	29.3%	4.9%	9.2%	7.9%	4.1%	56.7%	40.5%	24.4%
新潟市		11.9%	45.6%	28.7%	5.9%	5.6%	5.6%	2.4%	56.9%	42.8%	21.9%

11. 保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。				①いつも進んで学習している ②だいたい進んで学習している ③あまり進んで学習していない ④進んで学習することはない				
区分	進んで学習に参加している							
	男子				女子			
	いつも進んで学習している	だいたい進んで学習している	あまり進んで学習していない	進んで学習することはない	いつも進んで学習している	だいたい進んで学習している	あまり進んで学習していない	進んで学習することはない
全国集計	46.6%	43.6%	8.1%	1.7%	37.5%	50.1%	10.6%	1.7%
新潟市	51.3%	41.9%	5.6%	1.2%	40.5%	48.8%	9.0%	1.6%

12. 保健体育の授業で、目標(ねらい・めあて)を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。				①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない												
13保健、体育の授業で、自分に合った練習の方法を選んで学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。				①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない												
区分	目標を意識した学習で「できたり、わかったり」すること								自分に合った練習の方法で「できたり、わかったり」すること							
	男子				女子				男子				女子			
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国集計	26.1%	58.0%	13.9%	2.0%	20.6%	62.0%	15.8%	1.6%	27.8%	55.4%	14.8%	2.0%	21.1%	59.3%	17.9%	1.7%
新潟市	31.6%	55.2%	11.5%	1.7%	26.5%	59.0%	13.4%	1.2%	33.6%	53.3%	11.5%	1.6%	25.1%	58.2%	15.4%	1.2%

14. 保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。				①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない				
15. 保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。				①いつもある ②だいたいある ③あまりない ④全くない ⑤ICTを活用していない				
区分	友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」すること							
	男子				女子			
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない
全国集計	31.8%	53.5%	12.6%	2.1%	30.5%	56.4%	11.6%	1.5%
新潟市	36.9%	51.3%	10.6%	1.2%	34.2%	54.2%	10.6%	1.1%

区分	ICTを使った学習で「できたり、わかったり」すること									
	男子					女子				
	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない	いつもある	だいたいある	あまりない	全くない	ICTを活用していない
全国集計	11.4%	33.9%	22.3%	4.4%	28.0%	8.1%	35.5%	23.1%	3.4%	30.0%
新潟市	16.1%	38.0%	23.2%	3.6%	19.1%	12.4%	41.5%	23.4%	2.8%	19.9%

16. これまでの保健体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか。
 当てはまるものをすべて選んでください。

①授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
 ②授業中に自分でくふうして練習した
 ③自分に合った場やルールが用意された
 ④先生や友達のまねをしてみた
 ⑤友達に教えてもらった
 ⑥授業中に自分の動きをさつえいした動画を見た
 ⑦授業外の時間に先生に教えてもらった
 ⑧授業外の時間に自分で練習した
 ⑨授業外の時間に自分で本を読んだり動画を見たりした
 ⑩できるようになったことがない

区分	できないことができるようになったきっかけ									
	男子									
	授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	授業中自分で工夫した	自分に合った場やルールが用意された	先生や友達のまねをしてみた	友達に教えてもらった	授業中自分の動きを動画で見た	授業外に先生に教えてもらった	授業外に自分で練習した	授業外に自分で本や動画を見た	できるようになったことがない
全国集計	37.2%	42.0%	9.4%	45.6%	56.2%	8.1%	3.5%	12.5%	8.8%	5.1%
新潟市	32.2%	42.9%	9.1%	42.9%	54.6%	10.7%	3.2%	11.1%	7.6%	4.5%

区分	できないことができるようになったきっかけ									
	女子									
	授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった	授業中自分で工夫した	自分に合った場やルールが用意された	先生や友達のまねをしてみた	友達に教えてもらった	授業中自分の動きを動画で見た	授業外に先生に教えてもらった	授業外に自分で練習した	授業外に自分で本や動画を見た	できるようになったことがない
全国集計	36.5%	37.2%	8.1%	55.2%	66.7%	9.8%	2.8%	15.5%	8.6%	4.0%
新潟市	30.4%	37.3%	7.3%	49.9%	64.1%	13.5%	2.1%	13.7%	6.9%	3.8%

17. 保健体育の授業を受けることは、あなたの生活を健康で明るいものにする1つの要素になっていますか。

①思う
 ②やや思う
 ③あまり思わない
 ④思わない

区分	体育の授業は生活を健康で明るいものにする							
	男子				女子			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
全国集計	57.0%	32.8%	7.5%	2.7%	47.6%	38.1%	11.0%	3.3%
新潟市	57.5%	31.8%	7.8%	2.9%	46.3%	38.8%	11.5%	3.3%

18. 体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。

①目標を立てている
 ②目標は立てていない

区分	体力・運動能力向上の目標			
	男子		女子	
	目標を立てている	目標は立てていない	目標を立てている	目標は立てていない
全国集計	68.6%	31.4%	65.0%	35.0%
新潟市	73.3%	26.7%	71.5%	28.5%

新潟市 学校質問紙集計（小学校）

1. 令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。	①設定していた ②設定していなかった
2. 令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。	①全学年で設定していた ②一部の学年が設定していた ③設定していなかった

区分	前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定		前年度、学年としての体力・運動能力向上の目標設定		
	設定していた	設定していなかった	全学年で設定していた	一部の学年が設定していた	設定していなかった
全国集計	80.0%	20.0%	42.4%	19.3%	38.3%
新潟市	93.6%	6.4%	57.4%	24.5%	18.1%

3. 令和3年度に、体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	①全ての児童に対して行った ②一部の学年の児童に対して行った ③行っていない
3-2.（質問3で①または②を回答した学校）その取組はどのくらいの期間行いましたか。	①年間を通して行った ②半年程度行った ③3か月程度行った ④1か月程度行った
3-3.（質問3で①または②を回答した学校）その取組をいつ行いましたか。（複数回答可）	①始業前 ②中休み ③昼休み ④放課後 ⑤その他

区分	体育授業以外で、体力・運動能力の向上に係る取組			取組を行った期間				取組を行った時間（複数回答可）				
	すべての生徒に対して行った	一部の学年の生徒に対して行った	行っていない	年間を通して行った	半年程度行った	3か月程度行った	1か月程度行った	始業前	中休み	昼休み	放課後	その他
全国集計	77.2%	8.3%	14.5%	52.6%	7.9%	13.9%	25.7%	33.9%	60.7%	45.0%	7.7%	10.4%
新潟市	73.4%	13.8%	12.8%	37.8%	8.5%	14.6%	39.0%	13.4%	57.3%	75.6%	8.5%	7.3%

3-4.（質問3で①または②を回答した学校）どのような活動を行いましたか。（複数回答可）	①なわとび ②ランニング ③体操 ④ボール運動 ⑤複合した活動 ⑥運動遊び ⑦特定していない ⑧その他
--	--

区分	活動の内容（複数回答可）							
	なわとび	ランニング	体操	ボール運動	複合した活動	運動遊び	特定していない	その他
全国集計	68.3%	56.6%	15.1%	20.4%	14.8%	29.7%	2.4%	11.2%
新潟市	64.6%	35.4%	6.1%	18.3%	6.1%	28.0%	4.9%	12.2%

3-5. (質問3で①または②を回答した学校) その活動を行う上で、どのような取組をしましたか。 (複数回答可)	①縦割り(異学年)での交流を行った ②児童による自主的な準備・計画を取り入れた ③学級対抗などの対戦形式を取り入れた ④数値目標を設定した ⑤記録カードなどを活用し自己の成果を記録した ⑥児童が行える運動遊びの種類を多く設定した ⑦その他
3-6. (質問3で①または②を回答した学校) その取組には、教師はどのように関わっていますか。	①全教師が参加する ②該当学年の担当教師が参加する ③一部担当教師が参加する
3-7. (質問3で①または②を回答した学校) その取組時間は、前年度と比べて変わっていますか。	①増えた ②ほとんど変わらない ③減った

区分	活動を行う上での取組(複数回答可)							教師の参加状況			取組時間の変化		
	縦割り(異学年)での交流を行った	児童による自主的な準備・計画を取り入れた	学級対抗などの対戦形式を取り入れた	数値目標を設定した	記録カードなどを活用し自己の成果を記録した	児童が行える運動遊びの種類を多く設定した	その他	全教師が参加する	該当学年の担当教師が参加する	一部担当教師が参加する	増えた	ほとんど変わらない	減った
全国集計	37.4%	35.2%	16.9%	33.9%	63.4%	21.7%	3.7%	59.8%	24.2%	15.9%	25.2%	67.8%	7.0%
新潟市	26.8%	39.0%	15.9%	35.4%	68.3%	25.6%	2.4%	37.8%	40.2%	22.0%	29.3%	65.9%	4.9%

4. 教師は自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組みに、積極的に参加していますか。	①よくしている ②どちらかといえばしている ③あまりしていない ④全くしていない
---	---

区分	体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために研修や研究会に参加			
	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
全国集計	13.5%	54.0%	31.2%	1.3%
新潟市	13.8%	57.4%	28.7%	0.0%

5. 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある児童向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っていますか。(行う予定はありますか)	①行っている ②行う予定である ③行っていない
6. 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。	①反映した ②反映しなかった
7. 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。(行う予定ですか)	①行った ②行う予定である ③特定の学年のみ行った ④特定の学年のみ行う予定である ⑤行わない(行う予定はない)

区分	運動・スポーツが苦手な児童向けの取組、能力差に応じた取組			調査結果を踏まえた年間指導計画の改善		調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善				
	行っている	行う予定である	行っていない	反映した	反映しなかった	行った	行う予定である	特定の学年のみ行った	特定の学年のみ行う予定である	行わない(行う予定はない)
全国集計	52.0%	28.3%	19.7%	69.4%	30.6%	41.2%	42.3%	7.2%	2.6%	6.7%
新潟市	74.5%	21.3%	4.3%	72.3%	27.7%	43.6%	48.9%	3.2%	1.1%	3.2%

8. 体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を生徒に示す活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない
9. 体育の授業の最後に、その授業で学習したことをふり返る活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない
10. 体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない

区分	体育授業の目標を生徒に示す活動				体育授業で学習したことをふり返る活動				体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動			
	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない
全国集計	49.2%	48.3%	2.3%	0.1%	36.2%	58.1%	5.5%	0.2%	40.7%	56.6%	2.6%	0.1%
新潟市	39.4%	57.4%	3.2%	0.0%	25.5%	67.0%	7.4%	0.0%	38.3%	60.6%	1.1%	0.0%

11. 体育の授業では、児童同士で話し合う活動を取り入れていますか。	①全ての学年で取り入れている ②一部の学年で取り入れている ③取り入れていない
------------------------------------	---

区分	体育の授業での児童同士で話し合う活動		
	全ての学年で取り入れている	一部の学年で取り入れている	取り入れていない
全国集計	59.5%	38.5%	1.9%
新潟市	70.2%	29.8%	0.0%

12. 体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	①毎時間活用している ②週に1時間程度活用している ③月に1時間程度活用している ④年に数時間程度活用している ⑤ICTを活用していない
--	--

区分	体育指導でのICTの活用頻度				
	毎時間活用している	週に1時間	月に1時間	年に数時間	ICTを活用していない
全国集計	3.3%	27.5%	35.7%	29.5%	4.0%
新潟市	4.3%	41.5%	40.4%	13.8%	0.0%

<p>12-2. 体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか。（複数回答可）</p>	<p>①児童の動きを撮影し、児童同士で確認をさせることで、課題発見に繋げるようにしている ②ゲームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる際の参考にできるようにしている ③以前に撮影した児童の動きと比較して、変容を確認させるようにしている ④毎時間の児童のデータを記録してそのデータを見せることで、個人の目標を立てさせるなど技能の向上に役立っている ⑤その他（自由記述）（100文字以内）</p>
---	--

区分	体育指導での授業中のICTの活用 (複数回答可)				
	児童の動きを撮影	ゲームや試合の様子を撮影	以前に撮影した動きと比較	毎時間記録	その他
全国集計	90.6%	31.9%	60.8%	11.3%	8.1%
新潟市	92.6%	51.1%	77.7%	18.1%	6.4%

<p>13. 令和4年度に水泳運動（水遊び）の授業をどこで実施していますか。 (予定を含む)</p>	<p>①自校のプールで実施する ②近隣の学校のプールで実施する ③近隣の公営プールで実施する ④民間のスイミングクラブ等で実施し、教員のみで指導する。 ⑤民間のスイミングクラブ等で実施し、インストラクター等の指導協力を得る。 ⑥その他（自由記述）（100文字以内）</p>
--	---

区分	令和4年度の水泳授業実施場所(予定含む)					
	自校のプール	近隣学校のプール	近隣の公営プール	民間のスイミングクラブにて教員指導	民間のスイミングクラブにてインストラクターからの指導	その他
全国集計	81.0%	2.0%	7.2%	0.6%	3.0%	6.2%
新潟市	86.2%	1.1%	4.3%	0.0%	0.0%	8.5%

新潟市 学校質問紙集計（中学校）

1. 令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学校全体の目標を設定していましたか。	①設定していた ②設定していなかった
2. 令和3年度に、児童の体力・運動能力の向上のための学年としての目標を、学校としての目標と別に設定していましたか。	①全学年で設定していた ②一部の学年が設定していた ③設定していなかった

区分	前年度、学校全体の体力・運動能力向上の目標設定		前年度、学年としての体力・運動能力向上の目標設定		
	設定していた	設定していなかった	全学年で設定していた	一部の学年が設定していた	設定していなかった
全国集計	70.0%	30.0%	47.8%	7.5%	44.7%
新潟市	96.1%	3.9%	52.9%	5.9%	41.2%

3. 令和3年度に、体育授業以外で、全ての児童の体力・運動能力の向上に係る取組を行いましたか。	①全ての児童に対して行った ②一部の学年の児童に対して行った ③行っていない
3-2.（質問3で①または②を回答した学校）その取組はどのくらいの期間行いましたか。	①年間を通して行った ②半年程度行った ③3か月程度行った ④1か月程度行った
3-3.（質問3で①または②を回答した学校）その取組をいつ行いましたか。（複数回答可）	①始業前 ②中休み ③昼休み ④放課後 ⑤その他

区分	体育授業以外で、体力・運動能力の向上に係る取組			取組を行った期間				取組を行った時間（複数回答可）				
	すべての生徒に対して行った	一部の学年の生徒に対して行った	行っていない	年間を通して行った	半年程度行った	3か月程度行った	1か月程度行った	始業前	中休み	昼休み	放課後	その他
全国集計	45.2%	10.0%	44.8%	63.8%	6.3%	8.4%	21.6%	25.7%	2.2%	35.2%	30.9%	27.5%
新潟市	51.0%	7.8%	41.2%	76.7%	10.0%	3.3%	10.0%	16.7%	0.0%	56.7%	26.7%	20.0%

3-4.（質問3で①または②を回答した学校）どのような活動を行いましたか。（複数回答可）	①なわとび ②ランニング ③体操 ④ボール運動 ⑤複合した活動 ⑥運動遊び ⑦特定していない ⑧その他
--	--

区分	活動の内容（複数回答可）							
	なわとび	ランニング	体操	ボール運動	複合した活動	運動遊び	特定していない	その他
全国集計	17.8%	45.7%	17.9%	26.0%	24.5%	18.0%	9.9%	15.0%
新潟市	6.7%	30.0%	10.0%	40.0%	30.0%	36.7%	3.3%	16.7%

3-5. (質問3で①または②を回答した学校) その活動を行う上で、どのような取組をしましたか。 (複数回答可)	①縦割り(異学年)での交流を行った ②生徒による自主的な準備・計画を取り入れた ③学級対抗などの対戦形式を取り入れた ④数値目標を設定した ⑤記録カードなどを活用し自己の成果を記録した ⑥生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した ⑦その他
3-6. (質問3で①または②を回答した学校) その取組には、教師はどのように関わっていますか。	①全教師が参加する ②該当学年の担当教師が参加する ③一部担当教師が参加する
3-7. (質問3で①または②を回答した学校) その取組時間は、前年度と比べて変わっていますか。	①増えた ②ほとんど変わらない ③減った

区分	活動を行う上での取組(複数回答可)						教師の参加状況			取組時間の変化			
	縦割り(異学年)での交流を行った	生徒による自主的な準備・計画を取り入れた	学級対抗などの対戦形式を取り入れた	数値目標を設定した	記録カードなどを活用し自己の成果を記録した	生徒が行える運動遊びの種類を多く設定した	その他	全教師が参加する	該当学年の担当教師が参加する	一部担当教師が参加する	増えた	ほとんど変わらない	減った
全国集計	31.8%	42.8%	23.1%	23.3%	24.1%	21.2%	6.7%	26.3%	20.0%	53.7%	19.9%	75.5%	4.7%
新潟市	20.0%	50.0%	20.0%	20.0%	20.0%	33.3%	6.7%	13.3%	10.0%	76.7%	10.0%	86.7%	3.3%

4. 教師は自校の体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために校内外の研修や研究会のような取組みに、積極的に参加していますか。	①よくしている ②どちらかといえばしている ③あまりしていない ④全くしていない
---	---

区分	体力・運動能力の向上に係る取組に反映させるために研修や研究会に参加			
	よくしている	どちらかといえばしている	あまりしていない	全くしていない
全国集計	11.3%	50.0%	35.0%	3.7%
新潟市	3.9%	51.0%	45.1%	0.0%

5. 運動・スポーツが苦手(嫌い)な傾向がある生徒向けの取組、または能力差に応じた取組を現在行っていますか。(行う予定はありますか)	①行っている ②行う予定である ③行っていない
6. 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、年間指導計画の改善に反映しましたか。	①反映した ②反映しなかった
7. 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえて、授業等の工夫・改善を行いましたか。(行う予定ですか)	①行った ②行う予定である ③特定の学年のみ行った ④特定の学年のみ行う予定である ⑤行わない(行う予定はない)

区分	運動・スポーツが苦手な生徒向けの取組、能力差に応じた取組			調査結果を踏まえた年間指導計画の改善		調査結果を踏まえた授業等の工夫・改善				
	行っている	行う予定である	行っていない	反映した	反映しなかった	行った	行う予定である	特定の学年のみ行った	特定の学年のみ行う予定である	行わない(行う予定はない)
全国集計	62.4%	21.7%	15.9%	69.6%	30.4%	50.9%	37.1%	2.8%	1.6%	7.7%
新潟市	84.3%	5.9%	9.8%	82.4%	17.6%	64.7%	27.5%	0.0%	0.0%	7.8%

8. 保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を生徒に示す活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない
9. 保健体育の授業の最後に、その授業で学習したことを振り返る活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない
10. 保健体育の授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れていますか。	①いつも取り入れている ②だいたい取り入れている ③あまり取り入れていない ④全く取り入れていない

区分	保健体育授業の目標を生徒に示す活動				保健体育授業で学習したことを振り返る活動				保健体育授業で生徒同士が助け合い、役割を果たす活動			
	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない	いつも取り入れている	だいたい取り入れている	あまり取り入れていない	全く取り入れていない
全国集計	66.3%	32.4%	1.1%	0.1%	53.0%	43.5%	3.4%	0.1%	48.0%	49.4%	2.4%	0.2%
新潟市	68.6%	29.4%	2.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	51.0%	49.0%	0.0%	0.0%

11. 保健体育の授業では、生徒同士で話し合う活動を取り入れていますか。	①全ての学年で取り入れている ②一部の学年で取り入れている ③取り入れていない
--------------------------------------	---

区分	保健体育の授業での生徒同士で話し合う活動		
	全ての学年で取り入れている	一部の学年で取り入れている	取り入れていない
全国集計	87.7%	9.5%	2.9%
新潟市	94.1%	3.9%	2.0%

12. 体育の授業におけるICTの活用について、どのくらいの頻度で活用していますか。	①毎時間活用している ②週に1時間程度活用している ③月に1時間程度活用している ④年に数時間程度活用している ⑤ICTを活用していない
--	--

区分	体育指導でのICTの活用頻度				
	毎時間活用している	週に1時間	月に1時間	年に数時間	ICTを活用していない
全国集計	10.2%	33.2%	26.5%	26.1%	4.0%
新潟市	15.7%	47.1%	25.5%	11.8%	0.0%

<p>12-2. 体育の授業でICTを活用している場合、どのように活用していますか。（複数回答可）</p>	<p>①生徒の動きを撮影し、生徒同士で確認をさせることで、課題発見に繋げるようにしている</p> <p>②ゲームや試合の様子を撮影して、チームで作戦を立てる際の参考にしている</p> <p>③以前に撮影した生徒の動きと比較して、変容を確認させるようにしている</p> <p>④毎時間の生徒のデータを記録してそのデータを見せることで、個人の目標を立てさせるなど技能の向上に役立っている</p> <p>⑤その他（自由記述）（100文字以内）</p>
---	--

区分	体育指導での授業中のICTの活用 (複数回答可)				
	生徒の動きを撮影	ゲームや試合の様子を撮影	以前に撮影した動きと比較	毎時間記録	その他
全国集計	89.0%	32.6%	50.4%	13.1%	12.4%
新潟市	98.0%	47.1%	58.8%	7.8%	5.9%

<p>13. 令和4年度に水泳の授業をどこで実施していますか。（予定を含む）</p>	<p>①自校のプールで実施する</p> <p>②近隣の学校のプールで実施する</p> <p>③近隣の公営プールで実施する</p> <p>④民間のスイミングクラブ等で実施し、教員のみで指導する。</p> <p>⑤民間のスイミングクラブ等で実施し、インストラクター等の指導協力を得る。</p> <p>⑥その他（自由記述）（100文字以内）</p>
--	---

区分	令和4年度の水泳授業実施場所(予定含む)					
	自校のプール	近隣学校のプール	近隣の公営プール	民間のスイミングクラブにて教員指導	民間のスイミングクラブにてインストラクターからの指導	その他
全国集計	60.8%	3.2%	7.5%	0.9%	1.9%	25.7%
新潟市	37.3%	0.0%	3.9%	2.0%	0.0%	56.9%

令和4年度 新潟県体力テスト結果概要

- 調査対象校（国立及び特別支援学校を除き、新潟市を含む全公立学校）
 小学校等 438校（義務教育学校前期課程を含む＝以下「小学校」）
 中学校等 231校（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程を含む＝以下「中学校」）
 高等学校等 93校（中等教育学校後期課程を含む＝以下「高等学校」）

- 調査期間
令和4年5月から7月

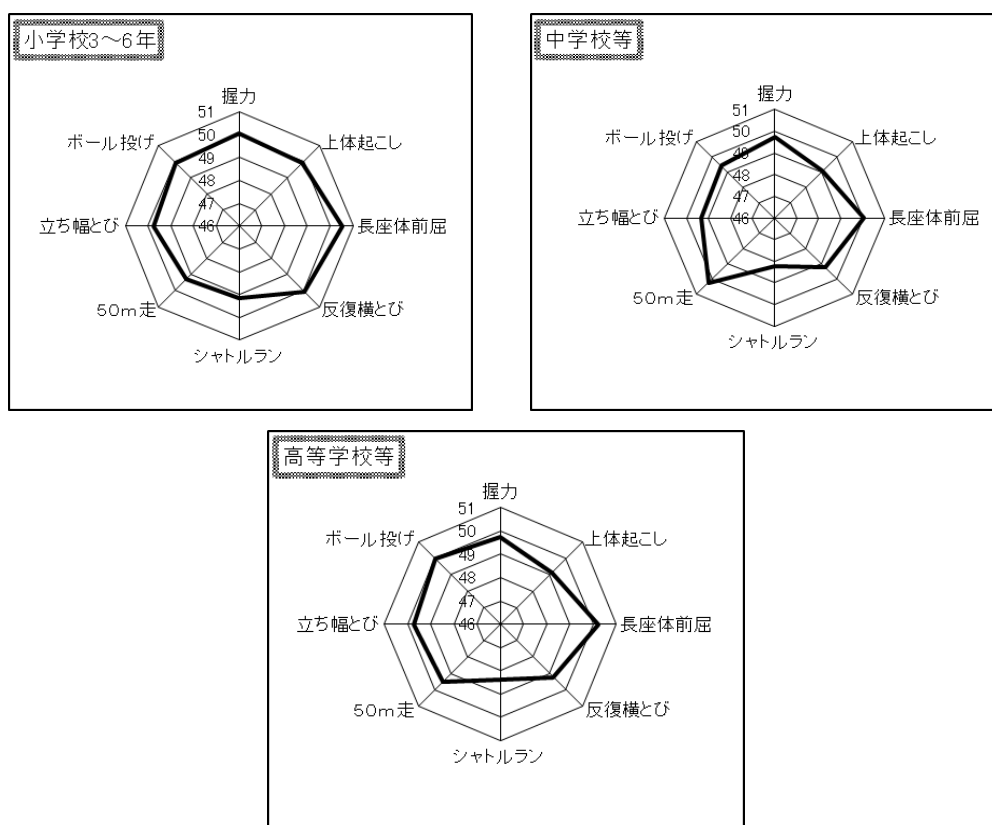
- 調査内容

小学校3年生以上、中学校、高等学校で8種目を指定して調査した

番号	1	2	3	4	5	6	7	8
項目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
要素	筋力	筋力 筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード	瞬発力	巧緻性 瞬発力

- 令和3年度の県平均値との比較

令和3年度の県平均値が「50」となるように統計処理をし、令和4年度の県平均値と比較したものを。

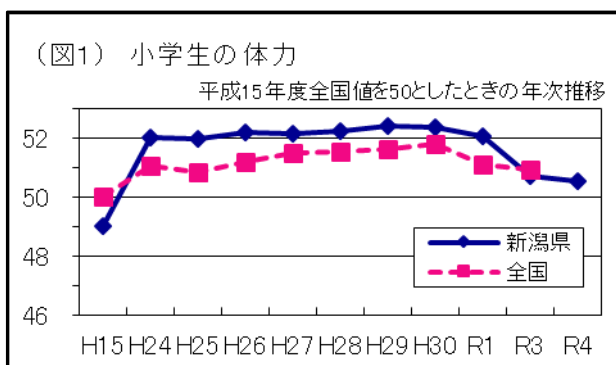


測定平均値が令和3年度を上回った種目数の割合は、小学校（3～6年生）で36.0%、中学校で22.9%、高等学校で18.8%にとどまった。全校種において、長座体前屈は前年度を上回ったものの、上体起こし、20mシャトルラン、立ち幅跳び、ボール投げは前年度を下回った。特に中学校及び高等学校における20mシャトルランと上体起こしでは、下降幅が大きかった。2年続けて同様の傾向が見られることから、新型コロナウイルス感染症による運動機会の減少が、全身持久力や筋持久力の低下に、特に影響を与えたと推察される。

5 全国平均値を基準にした場合の体力の変化

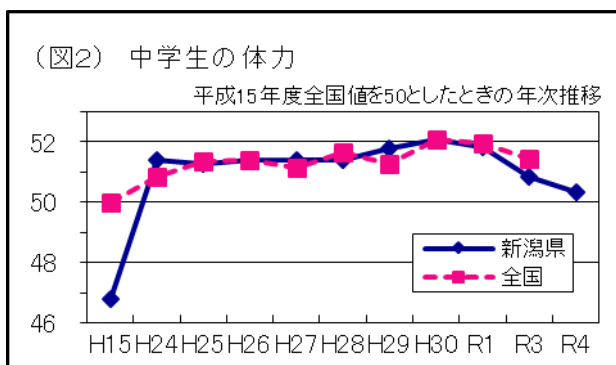
[グラフの説明]

県内の小・中・高等学校の全ての子どもを対象に、体力テストを開始した平成15年度の全国平均値が「50」となるように統計処理をし、平成15年度及び、平成24年度から令和3年度までの全国平均値と、令和4年度までの本県平均値の変化をグラフに表したもの。（令和2年度は全国・県ともに中止、令和4年度の全国平均値は未発表）



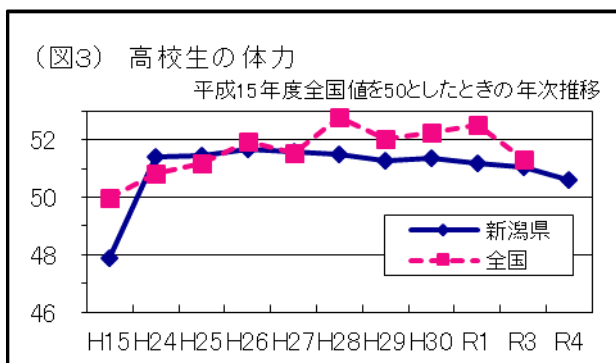
(図1) 小学生の体力・運動能力

- ・全国平均値は、平成25年度から30年度まで上昇が続いていたが、平成30年度をピークに下降している。
- ・本県平均値は、平成18年度から令和元年度まで全国平均値を上回っていたが、平成29年度をピークに下降傾向を示し、令和3年度は全国平均値を下回った。



(図2) 中学生の体力・運動能力

- ・全国平均値は、年度ごとに変動があり、令和元年度から下降傾向を示している。
- ・本県平均値は、平成25年度以降、全国平均値とおおむね同じような値で推移しており、平成30年度をピークに下降傾向を示している。



(図3) 高校生の体力・運動能力

- ・全国平均値は、年度ごとに変動があり、令和3年度は令和元年度を大きく下回った。
- ・本県平均値は、平成26年度をピークにやや下降傾向を示しており、平成28年度以降、全国平均値を下回っている。

6 今後の取組

児童生徒の体力向上を促進するためには、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中であっても、日常的に運動に触れる機会をもち、運動やスポーツへの意識を高めていくことが重要である。そのためには、児童生徒に求められる資質・能力を育成することを目指した体育・保健体育の授業改善や、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことで運動習慣を定着させるような工夫が必要である。

各学校が自校の実態に応じて計画・実施している「健康増進・体力向上のための『1学校1取組』」を柱に、児童生徒が運動やスポーツの特性や魅力を実感したり、「みる・支える・知る」といったスポーツへの多様な関わり方に触れたりすることで、生涯を通じた豊かなスポーツライフにつなげていくことが重要である。

令和 4 年度 新潟県体力テスト 測定値一覧 (男子)

※ 令和 3 年度と令和 4 年度の県の測定値

区分	N : 標本数 X : 平均 S D : 標準偏差	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン 折り返し数		50m走		立ち幅跳び		ソフトボール投げ ハンドボール投げ		
		R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	
小学校	6歳	N	4857	4652	4609	4462	4955	4785	4784	4589	4843	4470	7558	7100	4817	4591	7537	7100
		X	9.14	9.13	11.63	11.67	26.89	27.42	28.32	28.22	22.92	22.24	11.67	11.72	115.98	116.59	8.18	8.14
		S D	1.90	1.93	4.56	4.57	5.54	5.68	4.97	4.72	9.74	9.53	1.23	1.17	16.14	16.11	3.06	2.96
	7歳	N	5120	4854	4872	4728	5295	5054	5148	4922	5115	4746	7902	7084	5081	4812	7909	7055
		X	10.77	10.91	14.15	14.52	28.59	29.39	31.95	32.94	31.58	32.60	10.81	10.86	126.95	128.09	11.07	11.09
		S D	2.22	2.22	4.86	4.67	5.55	5.58	5.52	5.49	12.92	13.07	1.08	1.06	16.66	16.42	4.04	4.04
	8歳	N	8524	8387	8482	8355	8518	8376	8506	8347	8477	8334	8509	8405	8504	8361	8506	8360
		X	12.62	12.58	15.75	15.87	30.48	30.49	35.02	35.24	38.97	38.04	10.27	10.34	136.11	135.45	14.17	14.31
		S D	2.57	2.66	5.17	5.06	6.09	6.07	6.31	6.46	15.43	15.70	0.98	1.07	17.88	17.78	5.11	5.29
	9歳	N	8815	8461	8740	8435	8774	8437	8762	8426	8734	8421	8773	8451	8767	8425	8758	8426
		X	14.59	14.49	17.76	17.79	32.14	32.96	39.29	39.37	45.71	44.77	9.82	9.94	144.66	144.29	17.51	17.37
		S D	2.91	2.95	5.00	5.20	6.37	6.66	6.75	6.93	17.64	17.76	0.94	1.08	18.91	19.14	6.13	6.20
10歳	N	8991	8686	8932	8660	8971	8671	8960	8643	8912	8598	8980	8699	8952	8655	8974	8660	
	X	16.74	16.83	19.32	19.34	34.65	34.88	43.04	43.01	51.53	50.85	9.56	9.55	153.70	153.55	20.75	20.63	
	S D	3.49	3.50	5.09	5.15	6.93	6.95	6.64	6.73	18.93	19.15	1.16	1.02	20.00	19.90	6.93	7.09	
11歳	N	8782	8931	8713	8870	8762	8905	8737	8862	8682	8848	8759	8902	8728	8867	8748	8879	
	X	19.77	19.96	21.29	21.09	36.46	37.04	46.06	46.04	59.84	57.53	9.06	9.12	165.95	165.85	24.08	24.02	
	S D	4.51	4.52	5.22	5.21	7.29	7.36	6.61	6.71	20.42	20.49	0.92	0.93	21.93	22.00	8.20	8.20	
中学校	12歳	N	8873	8442	8850	8392	8848	8404	8832	8390	8778	8283	8673	8342	8825	8372	8807	8357
		X	24.57	24.54	23.99	23.44	42.47	43.05	48.42	47.84	70.30	67.10	8.64	8.64	186.65	185.30	17.94	17.65
		S D	6.02	6.29	5.58	5.80	9.85	9.87	7.56	7.70	22.31	22.18	1.01	1.00	27.44	27.58	5.01	5.14
	13歳	N	8878	8656	8855	8623	8861	8629	8828	8604	8763	8500	8677	8528	8826	8613	8812	8585
		X	29.90	30.12	27.28	26.99	47.12	46.95	52.22	51.63	85.10	80.61	8.10	7.97	203.82	203.60	21.37	21.14
		S D	6.94	6.75	5.71	5.70	9.78	10.03	7.64	7.76	22.85	22.93	1.56	0.84	26.34	27.24	5.53	5.40
14歳	N	8754	8707	8724	8676	8725	8676	8689	8634	8624	8544	8583	8566	8695	8663	8684	8641	
	X	34.55	34.56	29.29	29.22	50.18	50.63	54.50	54.69	90.56	87.82	7.61	7.57	216.49	216.84	24.00	23.84	
	S D	7.19	7.10	5.75	5.70	10.15	10.42	7.82	7.52	23.60	22.63	0.75	0.68	26.21	25.68	5.73	5.83	
高等学校	15歳	N	6309	6530	6301	6506	6303	6521	6296	6501	6255	6413	6282	6432	6293	6506	6295	6484
		X	36.52	36.59	27.71	27.40	47.86	48.05	54.75	54.71	85.13	81.85	7.53	7.56	219.11	219.02	23.13	23.28
		S D	7.19	7.33	5.58	5.68	10.95	11.30	7.00	7.20	21.70	21.65	0.68	0.73	26.15	27.71	5.64	5.81
	16歳	N	6375	6199	6360	6174	6375	6190	6360	6178	6343	6122	6343	6104	6361	6178	6355	6158
		X	38.72	38.37	29.73	29.27	48.73	49.06	56.41	55.70	90.74	86.90	7.39	7.40	224.55	224.29	24.46	24.26
		S D	7.19	7.33	5.53	5.65	10.63	11.42	6.94	7.04	22.18	22.44	0.68	0.67	25.73	25.69	5.69	5.92
	17歳	N	6568	6425	6560	6382	6563	6418	6547	6390	6514	6354	6531	6331	6556	6390	6554	6389
		X	40.19	40.15	30.99	30.59	50.30	50.34	57.02	56.26	89.77	87.39	7.30	7.32	226.86	226.49	25.10	25.53
		S D	7.16	7.51	5.83	5.74	11.17	10.83	6.80	7.17	22.31	22.62	0.61	0.65	26.65	26.61	5.79	5.94
	18歳	N	57	36	57	36	56	36	57	36	52	36	58	37	54	36	58	37
		X	38.74	37.89	22.49	22.89	42.64	43.00	47.77	46.11	48.58	53.19	8.38	8.04	197.13	200.75	19.76	19.59
		S D	7.92	7.64	5.74	4.92	13.95	11.08	6.18	7.98	20.30	13.34	1.39	0.70	30.02	21.77	4.81	3.39

令和 4 年度 新潟県体力テスト 測定値一覧 (女子)

※ 令和 3 年度と令和 4 年度の県の測定値

区分	N : 標本数 X : 平均 S D : 標準偏差	握力		上体起こし		長座体前屈		反復横とび		20mシャトルラン 折り返し数		50m走		立ち幅跳び		ソフトボール投げ ハンドボール投げ		
		R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	
小学校	6歳	N	4565	4477	4333	4323	4675	4609	4500	4431	4571	4303	7243	6807	4528	4445	7236	6817
		X	8.65	8.57	11.62	11.58	29.38	29.74	27.76	27.78	19.40	19.38	11.95	11.94	110.95	110.74	5.73	5.76
		S D	1.77	1.72	4.20	4.30	5.44	5.48	4.07	4.36	7.30	7.29	1.11	1.03	14.48	14.82	1.82	1.91
	7歳	N	4970	4629	4712	4480	5108	4825	5008	4659	4981	4511	7514	6829	4925	4555	7516	6812
		X	10.23	10.19	13.87	14.09	31.75	32.18	31.47	32.21	26.10	26.26	11.06	11.12	121.51	121.55	7.62	7.64
		S D	2.06	2.03	4.28	4.42	5.89	5.71	4.91	4.83	9.43	9.28	0.93	0.97	14.46	15.11	2.43	2.41
	8歳	N	8202	8071	8161	8052	8198	8064	8185	8045	8159	8021	8188	8068	8182	8049	8192	8050
		X	11.93	11.91	15.26	15.42	33.91	33.94	33.97	34.30	31.53	30.45	10.51	10.54	130.52	129.70	9.56	9.62
		S D	2.37	2.48	4.44	4.60	6.16	6.35	5.78	5.81	11.31	11.41	0.81	0.88	15.74	16.46	3.04	3.17
	9歳	N	8265	8134	8211	8108	8246	8114	8209	8105	8210	8079	8235	8125	8221	8108	8226	8095
		X	13.98	14.03	17.16	17.06	36.17	36.71	38.32	38.32	38.22	36.90	10.03	10.12	139.32	139.42	11.81	11.68
		S D	2.87	2.95	4.36	4.49	6.43	6.58	5.75	5.97	13.08	13.32	0.81	0.83	16.96	16.94	3.63	3.76
10歳	N	8590	8170	8518	8146	8568	8158	8555	8138	8525	8111	8578	8169	8547	8143	8562	8127	
	X	16.51	16.51	18.81	18.46	39.15	39.30	42.10	41.83	44.27	42.87	9.61	9.69	149.21	148.10	13.93	13.78	
	S D	3.43	3.47	4.47	4.47	7.01	7.06	5.77	5.69	14.41	14.34	0.73	0.85	17.86	18.32	4.13	4.25	
11歳	N	8551	8498	8483	8468	8526	8486	8479	8460	8461	8426	8521	8475	8501	8455	8504	8455	
	X	19.39	19.44	19.78	19.69	41.47	41.88	44.15	44.06	48.71	47.16	9.28	9.34	157.04	156.68	15.65	15.65	
	S D	3.75	3.83	4.50	4.36	7.32	7.64	5.74	5.53	15.38	15.04	0.74	0.72	18.98	19.42	4.86	5.49	
中学校	12歳	N	8315	8166	8280	8126	8304	8154	8267	8105	8177	7996	8099	8070	8257	8116	8241	8092
		X	21.60	21.56	20.84	20.14	45.84	46.01	44.88	44.37	52.25	49.33	9.20	9.17	167.74	165.12	11.47	11.21
		S D	4.08	4.08	5.05	5.12	9.48	9.21	6.02	6.15	17.15	16.17	0.82	0.80	22.80	22.60	3.43	3.36
	13歳	N	8198	8017	8160	7974	8179	8003	8122	7956	8014	7825	7991	7881	8141	7964	8140	7941
		X	24.10	23.56	23.71	22.81	49.23	48.98	47.16	46.02	58.25	53.50	8.89	8.92	173.22	170.25	13.02	12.65
		S D	4.31	4.32	5.30	5.44	9.19	9.54	5.82	6.08	17.94	17.32	0.75	0.75	22.14	23.49	3.83	3.79
	14歳	N	8391	7979	8357	7940	8376	7973	8317	7907	8173	7784	8158	7828	8344	7932	8333	7919
		X	25.39	25.19	24.98	24.50	51.82	51.58	47.66	47.52	57.45	54.50	8.82	8.80	175.75	173.57	13.93	13.76
		S D	4.40	4.38	5.40	5.44	9.26	9.38	6.12	6.04	17.50	16.91	0.72	0.75	22.43	22.93	3.96	3.98
高等学校	15歳	N	6415	6561	6409	6542	6414	6559	6404	6533	6373	6456	6393	6455	6405	6543	6404	6554
		X	25.43	25.26	23.19	22.42	49.16	49.65	48.26	47.69	53.53	50.40	8.88	8.97	173.78	172.34	13.30	13.06
		S D	4.50	4.56	5.41	5.48	10.17	9.87	5.55	5.94	14.38	13.75	0.77	0.81	22.56	22.91	3.73	3.79
	16歳	N	6547	6268	6541	6249	6544	6263	6529	6232	6519	6174	6521	6142	6531	6237	6537	6244
		X	26.12	25.94	24.38	23.98	49.77	50.18	48.57	48.23	54.46	51.83	8.89	8.91	174.28	173.64	13.75	13.61
		S D	4.63	4.46	5.38	5.42	10.12	10.01	5.73	5.92	15.04	14.40	0.77	0.78	22.71	22.71	3.94	3.91
	17歳	N	6514	6448	6498	6414	6515	6440	6489	6420	6463	6376	6477	6359	6501	6430	6501	6418
		X	26.51	26.40	24.97	24.47	50.87	50.75	48.33	47.82	53.04	51.08	8.90	8.95	172.69	171.60	13.93	13.96
		S D	4.74	4.64	5.64	5.58	9.91	10.00	6.05	6.14	14.36	14.78	0.82	0.87	23.22	22.85	3.91	3.94
	18歳	N	42	27	42	27	41	27	42	27	38	27	35	27	41	27	43	26
		X	25.50	22.67	17.83	17.37	46.12	42.70	40.29	39.00	23.37	24.04	10.66	9.98	143.27	141.41	10.58	10.46
		S D	4.52	5.34	6.07	5.47	10.08	10.18	6.05	5.42	9.86	7.98	1.76	0.80	21.36	26.23	2.95	2.39

令和4年度 新潟県体力テスト 平均値一覧 (男子)

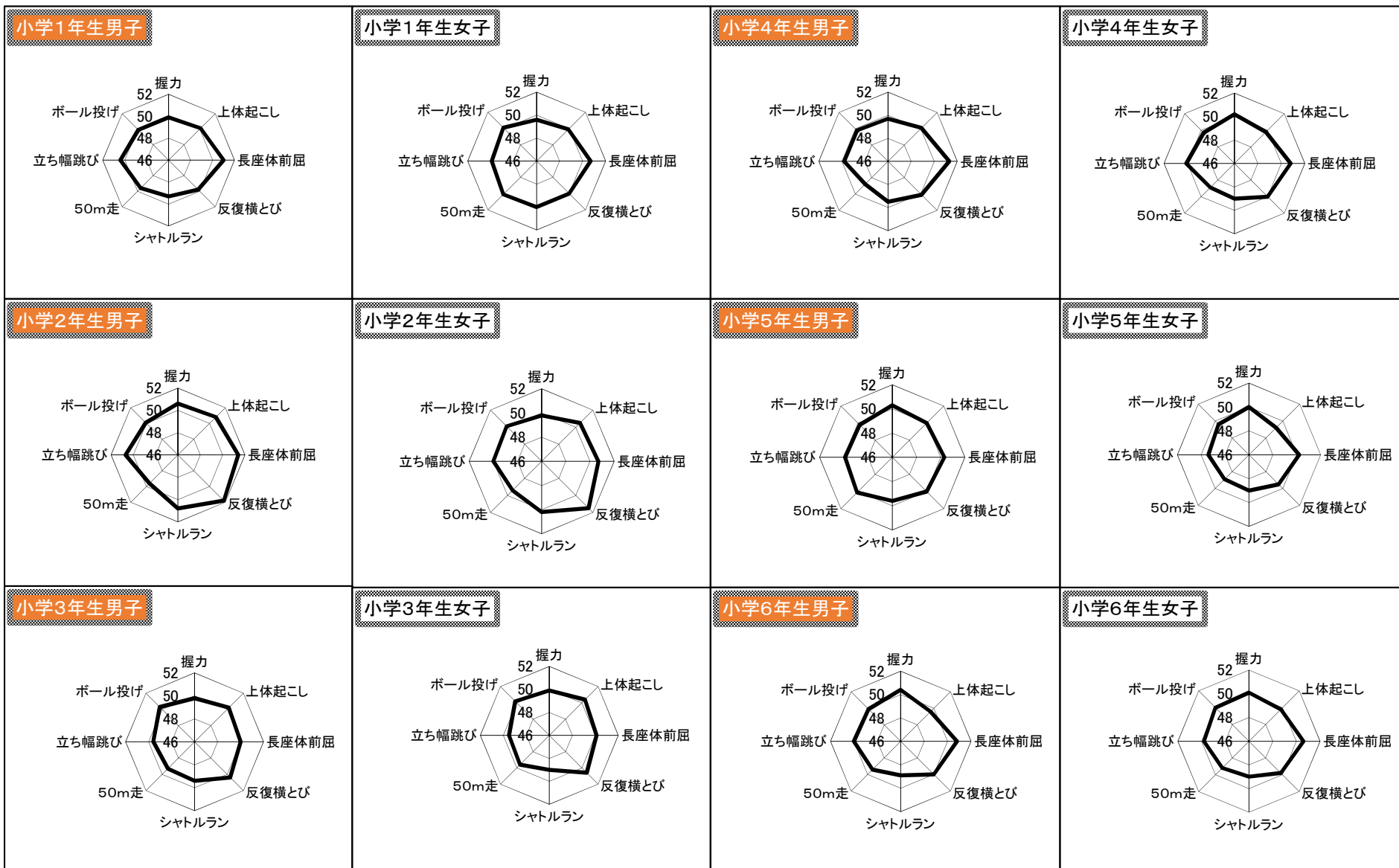
区分		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
小学校	小1	9.13	11.67	27.42	28.22	22.24	11.72	116.59	8.14
	小2	10.91	14.52	29.39	32.94	32.60	10.86	128.09	11.09
	小3	12.58	15.87	30.49	35.24	38.04	10.34	135.45	14.31
	小4	14.49	17.79	32.96	39.37	44.77	9.94	144.29	17.37
	小5	16.83	19.34	34.88	43.01	50.85	9.55	153.55	20.63
	小6	19.96	21.09	37.04	46.04	57.53	9.12	165.85	24.02
中学校	中1	24.54	23.44	43.05	47.84	67.10	8.64	185.30	17.65
	中2	30.12	26.99	46.95	51.63	80.61	7.97	203.60	21.14
	中3	34.56	29.22	50.63	54.69	87.82	7.57	216.84	23.84
高等学校	高1	36.59	27.40	48.05	54.71	81.85	7.56	219.02	23.28
	高2	38.37	29.27	49.06	55.70	86.90	7.40	224.29	24.26
	高3	40.15	30.59	50.34	56.26	87.39	7.32	226.49	25.53
	高4	37.89	22.89	43.00	46.11	53.19	8.04	200.75	19.59

令和4年度 新潟県体力テスト 平均値一覧 (女子)

区分		握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横とび (回)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ボール投げ (m)
小学校	小1	8.57	11.58	29.74	27.78	19.38	11.94	110.74	5.76
	小2	10.19	14.09	32.18	32.21	26.26	11.12	121.55	7.64
	小3	11.91	15.42	33.94	34.30	30.45	10.54	129.70	9.62
	小4	14.03	17.06	36.71	38.32	36.90	10.12	139.42	11.68
	小5	16.51	18.46	39.30	41.83	42.87	9.69	148.10	13.78
	小6	19.44	19.69	41.88	44.06	47.16	9.34	156.68	15.65
中学校	中1	21.56	20.14	46.01	44.37	49.33	9.17	165.12	11.21
	中2	23.56	22.81	48.98	46.02	53.50	8.92	170.25	12.65
	中3	25.19	24.50	51.58	47.52	54.50	8.80	173.57	13.76
高等学校	高1	25.26	22.42	49.65	47.69	50.40	8.97	172.34	13.06
	高2	25.94	23.98	50.18	48.23	51.83	8.91	173.64	13.61
	高3	26.40	24.47	50.75	47.82	51.08	8.95	171.60	13.96
	高4	22.67	17.37	42.70	39.00	24.04	9.98	141.41	10.46

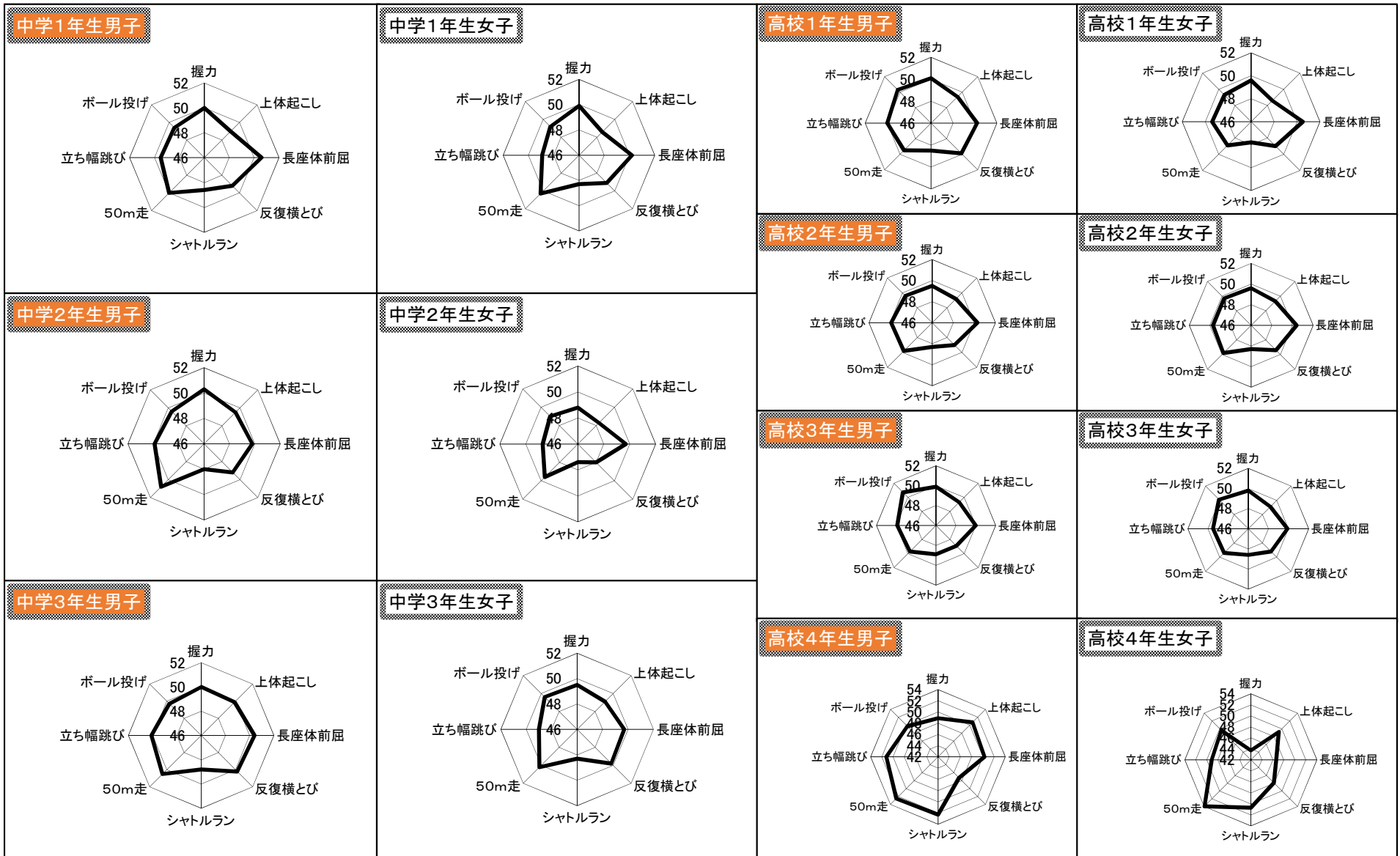
令和4年度 新潟県体力テスト レーダーチャート

※ 令和3年度の県平均値を50として示したグラフ（小学校1・2年生は任意実施）



令和4年度 新潟県体力テスト レーダーチャート

※ 令和3年度の県平均値を50として示したグラフ



新潟県・市 各学年ごとデータ

○小学校

性別	学年	地区名	握力実施者数	握力平均(kg)	握力平均(得点)	上体起こし実施者数	上体起こし平均(回)	上体起こし平均(得点)	長座体前屈実施者数	長座体前屈平均(cm)	長座体前屈平均(得点)	反復横とび実施者数	反復横とび平均(回)	反復横とび平均(得点)	シャトルラン実施者数	シャトルラン平均(回)	シャトルラン平均(得点)	50m走実施者数	50m走平均(秒)	50m走平均(得点)	立ち幅跳び実施者数	立ち幅跳び平均(cm)	立ち幅跳び平均(得点)	球技実施者数	球技平均(m)	球技平均(得点)	平均得点合計
男	1	新潟市	858	9.27	3.83	742	12.64	4.93	984	27.06	4.76	833	28.66	4.30	756	21.59	4.23	2667	11.63	3.42	858	119.82	3.77	2653	8.20	2.98	32.21
男	2	新潟市	927	11.22	4.60	874	14.46	5.57	1126	28.84	5.22	1001	34.14	5.66	852	31.98	5.28	2583	10.87	4.37	947	125.86	4.26	2572	10.79	3.79	38.75
男	3	新潟市	3132	12.67	5.16	3113	15.77	6.02	3126	30.10	5.58	3115	35.38	5.97	3111	37.09	5.73	3138	10.40	5.07	3119	134.36	4.91	3130	14.18	4.61	43.06
男	4	新潟市	3071	14.61	5.86	3057	17.73	6.69	3059	32.90	6.19	3055	39.23	6.90	3052	43.24	6.29	3069	9.96	5.73	3051	142.45	5.55	3042	17.06	5.25	48.46
男	5	新潟市	3208	16.75	6.57	3195	19.07	7.15	3204	34.65	6.62	3191	43.14	7.82	3169	49.82	6.87	3224	9.50	6.46	3191	153.15	6.39	3190	20.61	5.96	53.83
男	6	新潟市	3197	19.89	7.54	3176	20.78	7.73	3185	36.45	7.02	3167	45.65	8.35	3169	55.61	7.33	3194	9.12	7.19	3172	165.18	7.30	3176	23.29	6.44	58.90
女	1	新潟市	810	8.57	3.56	717	12.07	5.00	931	29.09	4.65	802	27.60	4.43	733	18.25	4.19	2611	11.96	3.30	828	112.26	3.80	2605	5.75	3.27	32.19
女	2	新潟市	926	10.41	4.42	867	14.24	5.92	1138	31.75	5.29	1000	32.94	5.83	845	24.17	5.07	2585	11.15	4.37	939	118.88	4.35	2580	7.51	4.28	39.53
女	3	新潟市	3075	11.91	5.05	3060	15.32	6.41	3070	33.74	5.74	3058	34.06	6.15	3045	29.12	5.74	3077	10.59	5.11	3062	128.99	5.14	3068	9.49	5.05	44.38
女	4	新潟市	2882	14.04	5.91	2867	17.20	7.18	2870	36.64	6.41	2869	38.31	7.23	2859	35.84	6.51	2883	10.09	5.91	2864	139.37	5.96	2858	11.57	5.79	50.89
女	5	新潟市	3015	16.69	6.84	3008	18.22	7.60	3009	39.29	7.01	3004	41.86	8.12	2995	41.60	7.11	3032	9.70	6.61	3007	148.26	6.72	2998	13.84	6.52	56.51
女	6	新潟市	3099	19.61	7.81	3085	19.35	7.99	3091	41.43	7.43	3084	43.70	8.54	3070	45.36	7.48	3094	9.37	7.25	3077	155.76	7.31	3079	15.53	6.99	60.81
男	1	新潟県	4652	9.13	3.74	4462	11.67	4.59	4785	27.42	4.84	4589	28.22	4.20	4470	22.24	4.26	7100	11.72	3.30	4591	116.59	3.54	7100	8.14	2.94	31.41
男	2	新潟県	4854	10.91	4.51	4728	14.52	5.58	5054	29.39	5.38	4922	32.94	5.36	4746	32.60	5.34	7084	10.86	4.34	4812	128.09	4.41	7055	11.09	3.83	38.76
男	3	新潟県	8387	12.58	5.13	8355	15.87	6.04	8376	30.49	5.66	8347	35.24	5.94	8334	38.04	5.83	8405	10.34	5.11	8361	135.45	5.00	8360	14.31	4.64	43.35
男	4	新潟県	8461	14.49	5.81	8435	17.79	6.71	8437	32.96	6.22	8426	39.37	6.92	8421	44.77	6.43	8451	9.94	5.76	8425	144.29	5.68	8426	17.37	5.30	48.84
男	5	新潟県	8686	16.83	6.59	8660	19.34	7.25	8671	34.88	6.67	8643	43.01	7.79	8598	50.85	6.94	8699	9.55	6.41	8655	153.55	6.41	8660	20.63	5.94	54.01
男	6	新潟県	8931	19.96	7.55	8870	21.09	7.81	8905	37.04	7.15	8862	46.04	8.43	8848	57.53	7.47	8902	9.12	7.20	8867	165.85	7.36	8879	24.02	6.56	59.54
女	1	新潟県	4477	8.57	3.53	4323	11.58	4.84	4609	29.74	4.79	4431	27.78	4.49	4303	19.38	4.35	6807	11.94	3.30	4445	110.74	3.69	6817	5.76	3.29	32.28
女	2	新潟県	4629	10.19	4.31	4480	14.09	5.90	4825	32.18	5.38	4659	32.21	5.65	4511	26.26	5.36	6829	11.12	4.35	4555	121.55	4.54	6812	7.64	4.28	39.77
女	3	新潟県	8071	11.91	5.06	8052	15.42	6.46	8064	33.94	5.79	8045	34.30	6.20	8021	30.45	5.88	8068	10.54	5.19	8049	129.70	5.20	8050	9.62	5.11	44.89
女	4	新潟県	8134	14.03	5.90	8108	17.06	7.13	8114	36.71	6.43	8105	38.32	7.23	8079	36.90	6.63	8125	10.12	5.89	8108	139.42	5.98	8095	11.68	5.82	51.01
女	5	新潟県	8170	16.51	6.79	8146	18.46	7.68	8158	39.30	7.00	8138	41.83	8.11	8111	42.87	7.25	8169	9.69	6.65	8143	148.10	6.69	8127	13.78	6.48	56.66
女	6	新潟県	8498	19.44	7.75	8468	19.69	8.10	8486	41.88	7.52	8460	44.06	8.62	8426	47.16	7.66	8475	9.34	7.31	8455	156.68	7.38	8455	15.65	6.98	61.32

○中学校

性別	学年	地区名	握力実施者数	握力平均(kg)	握力平均(得点)	上体起こし実施者数	上体起こし平均(回)	上体起こし平均(得点)	長座体前屈実施者数	長座体前屈平均(cm)	長座体前屈平均(得点)	反復横とび実施者数	反復横とび平均(回)	反復横とび平均(得点)	シャトルラン実施者数	シャトルラン平均(回)	シャトルラン平均(得点)	50m走実施者数	50m走平均(秒)	50m走平均(得点)	立ち幅跳び実施者数	立ち幅跳び平均(cm)	立ち幅跳び平均(得点)	球技実施者数	球技平均(m)	球技平均(得点)	平均得点合計
男	1	新潟市	2948	24.80	2.98	2931	23.52	5.34	2929	43.94	5.68	2925	47.70	5.49	2902	67.66	4.91	2923	8.61	3.63	2924	185.59	3.66	2915	17.60	3.28	34.97
男	2	新潟市	3050	30.76	4.17	3040	27.04	6.59	3038	47.49	6.38	3033	51.02	6.34	2997	79.64	5.85	3012	7.92	5.03	3035	203.93	4.82	3023	21.13	4.43	43.62
男	3	新潟市	3037	34.41	4.92	3027	29.20	7.35	3026	50.10	6.92	3013	54.77	7.31	2984	87.52	6.51	3003	7.53	6.08	3029	217.39	5.77	3009	23.96	5.35	50.20
女	1	新潟市	2997	21.58	4.33	2981	19.93	6.47	2993	46.32	6.00	2978	43.92	6.45	2940	48.09	5.84	2970	9.19	5.24	2983	164.57	5.42	2970	11.24	3.88	43.62
女	2	新潟市	2825	23.67	5.11	2805	22.90	7.44	2819	48.98	6.56	2799	45.67	7.01	2755	52.87	6.34	2785	8.88	6.06	2806	171.05	5.95	2793	12.75	4.77	49.24
女	3	新潟市	2876	25.30	5.72	2865	24.77	8.07	2874	52.02	7.21	2858	47.39	7.55	2819	54.25	6.52	2844	8.79	6.34	2862	173.38	6.19	2859	13.94	5.44	53.04
男	1	新潟県	8442	24.54	2.93	8392	23.44	5.32	8404	43.05	5.52	8390	47.84	5.51	8283	67.10	4.86	8342	8.64	3.54	8372	185.30	3.65	8357	17.65	3.30	34.62
男	2	新潟県	8656	30.12	4.05	8623	26.99	6.58	8629	46.95	6.30	8604	51.63	6.51	8500	80.61	5.94	8528	7.97	4.89	8613	203.60	4.82	8585	21.14	4.44	43.53
男	3	新潟県	8707	34.56	4.96	8676	29.22	7.36	8676	50.63	7.02	8634	54.69	7.31	8544	87.82	6.54	8566	7.57	5.97	8663	216.84	5.75	8641	23.84	5.32	50.23
女	1	新潟県	8166	21.56	4.32	8126	20.14	6.53	8154	46.01	5.93	8105	44.37	6.58	7996	49.33	5.97	8070	9.17	5.32	8116	165.12	5.44	8092	11.21	3.88	43.96
女	2	新潟県	8017	23.56	5.07	7974	22.81	7.42	8003	48.98	6.56	7956	46.02	7.13	7825	53.50	6.41	7881	8.92	5.95	7964	170.25	5.90	7941	12.65	4.73	49.18
女	3	新潟県	7979	25.19	5.69	7940	24.50	7.96	7973	51.58	7.11	7907	47.52	7.59	7784	54.50	6.54	7828	8.80	6.28	7932	173.57	6.22	7919	13.76	5.35	52.75

令和4年10月18日

小学校体力向上指導者研修会

運動が得意でない 苦手と感じる児童への指導

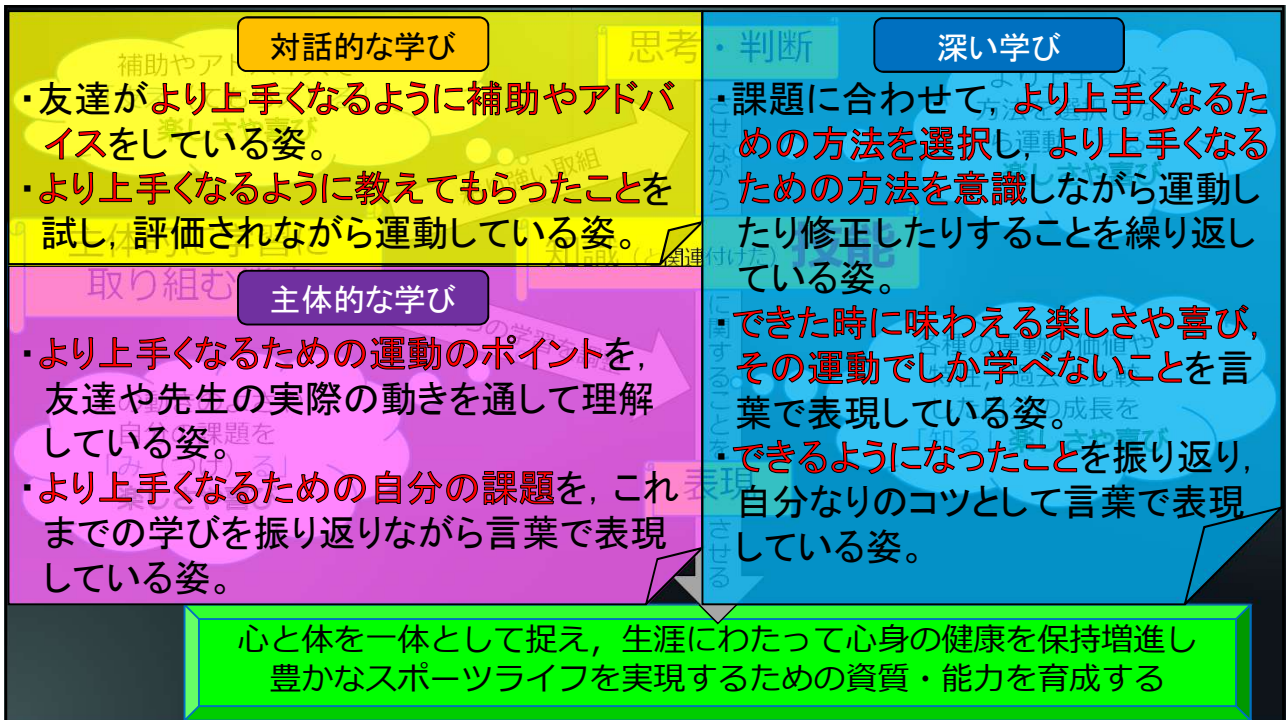
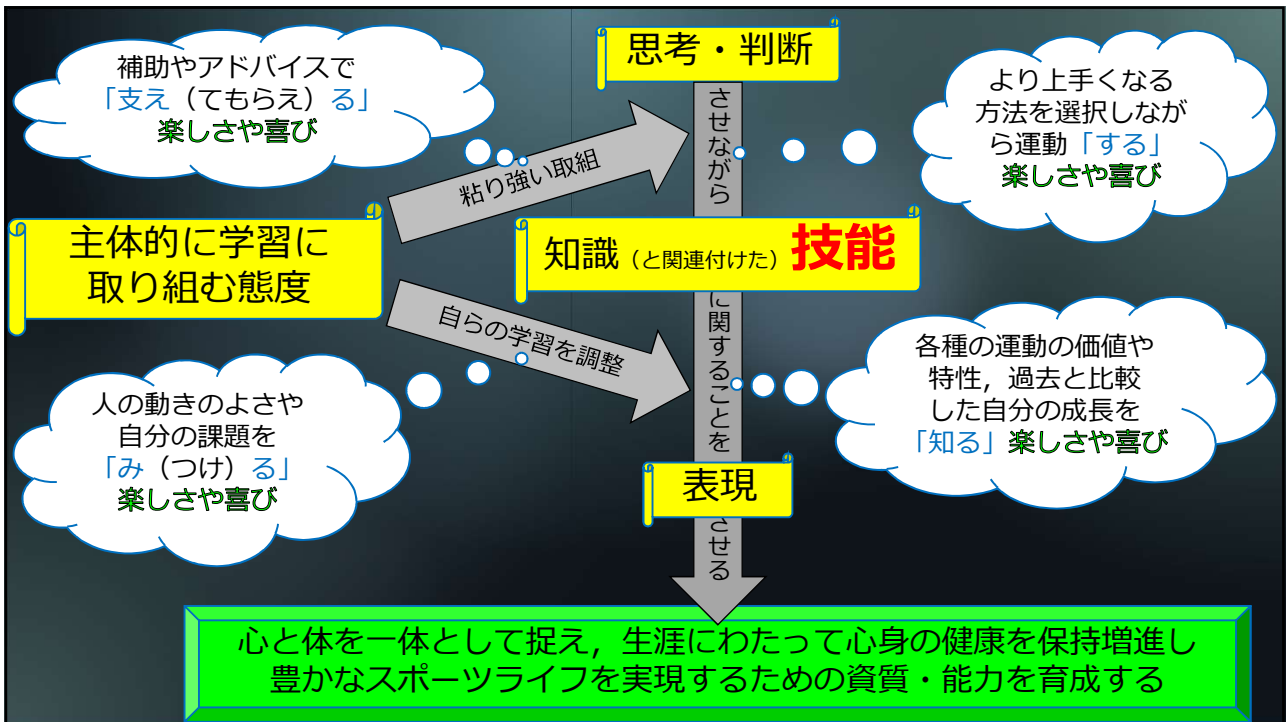
新潟市立小針小学校

教諭 三本 雄樹

体育科における技能の重要性(白旗, 2019)

- 「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」も体育で重要なものは、言うまでもない。しかし、本当に運動とのよい関わりをしていくためには、知識・技能は不可欠であることも実感している。
- 体育の学習をして、技能が身に付かなかつたら、教科としての存在意義が問われる。
- しかしここで確認しておきたいのは、高い技能を求めるということではない。「子どもたちが楽しめるだけの技能は保障してあげましょう」ということ。

9 体育科の本質＝技能の向上と捉え、学習指導要領のキーワードを整理するとともに、授業改善に取り組んできた。



「『できるかも』と思う体育授業」を行うために心掛けていること

- ①児童と単元のゴール(目標)や評価基準を共有する。
- ②単元のゴール(目標)や評価基準が「高い技能が必要な内容」「狭い範囲」にならないようにする。

～ボール運動領域～
ドリブルでボールを運ぶことができる。
～器械運動領域～
逆上がりができる。

子どもたちが楽しめるだけの技能を保証する

～ボール運動領域～
得点できる場所までボールを運ぶことができる。
～器械運動領域～
基本的な技や発展技を組み合わせることができる。

どの山に向かって、どこまで歩いていけばよいのかを明確にする

「『やってみたい』と思う体育授業」を行うために心掛けていること

- ①全員が「スタートからゴール(得点する)まで」を毎時間、体験する。
 - ・低学年は全員にボールを1個ずつ用意する。
 - ・中学年と高学年はドリルゲームを工夫する。
- ②全員が参加できる(得点することができる)ルールから、メインゲームのルールを段階的に変更する。



実技演習①
ボール蹴りゲーム

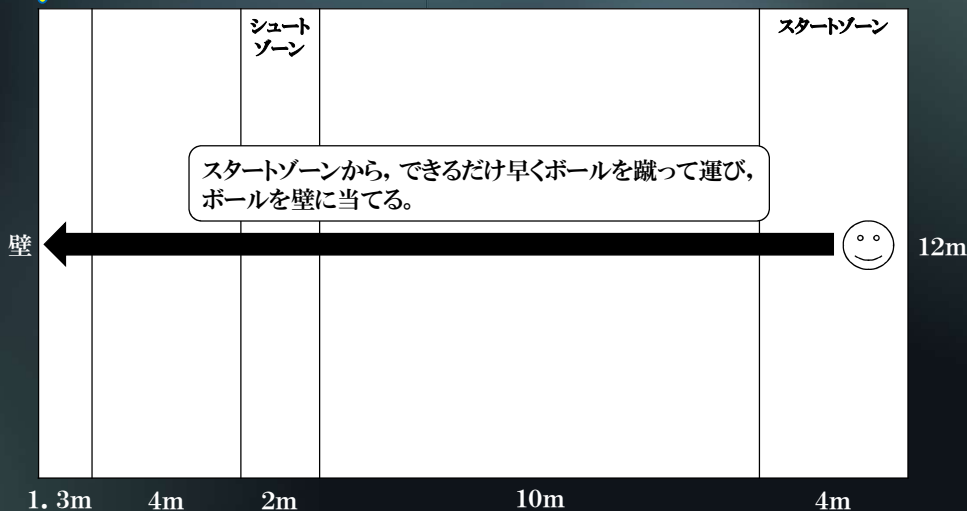
低学年の授業づくりの特徴（白旗，2016）

- 低学年の子供たちには、運動するための神経の回路をつくり、**運動感覚を身に付けていくために、いろいろな動きに幅広く取り組む**ことを主に活動を組んでいく。
- 今後、**高い技能を身に付けていくための土台をつくる**ことが低学年の体育の最も大切な価値であり、実態に合っている。
- まずは1つの動きの質を高めるよりも、**いろいろな易しい動きにたくさん取り組む**ことの方が大切。

「蹴って運ぶ」「足を使って止める」「ねらった場所に蹴る」ための知識・技能を育成することができるように、**段階的にメインゲームのルールを変更**

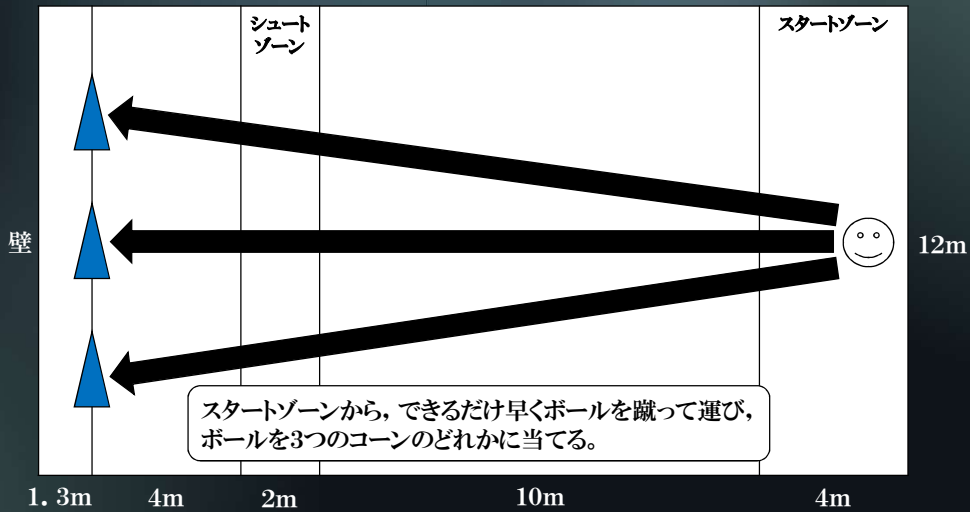
メインゲーム①

できるだけ早く決められた場所までボールを**蹴って運ぶ**ゲーム



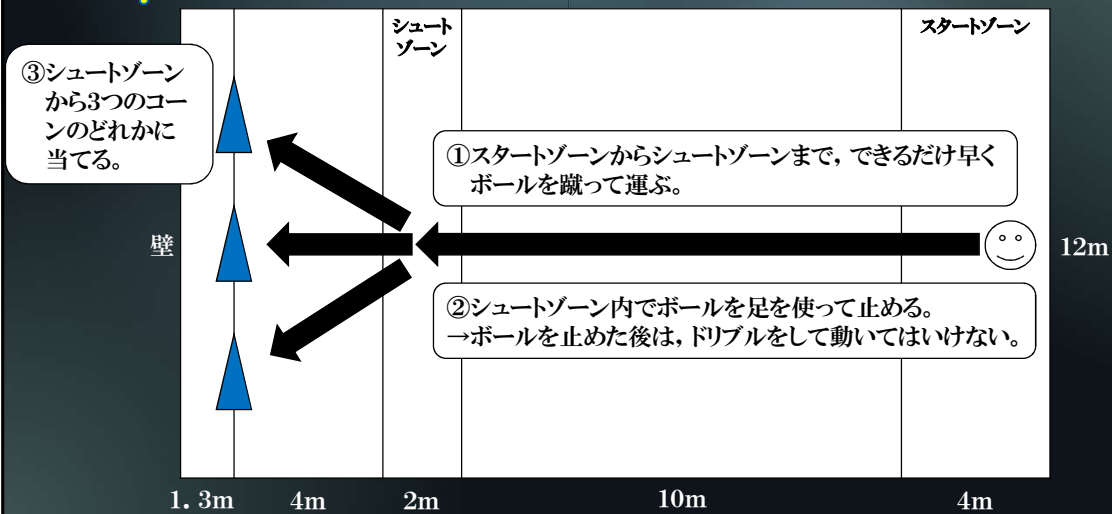
メインゲーム②

できるだけ早くボールを蹴って運ぶ + ボールをねらった場所に蹴るゲーム



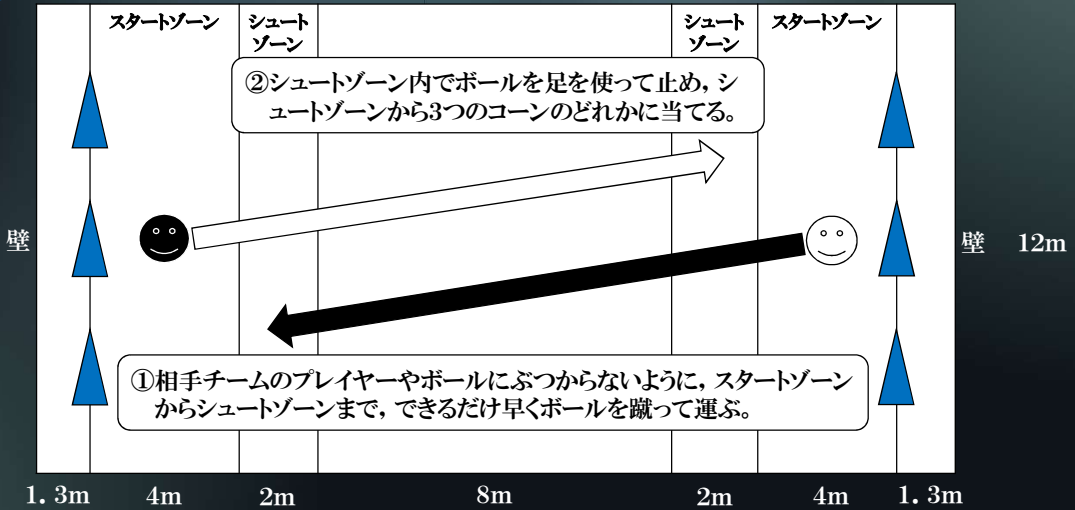
メインゲーム③

ボールを足を使って止める + ボールをねらった場所に蹴るゲーム



メインゲーム④

メインゲーム③のルール + 双方向からスタートするゲーム



体育の認識学習を基にした学習カード

9回目のゲーム

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	とくてん
はこぶ																
とめる																
ねらう																

わたしのかたは、 ボールをはこぶ ・ ボールをとめる ・ ねらってる ことです。

↓

じぶんのかたいをかいけつして、もっとじょうずになるために

をいしきてやってみます。

～運動の実態認識～
 1回のプレーごとに「決められた場所までボールを蹴って運ぶ場面」「決められた場所でボールを足を使って止める場面」「ボールをねらった場所に蹴る場面」のそれぞれで○(成功)・×(失敗)を記入させる。

～運動の課題認識～
 「○, ×, 得点」の数を基に、自分の課題となる場面を3つの場面の中から選択して丸を付けさせる。

ボール

人

きめられたばしょでボールをとめる

ボールをねらったばしょにける

～運動の方法認識～
 自分の課題となる場面に合わせて、次のゲームで意識することを、体育館の壁面や本時の板書の中から選択して記述させる。

実技演習②

フラッグフットボールを基にした 簡易化されたゲーム

陣地を取り合うゴール型の価値

学習の初期段階から**今できる力**
でゲームを楽しむことができる

バスケットボールやサッカーを**楽しめない**
児童が増加している状況を改善する

(佐藤・鈴木, 2008)

～フラッグフットボールの教育的意義～

① **鬼遊びの延長**で楽しめる

② **戦術学習**に最適

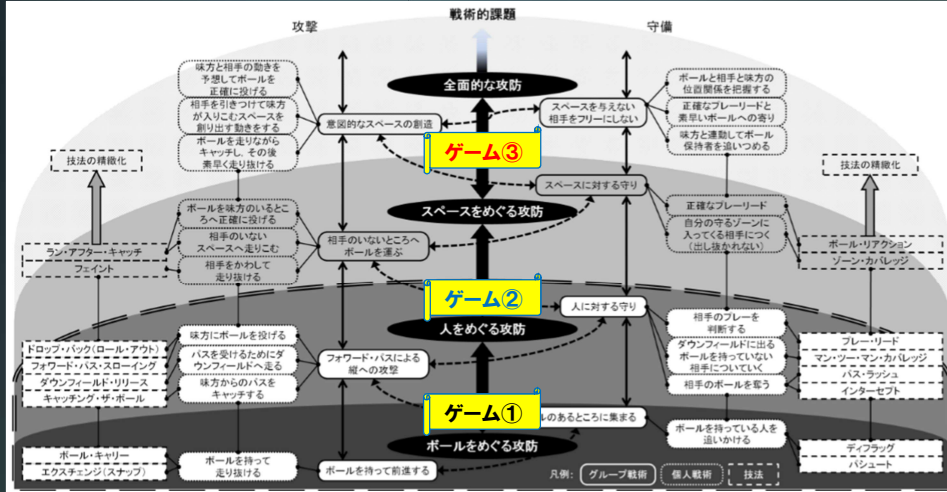
③ **大きな集団的達成**の喜び

④ **発達段階や能力段階**に応じた
やさしいゲームを楽しむ

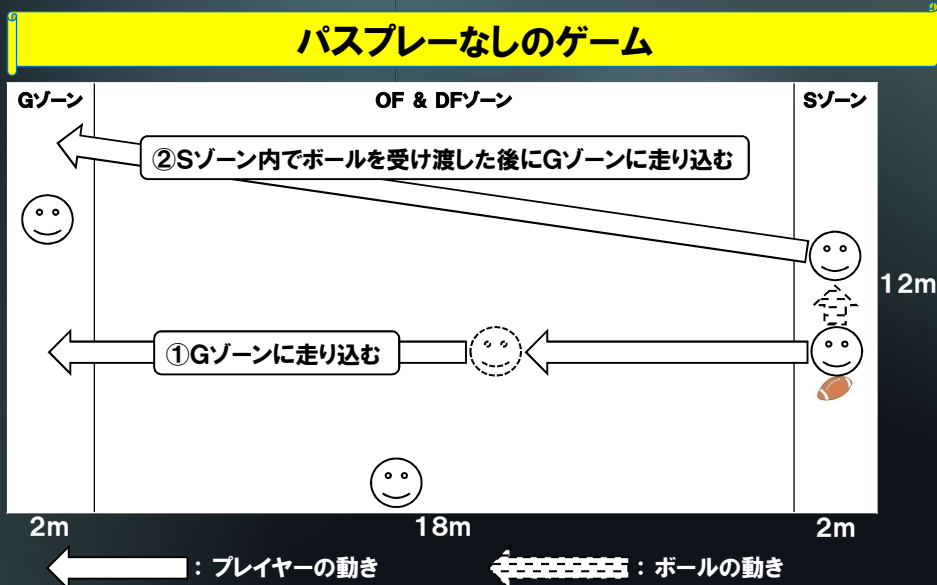
⑤ **心と体を一体化**する

(高橋・吉永, 2016)

フラッグフットボールの戦術・技術構造 (宗野, 2015)

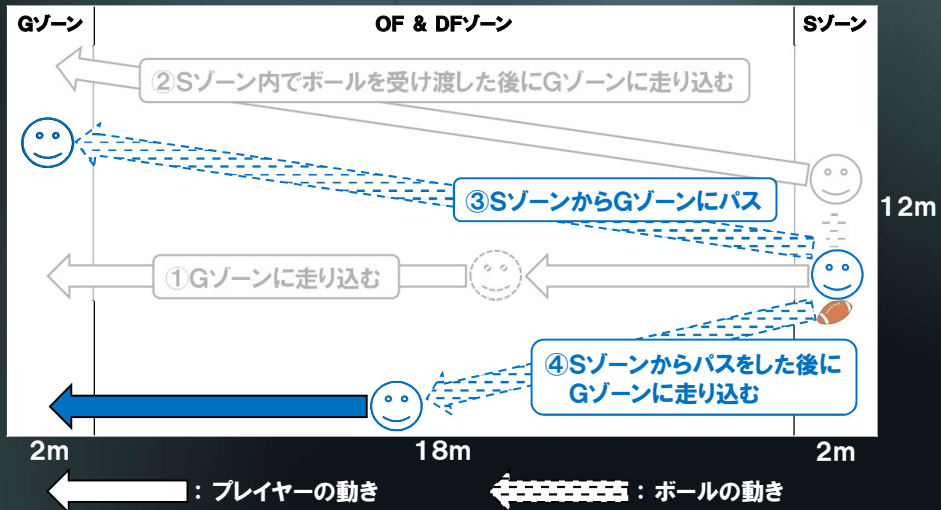


メインゲーム①



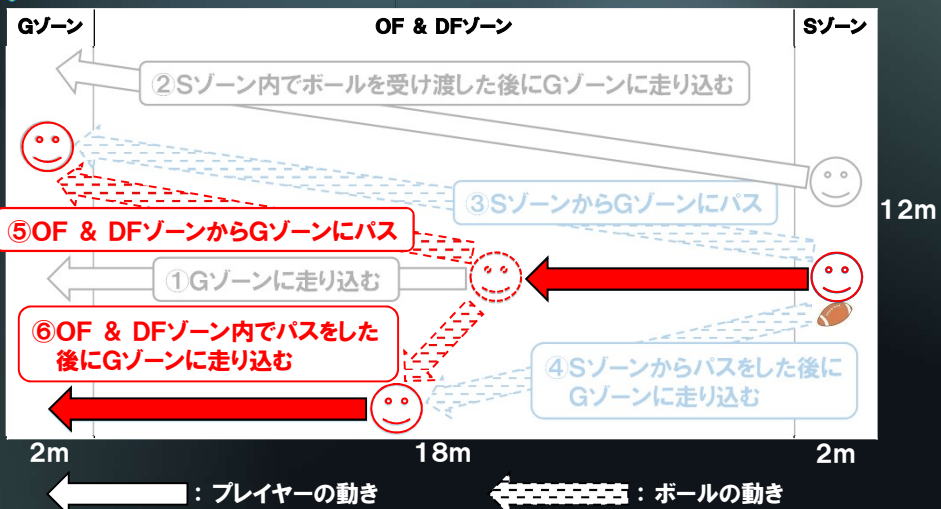
メインゲーム②

パスができるゾーンを**守備者が入ることができないSゾーンに限定したゲーム**



メインゲーム③

パスができるゾーンを**限定しないゲーム**



実践の成果



ご一読いただけたら、ありがたいです



鈴木・濱田(2020)体育で実現する“ホンモノ”の「ゲーム中心の指導アプローチ」—第6回国際ゲームセンス学会の成果より— 創文企画:東京, pp. 28-35

第2部 ゲーム中心の授業づくりを実現させるためのアイデア
 第2章 プレイヤーの思考・判断力を向上させるアイデア
 第4節 ルール変更が与える戦術的気づきへの影響

実践の詳細や研究成果を掲載しています！！

引用・参考文献

- ・ 岩田靖(2012) 体育の教材を創る－運動の面白さに誘い込む授業づくりを求めて－. 大修館書店:東京, pp. 6-8.
- ・ 文部科学省(2018) 小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 体育編. 東洋館出版社:東京, pp. 57-61, 140-145.
- ・ 日本フラグフットボール協会 フラグフットボールオフィシャルサイト. <https://www.japanflag.org/flag>
- ・ 佐藤善人・鈴木秀人(2008) 小学校の体育授業におけるタグ・ラグビーに関する研究－スローフォワードルールに焦点をあてて－. スポーツ教育学研究28(1). pp. 1-11.
- ・ 白旗和也(2016) 小学校体育 これだけは知っておきたい「低学年指導」の基本. 東洋館出版社:東京, p. 8.
- ・ 白旗和也(2019) 小学校 これだけは知っておきたい 新「体育授業」の基本. 東洋館出版社:東京, p. 39.
- ・ 宗野文俊(2015) 学校体育におけるボールゲームの指導理論に関する研究－フラグフットボールを中心にして－. 北海道大学博士(教育学)学位論文(乙第6972号).
- ・ 鈴木直樹・濱田敦志(2020) 体育で実現する“ホンモノ”の「ゲーム中心の指導アプローチ」－第6回国際ゲームセンス学会の成果より－. 創文企画:東京, pp. 28-35.
- ・ 高橋健夫・吉永武史(2016) 小学校「戦術学習」を進めるフラグフットボールの体育授業. 明治図書出版:東京.

参加者の声 (研修後のアンケートより)

- ・ 全員に簡単な技能を身につけさせることがとても大切だと感じました。
- ・ ルールの段階的な設定の仕方やその目的についてよく分かりました。参考にしているんな授業で、考えていきたいと思います。
- ・ 子どもたちの中に、できないから体育は苦手ですという子が出てしまっているにも関わらず解決策を見出せずにいました。そして、評価に関わる活動が満足にできないまま1時間が終わってしまうという状況もある日もあったので早速明日以降改善していきたいと思います。
- ・ できそうなことを積み重ねながら楽しむ、というのがとても共感できました。また、単元の目標を子どもと共有することが大切だと感じました。
- ・ どの子も挑戦できるやさしいレベルの内容からスタートすることが大切だと分かりました。今後の単元構成や場の設定に活かして少しずつ技能レベルを上げていく単元構成を工夫したり、場の設定などに活かしていきたいと思います。
- ・ 技能の向上を中心ににおいて授業を考えていきたいです。フラグフットを扱ったことがなかったのですが挑戦してみます。校内研などで校内の先生方とも動きながら考える機会を作っていけると今日のように自分の考えていることを伝えられるのかなと思いました。

Fコース 球技 (中・高)

〈【球技】運動が得意でない、苦手な子への指導〉

運動の特性や魅力を踏まえた学習指導のあり方

講師：谷藤千香 先生
(千葉大学)

① 学習指導要領における取り扱い (P16)

【球技領域の特性や魅力】

① 攻防を展開する際に共通して見られるボール操作などに関する動きとボールを持たない時の動きについて着目させる。

② 「ゴール型」「ネット型」「ベースボール型」

③ それぞれの運動が有する特性や魅力に触れ、攻守の特徴や型に共通する動きや技能を系統的に身につけ、解決すべき課題の追究によって攻防の楽しさや喜びを味わうことができるように。

① 学習指導要領における取り扱い

【球技領域の技能】

★ボール操作 (用具の操作が必要なもの)

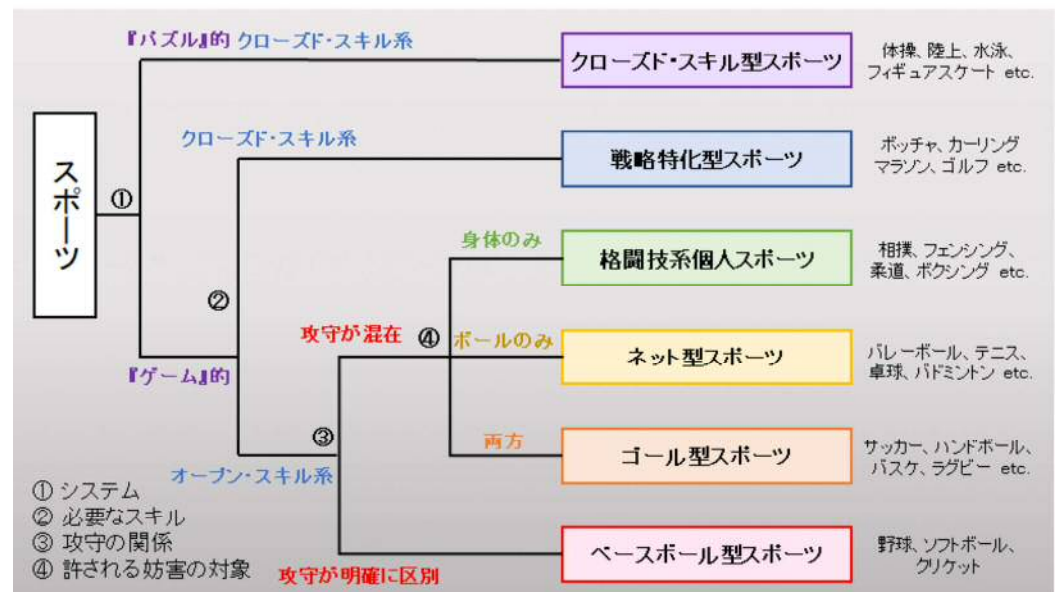
- 1 ゴール型：シュート、パス、キープ
- 2 ネット型：サービス、パス、返球
- 3 ベース型：球を打つ、捕る、返す

→攻防のためにボールを制御する技能

★ボールを持たない時の動き

空間、ボールの落下点、区域や塁などの目標に走り込む、味方をサポートする、相手をマークする

→ボール操作に至るための動きや守備の動き



① 学習指導要領における取り扱い

【球技領域の知識及び技能に関する内容】

	中1、2	中3、高校入学年	その次の年以降
ゴール型	ボール操作 空間に走り込む動き ゴール前での攻防	安定したボール操作 空間を 作り出す 動き ゴール前への 侵入 から攻防	状況に応じた ボール操作 空間を 埋める 動き 空間への侵入 から攻防
ネット型	ボールや用具の操作 定位置に戻る動き 空いた場所をめぐる攻防	役割に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携 した動き 空いた場所をめぐる攻防	状況に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携した動き 空間を作り出す 攻防
ベース型	基本的なバット操作 走塁での攻撃 ボール操作 定位置での守備での攻防	安定したバット操作 走塁での攻撃 ボール操作 連携 した守備での攻防	状況に応じた バット操作 走塁での攻撃 安定した ボール操作 状況に応じた 守備での攻防
球技	勝敗を競う楽しさ・喜び 球技の特性や成り立ち 技術の名称や行い方 関連して高まる体力の理解 基本的な技能 仲間と連携した動きで	勝敗を競う楽しさ・喜び 技術の名称や行い方 体力の高め方、運動観察 の方法の理解 作戦に応じた技能 仲間と連携しゲームを展開	勝敗を競ったり課題を解決し たり等の 多様な楽しさ・喜び 技術の名称や行い方 体力の高め方、 課題解決の 方法、競技会の仕方 の理解 作戦や 状況に応じた 技能で。

① 学習指導要領における取り扱い

【球技領域の知識及び技能に関する内容】

	中1、2	中3、高校入学年	その次の年以降
ゴール型	ボール操作 空間に走り込む動き ゴール前での攻防	安定したボール操作 空間を 作り出す 動き ゴール前への 侵入 から攻防	状況に応じた ボール操作 空間を 埋める 動き 空間への侵入 から攻防
ネット型	ボールや用具の操作 定位置に戻る動き 空いた場所をめぐる攻防	役割に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携 した動き 空いた場所をめぐる攻防	状況に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携した動き 空間を作り出す 攻防
ベース型	中学校1、2年 ・ラリーを続けることを重視。 ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動き ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように。 ↓ ○空いた場所への攻撃を中心としたラリーの継続についての学習課題 ○プレイヤーの人数、コート of 広さ、用具、プレイ上の制限を工夫したゲーム ○ボールや用具の操作とボールを持たない時の動きに着目させる		
球技	中学校3年 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作 ・仲間と連携した「拾う」「繋ぐ」「打つ」の一連の流れで攻撃を組み立て ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように ↓ ○仲間と連携した動きで空いた場所、空いている場所を作り出して攻撃 ○攻撃に対応して守り、自己のチームと相手のチームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールや用具の操作とボールを持たないときの動きに着目させる		

① 学習指導要領における取り扱い

【球技領域の知識及び技能に関する内容】

	中1、2	中3、高校入学年	その次の年以降
ゴール型	ボール操作 空間に走り込む動き ゴール前での攻防	安定したボール操作 空間を 作り出す 動き ゴール前への 侵入 から攻防	状況に応じた ボール操作 空間を 埋める 動き 空間への侵入 から攻防
ネット型	ボールや用具の操作 定位置に戻る動き 空いた場所をめぐる攻防	役割に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携 した動き 空いた場所をめぐる攻防	状況に応じた ボール操作 安定した用具操作 連携した動き 空間を作り出す 攻防
ベース型	中学校3年 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作 ・仲間と連携した「拾う」「繋ぐ」「打つ」の一連の流れで攻撃を組み立て ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように ↓ ○仲間と連携した動きで空いた場所、空いている場所を作り出して攻撃 ○攻撃に対応して守り、自己のチームと相手のチームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールや用具の操作とボールを持たないときの動きに着目させる		
球技	中学校3年 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作 ・仲間と連携した「拾う」「繋ぐ」「打つ」の一連の流れで攻撃を組み立て ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように ↓ ○仲間と連携した動きで空いた場所、空いている場所を作り出して攻撃 ○攻撃に対応して守り、自己のチームと相手のチームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールや用具の操作とボールを持たないときの動きに着目させる		

① 学習指導要領における取り扱い

【球技領域の知識及び技能に関する内容】

中学校1、2年 ・ラリーを続けることを重視。 ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動き ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように。 ↓ ○空いた場所への攻撃を中心としたラリーの継続についての学習課題 ○プレイヤーの人数、コート of 広さ、用具、プレイ上の制限を工夫したゲーム ○ボールや用具の操作とボールを持たない時の動きに着目させる	中学校3年 ・ポジションの役割に応じたボールや用具の操作 ・仲間と連携した「拾う」「繋ぐ」「打つ」の一連の流れで攻撃を組み立て ・空いた場所をめぐる攻防を展開できるように。 ↓ ○仲間と連携した動きで空いた場所、空いている場所を作り出して攻撃 ○攻撃に対応して守り、自己のチームと相手のチームの特徴を踏まえた作戦を立てて、ボールや用具の操作とボールを持たないときの動きに着目させる
--	--

① 学習指導要領における取り扱い (P4)

【主体的、対話的で深い学び】

【主体的】 見通し、粘り強さ、
振り返りから次の課題へ

【対話的】 自分の思考を広げる深める
実社会の人々（物）との関わり

【深い】 知識を相互に関連付、見方・考え方
情報の精査、解決策を考える

全く異なる
指導方法を
導入するこ
とではない

今までの学びを
見つめ直す
区切り直す

とは言え、体を動かす機会を適切に確保

② 指導計画の作成と内容の取り扱い

- 小学校「ゲーム」「ボール運動」
 - ・簡易化されたゲームでルールを工夫
 - ・チームの特徴に応じた作戦を立てて攻防を展開



- 中学校「球技」

・作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを発展

(空いた場所への攻め・仲間と連携して空いている場所を作った攻め)



- 高校
 - ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜び
 - ・作戦や状況に応じた技能で仲間と連携

② 指導計画の作成と内容の取り扱い

- 中学校第1、2学年

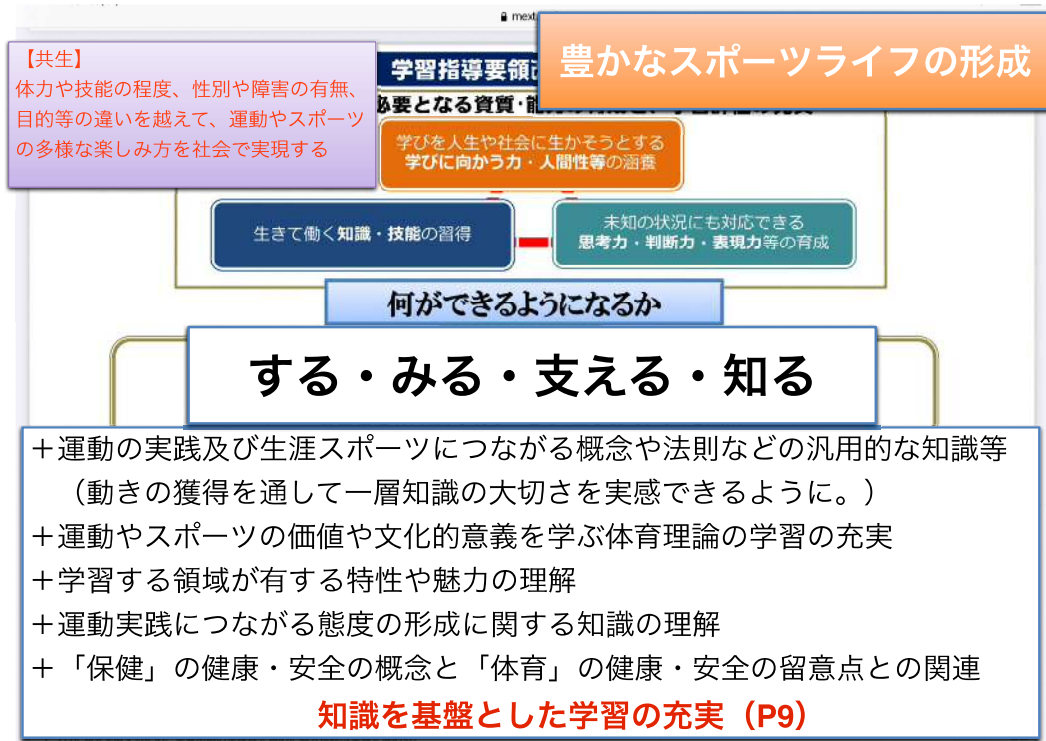
・「球技」に関して、2年間でゴール型、ネット型、ベースボール型を全て履修

- 中学校第3学年、高等学校入学年

・「球技」及び「武道」についていずれか一つ以上を選択して履修

・「球技」に関して、三つの型のうち二つを選択して履修

(履修できる運動種目数に制限はないが、習熟がはかれる時間を確保)



② 指導計画の作成と内容の取り扱い

【ネット型】の指導のねらい

○中学校第1、2学年

- ・ ボールや用具の操作

※まずここが入り口。ネット型に😊の気持ち

- ・ 用具の長さ、持ち方、扱い方
- ・ 定位置に戻る動きで空いた場所をめぐる攻防

○中学校第3学年

- ・ 役割に応じたボール操作や安定した用具操作
- ・ 連携した動きで空いた場所をめぐる攻防

○新学習指導要領における取り扱い

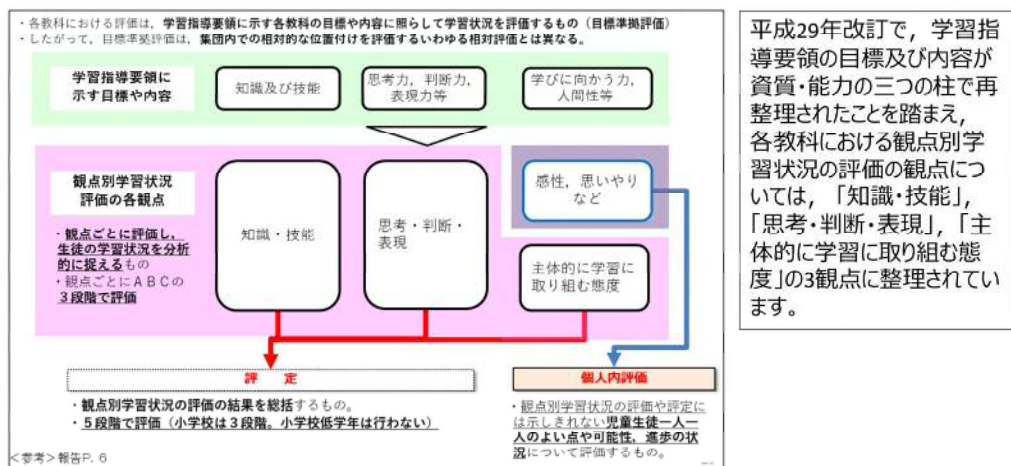
【学習指導要領改訂のポイント】

★体育科の目標

「体育科、保健体育科では、**心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフ**を実現する資質・能力を育成することを重視する観点から、運動や健康に関する課題を発見し、その解決を図る**主体的・協働的**な学習活動を通して、『**知識及び技能**』『**思考力、判断力、表現力等**』『**学びに向かう力・人間性等**』を育成すること」

④ 学習評価の基本的な考え方（指導と評価の全体計画）

学習評価の基本構造



- 「主体的に学習に取り組む態度」の観点については、従前の「運動や健康・安全への関心・意欲・態度」が相当するが、体育においては、公正、協力、責任、参画、**共生**、健康・安全に関する態度の指導が「主体的に学習に取り組む態度」の育成と密接に関連する。その

1. 学習評価の基本的な考え方

学習評価の改善の基本的な方向性

学校における働き方改革が喫緊の課題となっていることも踏まえ、次の基本的な考え方に立って、学習評価を真に意味のあるものとするのが重要。

- ① **児童生徒の学習改善**につながるものにしていくこと
- ② **教師の指導改善**につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは**見直して**いくこと

児童生徒の学習評価の在り方について（報告）
平成31年1月21日 中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会

2. 学習評価の進め方（体育分野）

指導と評価の計画の作成までの手順

手順1：内容の取扱いを踏まえ、年間指導計画に各単元を位置付け、単元の目標を設定する。

年間指導計画の例（中学校第1学年及び第2学年 球技）※①～⑤は球技の単元

学年	学期	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
第1学年	1学期	陸上競技(10)	① 球技-ゴール型バスケットボール・サッカー選択 2クラス2週間(10)	水泳	武道(柔道・剣道のいずれかを2クラス2週間(14))	保健(心肺機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))	保健(心身の機能の発達(4))
	2学期	陸上競技(8)	③ 球技-ネット型バレーボール・バドミントン選択 2クラス2週間(10)	水泳	④ 球技-ベースボール・ソフトボール選択 2クラス2週間(12)	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))
第2学年	1学期	陸上競技(8)	② 球技-ネット型バレーボール・バドミントン選択 2クラス2週間(10)	水泳	⑤ 球技-ゴール型バスケットボール・サッカー選択 2クラス2週間(10)	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	
	2学期	陸上競技(8)	④ 球技-ベースボール・ソフトボール選択 2クラス2週間(12)	水泳	⑤ 球技-ゴール型バスケットボール・サッカー選択 2クラス2週間(10)	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	保健(生活習慣病などの予防・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康(8))	

【単元目標】の設定
学習指導要領「2 内容」から当該単元の目標となる部分を明示する。

NITS 独立行政法人教職員支援機構

2. 学習評価の進め方（体育分野）

指導と評価の計画の作成までの手順

手順3：内容のまとめりにおける全ての「単元の評価規準」を作成する。
(解説の〈例示〉の文末を交換)

○「知識・技能」のポイント
・「知識」については、例示の文末を「～について、言ったり書き出したりしている」あるいは、「～について、学習した具体例を挙げている」として、評価規準を作成する。
・前者は一般的に認知された科学的な知識を内容とするもので、各学校や教師の指導によって大きな相違がないものに用いている。後者は、学校や生徒の実態に合わせて、指導する教師により取り扱われる内容に相違が予想されるものに用いている。
・「技能」については、例示の文末を「～ができる」として、評価規準を作成する。
○「思考・判断・表現」のポイント
・「思考・判断・表現」については、例示の文末を「～している」として、評価規準を作成する。
○「主体的に学習に取り組む態度」のポイント
・「主体的に学習に取り組む態度」については、意欲や意欲を育てるという情意面の例示に対応し「～しようとしている」として評価規準を作成する。ただし、健康・安全に関する例示については、意欲を持つことにとどまらず実践することが求められているものであることから、「～に留意している」「～を確保している」として、評価規準を作成する。

【注】
解説の〈例示〉の文末を交換
↓
学習活動に合わせて、内容を吟味する必要はある。
例) Ipad活用
活動場所の制限

2. 学習評価の進め方（体育分野）

手順2：指導事項をバランスよく配置する。

①～⑤は2年間にわたる球技の単元

解説の〈例示〉を参考

「内容のまとめりに対して示されていることから、意図的・計画的に配置

指導事項	① 球技-ゴール型バスケットボール・サッカー選択 2クラス2週間(10)	② 球技-ネット型バレーボール・バドミントン選択 2クラス2週間(10)	③ 球技-ベースボール・ソフトボール選択 2クラス2週間(12)	④ 球技-ベースボール・ソフトボール選択 2クラス2週間(12)	⑤ 球技-ゴール型バスケットボール・サッカー選択 2クラス2週間(10)
知識	○	○	○	○	○
技能	○	○	○	○	○
思考・判断・表現	○	○	○	○	○
主体的に学習に取り組む態度	○	○	○	○	○

2. 学習評価の進め方（体育分野）

指導と評価の計画の作成までの手順

手順3：内容のまとめりにおける全ての「単元の評価規準」を作成する。
(解説の〈例示〉の文末を交換)

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 対戦相手との競争において、技能の程度に応じた作戦や戦術を選択することが有効であることについて、学習した具体例を挙げている。 球技は、それぞれの型や運動種目によって主として高める体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 	<p>○技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ゴール方向に向備者がいない位置でシュートすることができる。 マークされていない味方にパスを出すことができる。 得点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。 パスやドリブルなどでボールをキープすることができる。 ボールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。 パスを受けるために、ゴール前の空いている場所に動くことができる。 ボールを持っている相手をマークすることができる。 <p>※ネット型、ベースボール型は省略</p>	<ul style="list-style-type: none"> 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んで伝えている。 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。 練習やゲームの場で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けている。 仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えている。

2. 学習評価の進め方（体育分野）

指導と評価の計画の作成までの手順

手順4：当該単元における「単元の評価規準」を設定する。
 (手順3で作成したものの中から当該単元における指導事項を踏まえ選んだりする。)

知識・技能		思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>① 知識 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>② 球技の各型の各種目において用いられる技術には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p>	<p>① 技能 ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。</p> <p>② 点しやすい空間にいる味方にパスを出すことができる。</p> <p>③ ゴールとゴールが同時に見える場所に立つことができる。</p>	<p>① 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。</p> <p>② 見た活動の仕方を見付けている。</p> <p>③ 仲間と話合う場面で、提示された参加士方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けている。</p>	<p>① 習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。</p> <p>② 健康・安全に留意している。</p>

【注】既習の内容や評価済みの観点については、必要に応じて取り入れる。
 安全面などは、評価済みであっても常に配慮事項として心掛け、適宜指導する。

2. 学習評価の進め方（体育分野）

手順6：指導と評価の計画を作成する。

評価機会を設定する

手順4で設定した単元の評価規準

【観点別学習状況の評価の進め方】

- 「努力を要する」状況（C）の生徒に対しては、例えば、評価した結果を具体的な言葉かけなどにより生徒に返して学習の改善を促したり、教師の指導の手立てを修正したりするなど、評価を指導に生かしていくようにする。
- 評価する時期や場面について精選する。
- 必要に応じて形成的な評価をしながら、総括的な評価において最終確認することも考えられる。

【注】評価の場面をあらかじめ決めることで、指導内容が明確になる。→生徒も「何をすればよいか」がわかる。BやCの子が、AやBになる指導を。総括的な評価場面で見取れるように。

2. 学習評価の進め方（体育分野）

手順5：当該単元における具体的な指導内容の明確化を図る。

	知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	知識	技能		
具体的な指導内容	ゴール型球技は、ドリブルやパスなどのボール操作で相手コートに侵入し、シュートを打ち、一定時間内に相手チームより多くの得点を競い合うことが楽しい運動であること。	ゴール方向に守備者がいない位置に移動した時にシュートを打つこと。	成功例、つまずきなどの事例や、シュート、パス、キープのポイントを提示し、仲間の動きと比較し、伝えること。	仲間の学習を援助することは、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めて気持ちよく活動したりすることにつながるという目的に適した仲間との関わり方があること。
単元の評価規準	① 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。	① ゴール方向に守備者がいない位置でシュートすることができる。	① 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。	① 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。

【注】指導内容の検討により、評価規準との間に齟齬が生じるようなときは、見直しが必要になる。



安全で楽しい柔道の授業

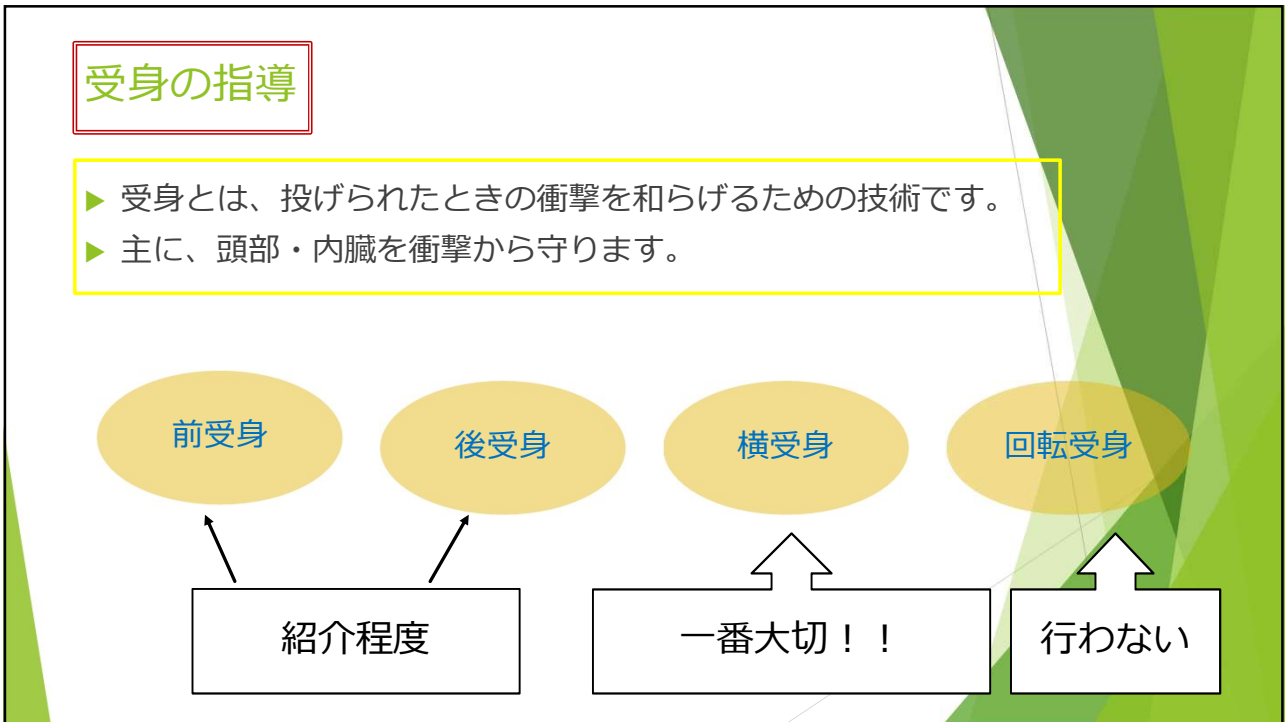
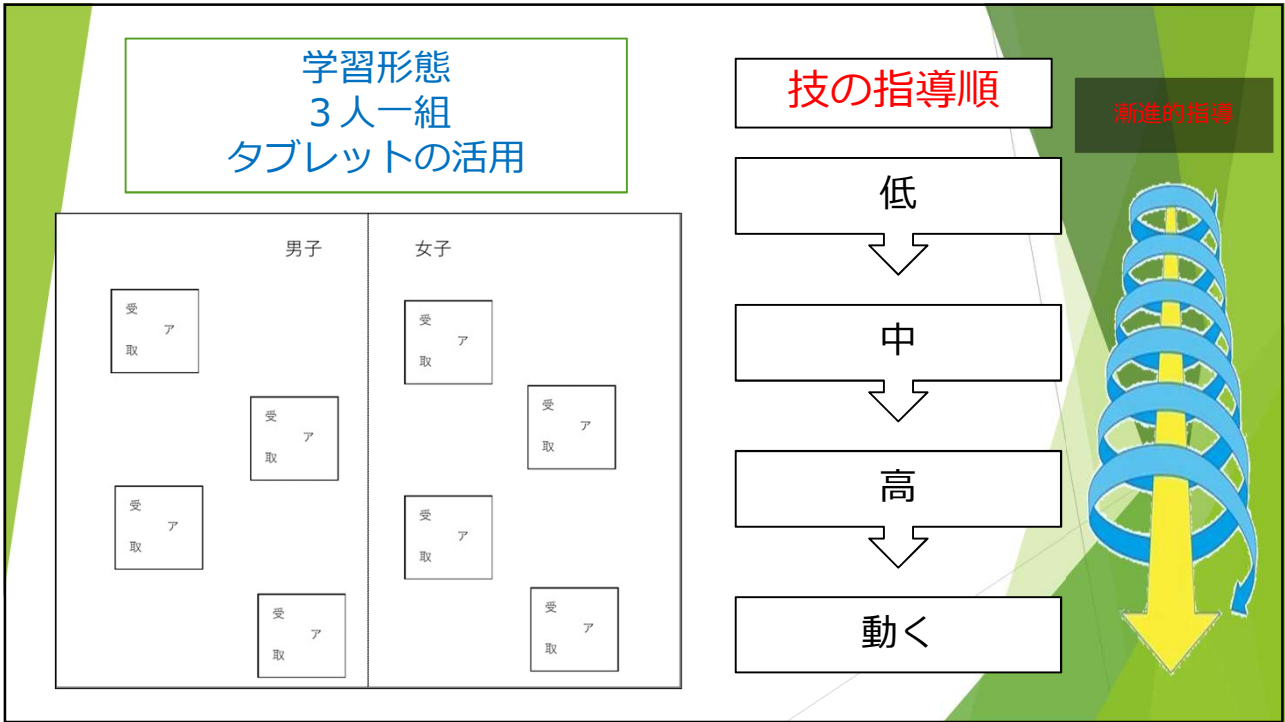
どんなサッカーの授業をしていますか？

様々な手立てやルールの工夫と段階的指導

楽しめるサッカー

「楽しめる柔道」で十分（強くなる必要はない）

様々な手立てやルールの工夫と段階的指導で柔道を学ぶ



膝車（支釣込足）

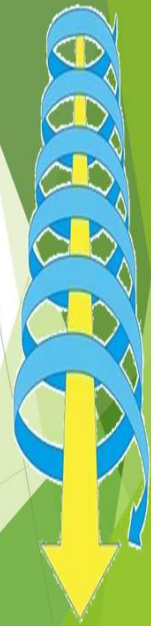
痛くない（怖くない）受身の導入
ポイント：低→中→高

体落

痛くない（怖くない）受身の活用
ポイント：右→左→右

足払

崩しと投げる実感の獲得
ポイント：サイドステップとほうき



寝技について

- ▶ 抑え込まれている者の上半身が概ね上を向いている。
- ▶ 抑え込んでいる者が相手の上半身に覆いかぶさっている。
- ▶ 抑え込んでいる者が下のものに足（両足、片足どちらでも）絡まれている。



柔道の固技って理にかなってるよな～

試合の方法

- ▶ 寝技だけの勝負（かばいて注意）
- ▶ 寝技の勝負で体が小さいほうが抑え込まれなかったら勝ち
- ▶ 制限時間内でより多く体落で投げたほうが勝ち
- ▶ 誰の技や受身がきれいか
- ▶ 制限時間内でより多く投げてから抑えたほうが勝ち
- ▶ 乱取り形式でより多く技をかけたほうが勝ち（逆技反則）
- ▶ 実際の試合
- ▶ などなど

※上記の特別ルールを用いて団体戦をやることもおすすめ

生徒たちから提案

指導例（1年時）

時数	学習課題	学習内容	まとめ
1 時間目	柔道を通して学びたいことは何だろうか	・帯の結び方 ・受身	各自記入
2 時間目	痛くない受け身のポイントは何だろうか	・足車	おしりから着く
3 時間目	体落としのポイント	・体落	右→左→右
4 時間目	より強い抑え込みのポイントは	・固技を考える	肩と首を抑える
5 時間目	投げてからスムーズに抑え込むには	・投げてから抑え込む	引き手を離さない
6 時間目	柔道の授業で学んだことは	・簡易試合	各自記入

参加者の声 (研修後のアンケートより)

- ▶ 安全面の配慮からどうしても教え込みの授業になりがちでしたが、教えるところと考えさせることを明確にすることで、生徒が考えながら学習に励むことができると感じました。
- ▶ 柔道は、相手と組み、相手を感じ、相手のことを考えながら学習することができる单元だと思っています。学習を行う中で他者感覚を身につけることができるのが柔道の良さだと感じています。講習を通して、ペアやグループで協働して課題を解決することのヒントを得ることができました。
- ▶ 初めて柔道を行なう生徒に対して不安感や怖さを少しでも感じさせないような指導の工夫が大事だと感じました。
- ▶ 低い姿勢からの受け身と段階的な指導が大切だと気付きました。
- ▶ 実技を踏まえた説明やグループワークによる学びを通して、自分の改善点や生徒への伝えるべきポイントやつかみの取り方など様々な知識を得ることができました。今後の授業でも活かしていこうと思います。

1 研究主題 できて・わかり・動きを「つなぐ」体育授業を目指して（最終年次）
～6年間の系統性を意識した授業づくり～

2 研究主題の設定の理由

4年次研究であるため、設定の理由は踏襲である。令和元年度、つまり、研究主題をはじめに設定した当時のものを抜粋して下記に示す。

市小研体育部が目指してきた子どもの姿は、【目指す動きが「できる」・自分の動きのポイントが「わかる」】であった。その子ども像を具現するために、「学びの道筋」を活用しながら2つの手だてを講じてきた。運動のポイントや自らの動きの状態が「わかる」ための手だて①。次にそのポイントや状態を自らの動きに反映・試行させ、動きを高めていくための手だて②。これらを本時レベルにおいて必ずセットにして構想（授業のパッケージ化）することにより、確実に動きの高まりを保障することが明らかになった。

（中略）しかし一方で、体育授業のカリマネは、それぞれの学校規模や職員集団の構成等によって千差万別であるため、成果として明らかになってきた【既習の知識・技能の積み上げ】が新潟市全児童に保障できるかと言えば・・・である。つまり、これまで他教科の会員だけではなく、（もしかしたら）体育部員の中にもあったであろう、『既習の知識・技能など揃うはずはない』『6年間を貫く体育授業づくりなど、教科書があるわけではないため難しい』『授業者によって扱う運動教材やアプローチの仕方がその都度違うため難しいのではないか』等、これまでもくすぶっていた疑問から脱却しきれていないのも事実である。

（中略）そこで、運動領域や運動教材ごとの『系統的に有効性のある既習の知識・技能』を精選し、その汎用性について検証していくことはいかがだろうか。つまり、運動領域や運動教材ごとの6年間を貫く学びを創造することである。これまでの学びの道筋（授業レベル→単元レベル）を、更に発展させ、『6年間の系統性を整理して指導内容を重点化した学びの道筋づくり』へ挑むことこそ、市小研体育部に課せられた命題なのではないか。これらを仮説検証型の研究として検証できれば、『新潟市体育授業ベーシック』的なオリジナル教科書を完成させられることが期待できる。つまり、新潟市のどの学校でも行われることになり、まさに先述した『既習の揃え・最低限身に付けさせなくてはならない知識技能の確実な習得』が可能になるのではないだろうか。これらのことから、今年度の研究主題を設定するに至ったのである。

今年度は、これまでの成果である「単元間における既習（動きや知識）の汎用性」をまとめた「学びの道筋（3本の矢：図1）」の実証研究（陸上運動系・ボール運動系ネット型については検証研究）が目的であった。本研究の根幹でもある、集団や指導者の違いに関係なく、同等以上の学びを保障できる「汎用的知識及び技能」を、学習者が主体的に獲得できる授業を追究する最終年度である。更に、8月の発表会に向け、発表内容や手順等の形式作りとした。昨年度と違い、それぞれの発表パートのデザインやシナリオ作り、

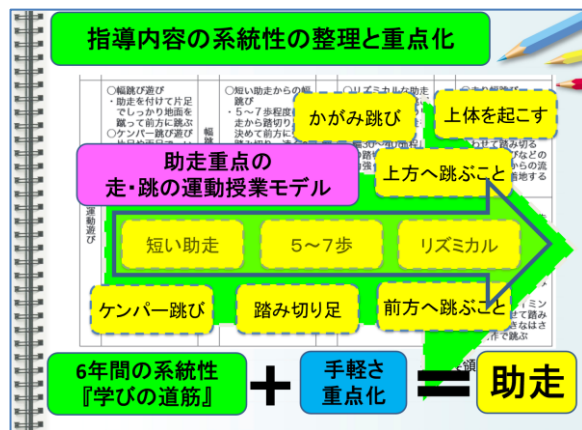


図1 学びの道筋のイメージ図

リハーサル録画等を通して、定例会で会員に示して意見を集約し、修正点を一つずつ改善していくことを主活動とした。

3 研究の内容

(1) 今年度研究の重点課題

◎ 「3本の矢」の実証と評価及び再構成

○ 6年間を貫く「系統的な学び」の完成

○ 学習内容の「精選と重点化」による学びの道筋「再構成」

昨年度までに明らかになった既習の知識及び技能を「生かす」ことをベースに、6年間の学びをどのようにつなげていくべきか、またその場合、絶対に外してはならない学習内容は何かについて、まとめて整理していくことは変わらない。その上、発表としてどう提示するか、市内への普及としてどのような手段をとるかを吟味することとした。今年度の重点は以下の2点である。

① 6年間の学びの道筋「デジタル3本の矢」が完成に・・・

3本の矢とは、6年間を見通した一つの授業構想モデルである。「最低限、身に付けさせておかなければならない知識及び技能は何か」をテーマに掲げ、授業実践を通して指導内容の整理と精選を進めてきた。今年度も同様に、2年間スパンである3本の矢を、低・中・高学年部の接続期に焦点を当てながら、スムーズなコネクト（例：低学年のゴールで目指す姿が中学年のスタートと滑らかに接続しているかなど）を追究する。更に、この授業構想モデルは体育を専門としない教師も活用できなくては意味がないため、目指す姿の妥当性や構想の適切性等は、実際の学習者の姿で実証していくこととした。

今年度は発表年度ということもあり、実用ベースに改良を加える必要があった。そのため、新潟市の授業支援アプリケーションをプラットフォームとし、できる限り教師が扱いやすく、また、学習者の利活用が見込める方法を考えた。それぞれの領域で作成した3本の矢をデジタル化し、これまでの研究で蓄積してきた多様なデジタルポートフォリオ（指導案や資料等）を埋込むことで、新たな新潟市ベーシック体育授業の普及を目指す。

② 指導内容の系統性を再構成しながら最終決定へ・・・

昨年度末にたどり着いた、系統的（6年間を通して身に付けるべき）な動きをそれぞれの発達段階において単元レベル・本時レベルで検討し、最終的にデジタルデータとして埋込むものを吟味した。例えば、低学年のゴールの姿と中学年のスタートの姿が実際の学習者レベルでシームレスであったかどうか、構想したモデル（3本の矢：図2）通りに単元を流した場合、期待するゴールの姿まで確実に高められたかどうか、最終的な修正や決定を行った。これまでの3年間の研究では、陸上運動（跳躍系）・ボール運動（ゴール型）・表現運動・器械運動（マット運動系）について焦点化してきたため、それらを中心にフレキシブルに再構成を繰り返した。それぞれの領域に長い間携わってきた会員から判断してもらいながら、来年度から活用していただく市小研全会員の視点から修正を行ったのである。

この研究がスタートしたときと同様に、会員一人一人の主体的な協働による研究であり、体育部全員で築き上げて共有する研究成果、建設的な対話による課題の洗い出し等、初志貫徹の研究姿勢を最後まで貫くことができた。

『得点をたくさん入れるための動き』								
★学年・時数	3学年① 4学年①	3学年② 4学年②	3学年③ 4学年③	3学年④ 4学年④	3学年⑤ 4学年⑤	3学年⑥ 4学年⑥	3学年⑦ 4学年⑦	3学年⑧ 4学年⑧
★主活動	基本的なボール操作や、得点を入れるための動きを身に付けるためのゲームをする。							
★つなげる知識・技能	味方チームを意識しながら得点するための知識・技能を身に付けさせる							
★活動内容	<p>ドリブルゲーム</p> <p>○基本的なボール操作を身に付ける ○得点を入れるための動きを身に付ける</p> <p>メインゲームの規則の選択</p> <p>○攻めと守りの人数 ○得点の仕方 ○ゴールの形状や用具（大きさや個数、柔らかさなど） ○コート工夫（広さや制限区域・陣地の設定など） ※誰もが楽しくゲームに参加できる規則を選択させる</p> <p>↓</p> <p>友達と協力しながら得点する楽しさや喜びに触れることができる楽しいゲーム</p> <p>よい動きの共有 → 作戦の選択</p> <p>○よい動きや工夫した動き、作戦を壁面に掲示する ○よい動きや工夫した動き、作戦を提示したり、示範したりする ○得点をたくさん入れている児童やチームの動きを紹介する ○得点がたくさん入っている作戦を紹介する ※チームの作戦（一人一人の役割や動き、ボールの動きなど）を選択・修正させる</p> <p>メインゲーム（基本的なボール操作で行うことができ、児童が取り組みやすいように工夫した楽しいゲーム）</p> <p>6年間を貫く『学びの道筋』：ボール運動領域（ゴール型ゲーム）</p>							

味方と協力しながら得点しやすい場所動く

図2 ボール運動中学年「3本の矢」

(2) 重点課題解決へのアプローチ

この研究は、どの学校でも・どの集団でも・どの教師でも、ある一定のゴール（目指す子どもの姿像）を期待できるものでなくてはならない。そのための解決アプローチとして、右図のようなコンセプトが全てである。いかに学習内容を整理し、精選し、重点化を図るかが重要である。誰が指導しても技能習得に大きな差が出ないような「効果的な指導」をデザインしたのである（図3）。

更に、学習内容の定着度（既習事項だが技能習得の差が大きい等）を議論することを通して、6年間を通して身に付けさせる内容を重点化していく。そうすることで、ミニマムが明確化され、「外せない学習内容」を保障できると考えた。

例えば、器械運動領域マット運動について言えば、技の例示によってミニマムは示されているように一見思われる。しかし、学習者の知識及び技能には大きな差が生じているのが実際である。そのため、ただ技を分類するのではなく、技へのチャレンジに必要不可欠な「感覚や姿勢」に重点を置くことで、6年間を通して、継続的かつ効率的に学ばせるための道筋を示そうというものである。6年生までに「倒立前転」ができる子どもを育てたいとするならば、それまでに最低限身に付けさせなくてはならない「逆さ感覚」「支持感覚」「倒れ込み感覚」「支持から回転への姿勢転換感覚」等は、どの学年までに？・どのような学習活動で？・どの程度（体の動きや姿勢等）まで？を明示する必要がある。そうすることで、教師誰もが「共通の指標」をもちながら、技能差が大きい学習者と対峙しても、担当する学年や発達段階が毎年違ってても、やるべきことに迷いが生じず授業に臨むことができるはずである。



図3 倒立回転系「学びの道筋デザイン図」

(3) 研究の実際

本項からは、8月の研究発表会の内容に触れ、4年間の体育部研究の成果と課題とする。

体 育 部

1 研究主題

できて・わかり・動きを「つなぐ」体育授業を目指して

～6年間の系統性を意識した授業づくり～

2 主題設定の意図

体育部の研究は不易である。目指す動きが「できる」とどまらず、どうしたらできるようになるのか・なぜできたのかなど、自他の動きのポイントが「わかる」ことである。まさに運動における学習者のメタ認知力を高めさせることである。この命題を追究し、一人一人の授業力を高めたり、より効果的な授業方策を検証したりしてきた。まず、本時レベルにおいて、「わかる」ための手だて①、自他の動きに反映・試行させ、動きを高めていくための手だて②を、必ずセットにした授業構想（授業のパッケージ化）にすることで質の高い学びを保障できた（図1）。次に、即時的な習得が難しい「既習の動きや感覚」を、単元レベルで継続的・段階的に身に付けさせる単元構想（単元のパッケージ化）を追究することにより、「学びの連続性」へと研究を発展させた。



図1 本時レベル「学びの道筋」

しかし、そこで大きな課題と出会うことになる。学習指導要領体育編では、低中高それぞれ2年間において身に付けさせるべき指導内容が示されているが、「3学年ではどの程度（知識及び技能）まで全員に身に付けさせたらよいか」「各領域において、どの運動教材を扱い、次年度のために培わなくてはならないもの（学年と学年をつなぐ知識及び技能）は何か」など、その細部までは示されていない。つまり、学校・学年単位、更には教師個人の裁量がほとんどである。これでは、教師の専門性のみが際立ってしまい、既習活用ができずに指導内容を保障できなかつたり、体育嫌いの教師が増えたりするのも当然である。

これらのことから、これまでの研究を更に広げ、「学びのパッケージ化」を単元レベルでとどめず、学年間・学年部間、更には6年間を貫く「学びの道筋（パッケージ化）」の創造が期待された。系統性や汎用性の観点から6年間の指導内容を見直して整理し、軽重を図りながら重点化（図2）することで、「いつでも・どこでも・誰にでも」ミニマム保障の体育授業が展開される。新潟市のどの学校でも実施できる「ベーシック体育授業」の創造を目指し、本研究主題を設定した。

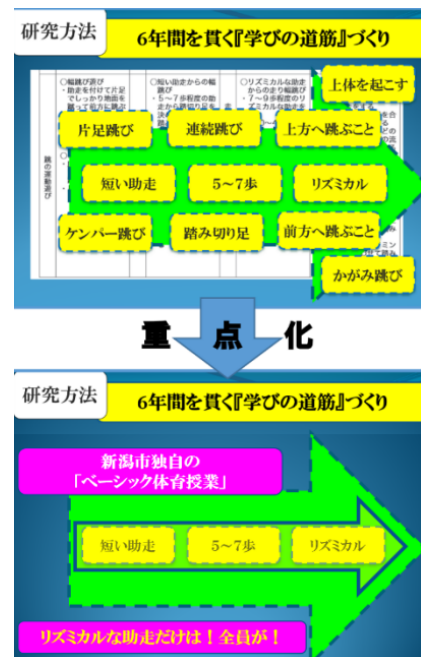


図2 指導内容重点化「構想モデル」

3 研究の内容

(1) 学習内容の重点化

6年間の学習内容は多岐に渡る（図2上）。そのため、「どの動きや知識が翌年の学習を下支えする内容なのか」「走幅跳にも走高跳にも共通する、強い踏み切りを構成する要素は継続的な指導が必要」等、系統性を整理して動きのつながりを精選したり、汎用性（運動特性のつながり）の観点から扱う運動に軽重付けたりしながら重点化を図った。

(2) 6年間の学びの道筋づくり

前項で述べた「構想モデル」はあくまでも仮説である。そのため、「動きのつながり」を検証するため4領域それぞれ低中高学年グループ、計12グループにおいて、代表授業36本を実施。更に、全ての授業検討はもちろん、代表授業者のプランを「会員一人一人」が自学級で実践し、分析レポートを持ち寄って検証した。

このようにして、6年間の学びのつながりを、学年や学校の違う「子どもの姿」で検証し、構想モデルの系統性や汎用性を確かめた。それぞれの計画が、6年間途切れなく「つながる」ことで、「3本の矢」と名付けた。

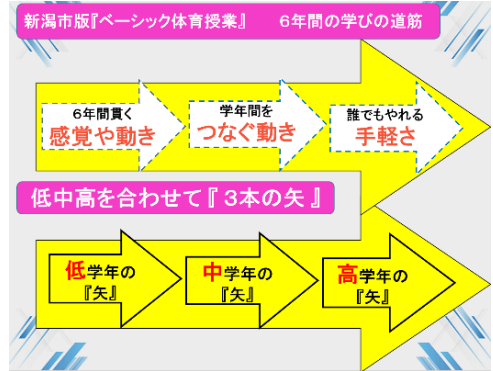


図3 6年間の学びの道筋「3本の矢」

4 研究の実際概要 (校名は実践時の勤務校)

実践数が多いため、器械運動領域における「3本の矢」創造までの軌跡を述べる。6年間を貫く動きのテーマを「姿勢の安定」とし、多様な姿勢の経験(図4)を起点とし、つながる動きを整理して精選、そして重点化した中学年・高学年の「矢(多様な姿勢の中で最も早い段階から取り組むことで効果が大きい逆さ感覚)」をデザインしていった。お互いが担当する学年、そして学年部だけではなく、常に「前の学年・次の学年」との「つながり」を中核に構想したのである。

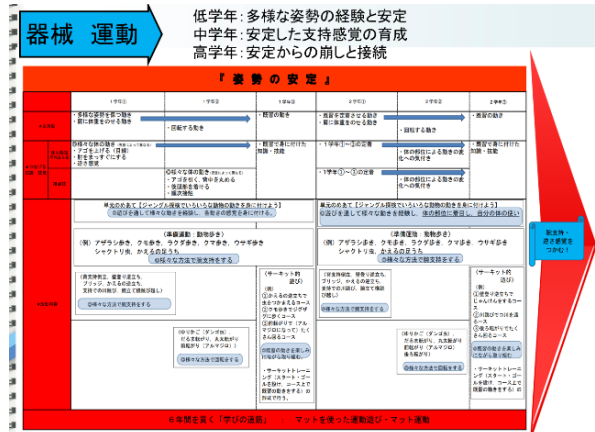


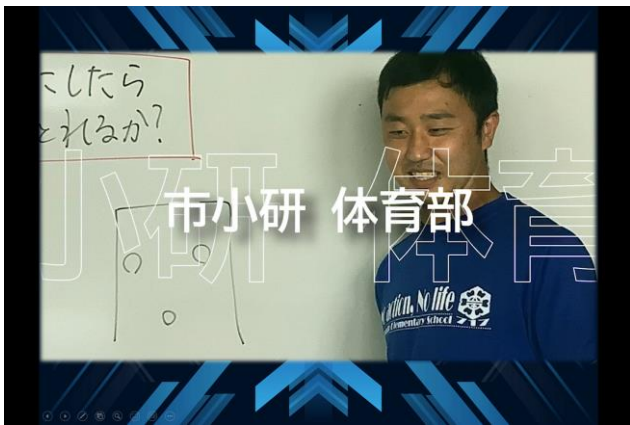
図4 6年間の起点となる低学年の「矢」

図5 器械運動領域 「3本の矢」

千葉教諭は、低学年の発達段階から、多様な姿勢をたくさん経験させることこそが、今後の姿勢の安定を支えるものだと捉えた。動物ランドの世界観を活用し、いろいろな転がり方ができる場の設定を工夫した。次に坂上教諭は、低学年で経験した動きの中において、継続的に感覚を培う必要のある「逆さ感覚」に着目した。壁を使うだけでは「調整力(どの程度の蹴る力で逆さで安定するか等)」が身に付かないため、仲間との協働的な学びにより補助ブリッジの学習を組織した。最後に駒沢教諭は、これまで培ってきた「姿勢の安定」を基に、安定を体得しているからこそできる「くずし」へと学習を発展させた。安定した補助倒立姿勢から、どのくらいの倒れ込み姿勢になったら次の回転技へ「つながり」のか…。単元終末には、補助なし発展技「倒立前転」が完成した。

5 研究のまとめ

- (1) 「3本の矢」による指導内容の「整理・精選・重点化」は、学習者にとって、誰もが身に付かなくてはならない既習を確かなものにしただけでなく、新たな動きや知識の獲得に活用された。
- (2) 「3本の矢」による指導内容の「整理・精選・重点化」は、教師にとって、「何を学ばせるのか」が明確になったことで授業づくりの一助となり、市全体の体育授業ベースアップが期待できる。



体育部 研究の歩み②

器械運動の実際

南中野山小
千葉先生
1年生
壁登り逆立ち



竹尾小
磯部先生
4年生
壁倒立
+補助倒立



大形小
駒沢先生
5年生
補助倒立



体育部 研究の歩み②

6時間目 白

どんな動き？
感覚？

仮説検証

はパスをしたら決め、

できなかった	まあい	まあできた	できた
--------	-----	-------	-----

か、またはできなかったか。

パスは、けど味方が決められなかったから、ソートしたけど、決められなかったから、

パスと出可役割はかんがいに
できましたよ!!
あは得点でした

体育部 研究の歩み②

いつでも！どこでも！誰でもできる！

③の実践報告

児童A

改善前  改善後 

★「しっぽピン」を前を意識したことにより、腰が落ちなくなった。
画像を見せたことにより、イメージが湧いた。

児童B

改善前  改善後 

★後ろに倒れそうで、足をあげられなかったが、腰を助げることで、後ろに倒れる恐怖がなくなった。

～まとめ～

- ・逆立ち猫の画像を見せるのは、かなり有効。子どもたちはイメージが持てやすかった。
- ・特に、お尻から尻尾が生えてくるイメージが持ちやすかった。まっすぐにしようとしている子が多かった。
- ・腰を前に傾けることで、腰が落ちにくくなった。子どもたちからも、腰を前にすることで、倒れる怖さがなくなったという言葉がたくさんあった。しかし、前を向きすぎて、腰のそりすぎによる、腰の怪我に繋がる可能性がある。腰は前ではなく、「斜め前」くらいがよかった。目線の感覚は、今後の倒立技にも繋がってくると思うので、目線を意識することは必要だと思うし、怪我を防止するのに必須だと思う。
- ・動物歩きで基本の動きを身に付けさせたことは、腕支持感覚をつかむのにやってくれたと思う。

R2 体育部 個人研修報告書

所属 器械2グループ (中学年) 学校名・氏名 葛塚小学校・三原梓信

1 「3本の矢」を基にした自己課題

「3本の矢」で3学年が取り組む「壁に向かっての頭倒立」「両足を持った引っ張り逆立ち」は、壁倒立に比べて比較的姿勢が安定しやすい。さらに、壁や人の手に支えられているという安心感や、倒立するために自分の足を引っ張ってもらえるので自分は腕で押し上げるだけで良いため、ほとんどの児童が達成できるのではないかと考える。しかし、4学年で取り組む壁倒立は「姿勢を安定させる」という段階にたどり着く前に「足の振り上げ」で挫折してしまう児童が少なくない。この3学年と4学年でのギャップを解消し、「姿勢の安定」を目標として6年間の道筋を考えた際に、4学年では安定姿勢にもっていくための動作を身に付けさせたいと考え、そのための時間を多く確保したい。

既習の定着	1	2	3	4	5	6	7
体の使い方の課題	◎両足の定着	◎両足の定着	◎両足の定着	◎両足の定着	◎両足の定着	◎両足の定着	◎両足の定着
体の使い方の課題	◎壁倒立	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ
評価	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ
評価	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ

2 自己課題を... 手立て

①振り上げ足を引っ張る際のイメージを伝える。振り上げ足を伸ばして勢いよく振り上げれば、反対の足も自然に振り上がる。振り上げ足をどれどれ振り上げれば良いか→反対の足が自然に振り上がることをおさえる。

②振り上げ足と振り上げ足のタイミングを区別するための口伴奏

③振り上げ足に意識をもたせても、両足で振り上げてしまったり、タイミングをつかめなかったりする児童もいる。それぞれの足の役割を明確にするために口伴奏も加えて技に取り組ませる。振り上げ足が「1」、振り上げ足が「2」、両足が上がって体を固める「3」と言いながら技に取り組ませることでタイミングをつかみやすくなるのではないかと考えた。

3 手立ての有効性の有無 (可能性について)

単元前 達成 13/29 → 単元後 達成 20/29

つながる動きや感覚 OK!?

フィードバックは OK!?

グループで練ったプランを!

全員がそれぞれ自学級で実践!

デジタル 3本の矢

会員一人一人が実践し
「仮説」である6年間の
授業プランニングを検証!

「姿勢の安定」

	1学年①	1学年②	1学年③	2学年①	2学年②	2学年③
◎多様な姿勢を保つ動き ◎肩に体重をのせる動き		◎回転する動き	◎既習の動き	◎既習を定着させる動き ◎肩に体重をのせる動き	◎回転する動き	◎既習の動き
◎様々な体の動き (意識によって異なる) ◎アゴを上げる (目線) ◎肘をまっすぐにする ◎逆さ感覚		◎様々な体の動き (意識によって異なる) ◎アゴを引く、背中を丸める ◎後頭部を着ける ◎連続接触	◎既習で身に付けた知識・技能	◎1学年①～③の定着 ◎1学年①～③の定着	◎体の部位による動きの変化への気づき ◎体の部位による動きの変化への気づき	◎既習で身に付けた知識・技能
単元のめあて【ジャングル探検でいろいろな動物の動きを身に付けよう】 ◎遊びを通して様々な動きを経験し、各動きの感覚を身に付ける。			単元のめあて【ジャングル探検でいろいろな動物の動きを身に付けよう】 ◎遊びを通して様々な動きを経験し、体の部位に着目し、自分の体の使い			
(準備運動：動物歩き) (例) アザラシ歩き、クモ歩き、ラクダ歩き、クマ歩き、ウサギ歩き シャクトリ虫、かえるの足うち ◎様々な方法で腕支持をする			(準備運動：動物歩き) (例) アザラシ歩き、クモ歩き、ラクダ歩き、クマ歩き、ウサギ歩き シャクトリ虫、かえるの足うち ◎様々な方法で腕支持をする			
◎様々な方法で腕支持をする			◎サーキット的遊び (例) ①かえるの逆立ちで生きつかまえるコース ②クモ歩きでジグザグに歩くコース ③前転がり (アルマジロ) になってたくさん回るコース	◎両足・両膝・両手・両肘・両腕の振り上げ		◎サーキット的遊び (例) ①壁寄り逆立ちでじゃんけんをするコース ②川流びでコロコロを渡るコース ③後ろ転がりがたくさん回るコース
◎様々な方法で腕支持をする			◎両足の動きを直視し、つながりを取り組む。 ◎サーキットトレーニング (スタート・ゴールを設け、コース上で既習の動きをする) の形式で行う。			◎両足の動きを直視し、つながりを取り組む。 ◎サーキットトレーニング (スタート・ゴールを設け、コース上で既習の動きをする) の形式で行う。

腕支持・逆さ感覚をつかむ!

テーマ
『姿勢の安定』

動きや着目点

活動内容

既習の
技能・感覚

・回転する動き	・既習の動き
・体の部位による動きの変化への気づき	・既習で身に付けた知識・技能
・体の部位による動きの変化への気づき	
【ル探検でいろいろな動物の動きを身に付けよう】 動きを経験し、体の部位に着目し、自分の体の使い	
〈準備運動：動物歩き〉 クモ歩き、ラクダ歩き、クマ歩き、ウサギ歩き かえるの足うち ◎様々な方法で腕支持をする	
ち、 、 跳 る	サーキット的 遊び (例) ①壁登り逆立ちで じゃんけんをするコース ②川跳びでコ川を渡 るコース ③後ろ転がりでたく さん回るコース ◎既習の動きを楽しみ ながら取り組む
〈ゆりかご（ダンゴ虫）、 だるま転がり、丸太転がり 前転がり（アルマジロ） 後ろ転がり〉 ◎様々な方法で回転さ	サーキットトレニ

腕支持・
逆さ感覚を
つかむ！

デジタル 3本の矢

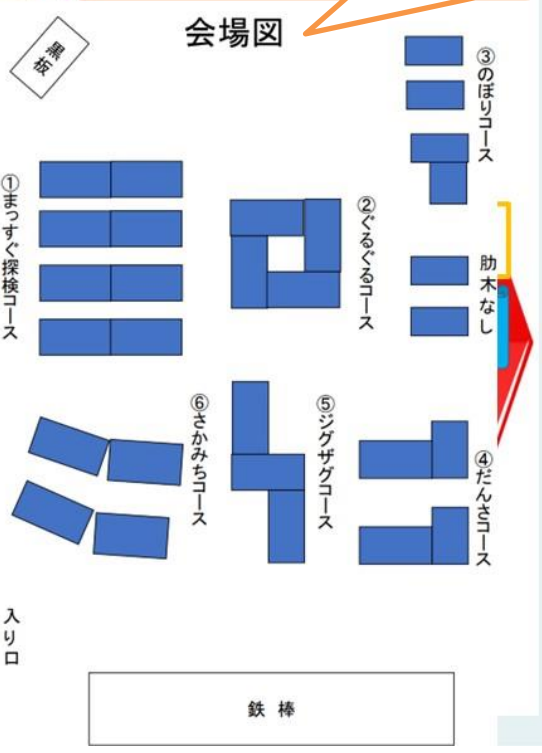
「最適な」運動実施時期や
運動内容、運動の順序性
扱い方を構造的に配置する！



デジタル 3本の矢

『姿勢の安』			
	1学年①	1学年②	1学年③
基本動作	・多様な姿勢を保つ動き ・肩に体重をのせる動き	・回転する動き	・既習の動き
基本動作の発展	◎様々な体の動き (得意によって異なる) ・アゴを上げる (目線) ・肘をまっすぐにする ・逆さ感覚	◎様々な体の動き (得意によって異なる) ・アゴを引く、背中を丸める ・後頭部をあげる ・順次接触	◎既習で身に付けた知識・技能
単元のめあて	【ジャングル探検でいろいろな動物の動きを身に付けよう】 ◎遊びを通して様々な動きを体験し、各動きの感覚を身に付ける。		
準備運動	(準備運動：動物歩き) (例) アザラシ歩き、クモ歩き、ラクダ歩き、クマ歩き、ウサギ歩き、シャクトリ虫、かえるの足うち ◎様々な方法で腕支持をする		
基本動作の発展	(背支持倒立、壁寄り逆立ち、ブリッジ、かえるの逆立ち、支持での川遊び、腕立て横跳び練習) ◎様々な方法で腕支持をする	(サーキット的遊び) (例) ①かえるの逆立ちで虫をつかまえるコース ②クモ歩きでジグザグに歩くコース ③前転がりてで (アルマジロになって) たまきん回るコース ◎既習の動きを美しくしながら取り組む。	(サーキットトレーニング) スタート・ゴールを設け、コース上1既習の動きをする。4形式で行う。
	(ゆりかご (ダンゴ虫)、だるま転がり、丸太転がり前転がり (アルマジロ)) ◎様々な方法で回転をする		

場の設定も教えてくれます！











デジタル 3本の矢

運動の「行い方」も動画で教えてくれます！



ボール運動「3本の矢」 ～得点をたくさん入れるための動き～

★学年・時数	5学年① 6学年①	5学年② 6学年②	5学年③ 6学年③	5学年④ 6学年④	5学年⑤ 6学年⑤	5学年⑥ 6学年⑥	5学年⑦ 6学年⑦	5学年⑧ 6学年⑧
★主活動	誰もが楽しくゲームに 参加できるように、ゲ ームのルールを工夫		味方チームを意識しながら 難易化されたゲームを行う。		味方チームと相手チームを 意識しながら難易化された ゲームを行う。			
★つなげる知識・技能	◇パスを受けてシュートをする 	◇近くにいるフリーの味方にパスを出す ◇相手に捕られない位置でドリブルをする ◆得点しやすい場所に移動する 	◇近くにいるフリーの味方にパスを出す ◆得点しやすい場所に移動する 	◇近くにいるフリーの味方にパスを出す ◆得点しやすい場所に移動する 	◆ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動する 	◆ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動する 	◆ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動する 	◆ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動する 
★活動内容	ドリブルゲーム ○ボール操作を身に付けるゲーム		ドリブルゲーム ○得点を入れるための動きを身に付けるゲーム					
	メインゲームのルールを選択 ○攻めと守りの人数 ○得点の仕方 ○ゴールの形状や用具（大きさや個数、柔らかさなど） ○コート上の工夫（広さや制限区域・障地の設定） ※誰もが楽しくゲームに参加できるルールを選択させる ↓ 仲間と協力しながら得点する楽しさや喜びを味わうことができる簡易化されたゲーム		よい動きの共有 → 課題を解決するための活動や作戦の選択 ○よい動きや工夫した動き、作戦を壁面に掲示する ○よい動きや工夫した動き、作戦を提示したり、示範したりする ○得点をたくさん入れている児童やチームの動きを紹介する ○得点がたくさん入っている作戦を紹介する ○ゲーム記録や動画などから、チームの特徴を考えさせる ○自己やチームの課題を解決するための活動を提示する ※チームの課題を解決するための作戦（一人一人の役割や動き、ボールの動きなど）を選択・修正させる					
	メインゲーム（実態に応じたボール操作で行うことができ、児童が取り組みやすいように工夫した簡易化されたゲーム）							
	6年間を貫く『学びの道筋』：ボール運動領域（ゴール型）							

相手に合わせて得点しやすい場所に動く

もちろん！ボール運動の目指すゲーム様相も出てきます！

ボール運動「3本の矢」 ～得点をたくさん入れるための動き～



陸上運動「3本の矢」 ～高く(遠くへ)跳ぶための○歩～

★学年・時数	5学年①	5学年②	5学年③	5学年④	6学年①	6学年②	6学年③	6学年④
★主活動	3歩高跳びをする。				5歩高跳びをする。			
★つなげる知識・技能	斜めからの助走から高く跳ぶ(4年生の復習) はさみ跳びの名前と仕方	ふりあげ足、踏み切り足の動き 助走角度	5歩のリズム トーン・トーン・ト・ト・トン (イーチ・ニー・イーチ・ニ・サン)		5年生の復習	7歩のリズム トーン・トーン・トーン・トーン・ト・ト・トン (イーチ・ニー・イーチ・ニ・サン)		
★活動内容	準備運動 (ハの字跳び、ケンケン跳び、ミニハードルジャンプ、短い時間で高くその場でジャンプ、片足ミニハードルジャンプ、バウンディング、助走付きバウンディング、バスケットボードタッチ等)							
	◎ゴムを使った走り高跳び(4時間目はバーを使っても良い)				◎ゴムを使った走り高跳び(4時間目はバーを使っても良い)			
	めあて 斜めからの助走する高跳びの仕方をふり返る。	学習課題 足を高く上げるにはどうしたらよいか。	学習課題 5歩の助走のリズムはどうなっているか。	めあて トーン・トーン・トーンのリズムではさみ跳びをし、自分の記録に挑戦しよう。	めあて 走り高跳びの仕方をふり返る。	学習課題 5歩の助走のリズムはどうなっているか。	めあて 記録会に向けて、自分の跳びかたをより良くしよう。	めあて トーン・トーン・トーン・トーン・トーンのリズムではさみ跳びをし、自分の記録に挑戦しよう。
	・自分の踏み切り足を確認する。 ・スタート位置を確認する。 ・ゴムに近い足、遠い足の順で足を上げる。 ・足から着地する。	・良い見本を見せて問いを持たせる。 学習課題 5歩の助走のリズムはどうなっているか。 ・リズムをオノマトベにする。 ・始めの2歩と次の2歩のちがいを問う。 まとめ トーン・トーン(勢い)ト・ト・トン(調整)となっている。	・リズムをオノマトベにする。 ・始めの2歩と次の2歩のちがいを問う。 まとめ トーン・トーン(勢い)ト・ト・トン(調整)となっている。	・良い見本を見せて問いを持たせる。 学習課題 5歩の助走のリズムはどうなっているか。 ・リズムをオノマトベにする。 ・始めの2歩と次の2歩のちがいを問う。 まとめ トーン・トーン(勢い)ト・ト・トン(調整)となっている。	・自分の踏み切り足を確認する。 ・スタート位置を確認する。 ・ゴムに近い足、遠い足の順で足を上げる。 ・足から着地する。 ・トーン・トーン(勢い)ト・ト・トン(調整)となっている。	・自分の踏み切り足を確認する。 ・スタート位置を確認する。 ・リズムをオノマトベにする。 ・始めの2歩と次の2歩のちがいを問う。 まとめ トーン・トーン(勢い)ト・ト・トン(調整)となっている。	・練習する。 ・練習する。 ・練習する。 ・練習する。	・自分の踏み切り足を確認する。 ・スタート位置を確認する。 ・自分の記録に挑戦しよう。 ・練習する。

リズムカルな5・7歩助走からの
はさみ跳び
完成!

6年間を貫く「学びの道筋」：跳の運動遊び・高跳び・走り高跳び

陸上跳躍系・表現は「課題とまとめ」付き!

表現運動「3本の矢」～動きの差～

★発達段階	高学年①	高学年②(1～2時間)	高学年③	高学年④(2時間)	高学年⑤	高学年⑥	高学年⑦(2時間)	高学年⑧	
★主活動	オリエンテーション	特徴的な場面をいくつかやってみる。		好きなイメージを選び、ひとまとまりの動きにする。	オリエンテーション	特徴的な場面をいくつかやってみる。		好きなイメージを選び、ひとまとまりの動きにする。	
★つなげる知識・技能	変化と起伏のある動き(腰く一歩から、大きく一歩、速く一歩、遅く一歩)	変化と起伏のある動き(素早く走る一歩、止まる、止まる一歩、跳ぶ一歩)	群が生きた動き(集まる・離れる・合わせる)	ひとまとまりの動きの構成と発表(集まる・離れる・合わせる)	感情を表す動き(感情の対比・自然への畏れの感情)			ひとまとまりの動きの構成(感じを含めた動き(指先・目線・ポーズ))	
★活動内容	・大案だ!○○からイメージすることを出しながら、2～3のまとまり(生活・自然・社会)に分ける。 ・いくつか選んで即興的に演じてみる。 ・やってみての感想を出し合い、学習の見通しをもつとともにゴールイメージのひとまとまりの動きにして発表会を行う。	学習課題 どうしたら激しく雷を落とすことができるかな。 教師のリードで急変する場面を入れながら即興的に演じる。 ・自由な発想から場面として捉え、動きの流れが途切れないようにする。 まとめ 大きく飛んだ後、転がったり、体をねじったりするよ。	学習課題 どうしたら激しく火山を落とすことができるかな。 ・4人組で小テーマから好きなテーマを選び、ひとまとまりの動きにして演じる。 まとめ みんなで集まったり、離れたりするよ。	学習課題 どうしたら激しく火山を落とすことができるかな。 ・4人組で小テーマから好きなテーマを選び、ひとまとまりの動きにして演じる。 まとめ みんなで集まったり、離れたりするよ。	・印象的な出来事からイメージすることを出し合う。 ・出したイメージの中から、教師のリードで感情を表す動き(感情の対比や自然への畏れの感情)を入れながら即興的に演じる。いくつか選んで即興的に演じてみる。 ・やってみての感想を出し合い、学習の見通しをもつとともにゴールイメージ(はじめる・終わりのひとまとまりの動きにして発表会を行う)をもつ。	学習課題 スポーツの試合で勝つ様子を落とすにはどうすればよいだろうか。 ・最も盛り上がる場面を演じてみる。 例 シュートを決める ホームランを打つ トライを決める。 ・教師のリードで感情を表す動きを入れながら即興的に演じる。 例 ガッツポーズ ハイタッチ まとめ 最も盛り上がる場面の後に【嬉しい】「喜び」などの感情を表す動きをいれるよ。	学習課題 スポーツの試合で勝つ様子を落とすにはどうすればよいだろうか。 ・マイナスの感情を表す動きを教師のリードに合わせて演じる。 例 地面を叩く 顔をにおう 顔を擦る。 ・負けている場面を演じる。 例 シュートを打たれた ホームランを打たれた トライを決められた まとめ 【悲しい】【悲しい】などの動きを入れて負けた場面を加えよう。	学習課題 好きなテーマを選び「はじめ・なか・終わり」でひとまとまりの動きを考える。 例> スポーツ 環境問題 旅行など ・一番表したい場面が強調されるように工夫する。 ・感じを含めた動きになるよう、群の動きを工夫したり、ラストシーンを印象的にしたりする。 ・動きを見せ合いの動きの修正と改善を繰り返す。	発表会をする。 感想を出し合い、单元的まとめる。

メリハリのある、群の動きによるひとまとまりの動き
完成!

6年間を貫く「学びの道筋」：表現遊び・表現領域

4 来年度からの体育部に求めるもの

今年度の研究発表は、脈々と続いてきた体育部研究、成果の「結集」である。直近の研究は、8年前の「学びの道筋づくり」に端を発する。単位時間内における教師の働き掛け研究であった。「わかる」と「できる」を接続する【つなぐ手立て】と、本時の課題を解決するための【できる手立て】を、必ずセットにして授業構想するという提案であった。授業を創るという、一見当たり前のことではあるが、まさに体育授業の肝となる提案になった。更に、来たる大量採用時代に向け、先見的な研究となったことは言うまでもない。多領域に渡り、会員一人一人の授業アイデアやバイタリティーに溢れる研究となった。次研究はそれらを継承し、単元内における【つなぐ手立て】と【できる手立て】の創造へと発展した。学習者が学びに向かう力を持ち続けながら、確実に技能を習得させる働き掛け研究であった。もちろんこの研究にも大きな成果があった。体育の場合、学習指導要領の学習内容は2年間で身に付けるものを明示している。そのため、毎年扱える運動教材とそうでないものが必然的に出る。そのため、単元構成がとても重要になる。どのような活動を埋め込むか、ゴールの姿はどう設定するか、継続性が必要な運動のため1年ごとに内容を細分化したらどうか等、教師のプランニングスキルが大きく向上する研究となった。

そして本研究。これまでの研究における成果を踏襲し、未だ明らかにできていない、明確に示すことができていない【6年間の学びの道筋づくり】を目的とした。これらは構想レベルではなく、汎用性（子どもの技能レベルや教師の指導力が違ってても）の高いものに仕上げる必要があった。そのため、3年間で46本の授業研究を重ねるだけでなく、所属する領域ごとに、会員一人一人が実践して成果と課題を明らかにし、全員で共有しながら修正改善を進めた。学習内容の取捨選択からゴールの姿、更にはミニマムであるため求める姿の程度等、細部にまで渡って検討を重ね、新潟市のベーシックとなる6年間の授業構想モデルを創造した。

1年半、多くの授業実践を繰り返しながらプランニングしてきたものではあるが、もちろんこれらを簡単に結論というわけにはいかない。そのため次に着手したのが、学年部ごとのプランニングをシームレスに接続できているかを確認することである。低学年と中学年の学習内容が逆転していないかどうか、活動難易度や思考プロセスが逆行していないかどうか、中学年の運動を支える下位教材が低学年にきちんと組み込まれているか等である。これらにこだわったのは、体育を専門としない一般会員に利活用してもらわなければ、私たち体育部研究の目的達成が果たせないからである。会員一人一人の担当する学年や技能・思考レベル等を把握し、分担しながら実践された記録（メタ情報）を集約し、仮説検証した上で最終形を整えていった。

そして発表会を通して市全体へ発信した。「デジタル3本の矢」と命名し、授業支援アプリケーションを通して配信する。まず来年度、それらを活用した一般会員の授業記録や教師・学習者の声を調査する必要がある。また、更なる領域や運動教材の拡大を図る必要がある。これまで着手できていない水泳運動やボール運動の他の型等が考えられる。更に、会員からの新たな研究への要望もある。次の発表会に向けた礎ともなる研究が来年度から始まる…。

今年度の研究発表会にあたり、諸先輩方からたくさんのご指導をいただきました。本当にありがとうございます。また、市小研体育部同人の皆様からは、主体的・継続的に研究に邁進していただきました。重ねて感謝いたします。本当にありがとうございました。

多様な考えをもって建設的な議論ができること、これが市小研体育部の誇りであり、揺るがない伝統です。これからも「全ては子どもたちのために」、使命感と情熱を持ち続けながら、新たな研究へと邁進していくことでしょう。

文責 藤本拓矢 析澤 誠

中学校教育研究協議会保健体育部の研究

- 1 研究主題 「運動に親しみ、自ら学ぶ生徒の育成」
～学び合いを通して、わかってできる授業の創造～

- 2 研究内容

研究主題達成に向けた授業の視点をもとに、テーマ別研修を実施した。感染症予防対策により、参加者を体育主任に限定し行い、昨年度よりも充実した協議会となった。

公開授業については、新潟市立総合教育センターと連携し、「学び合い」に重点を置くとともに、ICTの有効な活用方法などを通じて、主体的に学ぶ生徒の育成を目指し取組を進めた。

- (1) 一斉研修会

日 時 令和4年11月10日(木)

開催方法 ZOOMによるWEB会議形式

内 容 ①令和4年度市中教研保健体育部 活動報告

②今年度の各分科会研究内容の報告

・授業者による振り返りと幹事による実際の様子

・ご指導

総合教育センター 指導主事 音田 和行 様

- (2) 分科会

- (1) 第一分科会(北・東区)

新潟市立大形中学校 授業者：金川 亮 教諭

器械運動 「跳び箱運動」

- (2) 第二分科会(中央・江南区)

新潟市立両川中学校 授業者：矢木 忍 教諭

ダンス 「創作ダンス」

- (3) 第三分科会(秋葉・南区)

新潟市立白根北中学校 授業者：新井 慧真 教諭

保健分野 「心の健康(心身の機能の発達と心の健康)」

- (4) 第四分科会(西・西蒲区)

新潟市立潟東中学校 授業者：高森 修一 教諭

保健分野 「健康な生活と疾病の予防(感染症の予防)」

- 3 成果と今後の課題

新型コロナウイルス感染症のため、例年通りの研修を行うことはできなかったが、感染症対策を講じながらできる範囲で研究を進めた。

分科会による授業公開では、参加者を同地区の体育主任と幹事に限定し行った。昨年度は、幹事のみ参加であった協議会も、少数ではあるものの参加していただいた部員の方々と活発な意見交換が行われ、有意義な時間を過ごすことができた。各分科会とも、「学び合い」の場面を重視し、学び合いによる思考の深まり、技能の向上が図られており、生徒が主体的に授業に取り組む姿がみられるなど提案性の高い公開授業となった。iPadの活用についても、必要な場面で有効に活用され、活用例が増えてきている。また、評価についても継続して情報交換や研究推進が必要であると考えている。一斉研修会では、各分科会の公開授業の様子や協議会の様子を部員と共有することができた。

令和4年度

「保健体育部」事業報告

月	日	事業名	会場	内容	参加者数
5	19	保健体育部総会 第1回幹事会	ZOOM	令和3年事業報告、会計報告 令和4年事業計画、予算案	13
8	25	第2回幹事会	巻東中学校	分科会指導案検討 等	18
10	7	第1分科会	大形中学校	授業者：金川 亮 教諭	18
10	20	第2分科会	両川中学校	授業者：矢木 忍 教諭	17
		第3分科会	白根北中学校	授業者：新井 慧真 教諭	15
10	27	第4分科会	潟東中学校	授業者：高森 修一 教諭	17
11	4	一斉研修会 日 時 11月10日(木) 14:00～16:45 開催方法 ZOOMによるWEB会議形式 内 容 <ul style="list-style-type: none"> 1 令和4年度市中教研保健体育部 活動報告 2 今年度の各分科会について(授業者・担当幹事) <ul style="list-style-type: none"> ① 第1分科会 「器械運動」(跳び箱運動) 大形中学校 金川 亮 教諭 ② 第2分科会 「ダンス」(創作ダンス) 両川中学校 矢木 忍 教諭 ③ 第3分科会 保健分野「心身の機能の発達と心の健康」 白根北中学校 新井 慧真 教諭 ④ 第4分科会 保健分野「健康な生活と疾病の予防」 潟東中学校 高森 修一 教諭 3 ご指導 新潟市立総合教育センター 指導主事 音田 和行 様 			145
2	16	第3回幹事会	巻東中学校	令和4年度事業反省 令和5年度事業計画立案 等	13

第一分科会授業実践

[単元名] 第2学年「器械運動（跳び箱運動）」

[授業者] 新潟市立大形中学校 教諭 金川 亮

1 児童(生徒)と単元の指導構想

○単元について

器械運動は、マット運動、鉄棒運動、平均台運動、跳び箱運動で構成され、器械の特性に応じて多くの「技」がある。これらの技に挑戦し、その技ができる楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。器械運動で学習する技は、逆さになって回転したり、ぶら下がって回転したり、手で支えて跳び越したりする巧技的な運動で、日常においてあまり経験しない非日常性を特徴にしている。そのため目標とする技を学習対象にして、その動き方を身に付ける学習が必要となってくる。技の特性から「できる」「できない」が明確に表れるため、すべての生徒が技を身に付ける喜びを味わうことができるように、自己の技能の程度に適した技を選んだり、課題に応じた練習方法を工夫したりすることが大切である。また、練習段階においても、動き方を工夫することで動き方の感じがわかっていくことを楽しみながら、学習できるようにしていく。器械運動は、技が「できる」ことをねらいとした、動き方を身に付けていくための運動学習として大きな意味と価値をもっている。

器械運動では、中学校第1学年及び第2学年は「技がよりよくできる」こと、第3学年は「自己に適した技で演技する」ことをねらいとされている。跳び箱運動では、「切り返し系や回転系の基本的な技を滑らかに行うこと、条件を変えた技、発展技を行うこと」をねらいとしている。「知識・技能」においては、自分の技能状態や技の難易度に応じて、どの「できる」を目標に学習を進めるのかを明確にすることで、高めることができるようにする。「思考・判断・表現」においては、段階的な練習の仕方や技の習熟のさせ方、組み合わせ方などを考え工夫するとともに、他者にそれらを伝えることができるようにする。「主体的に学習に取り組む態度」においては、仲間と自己の目指す動きの違いなどを教え合いながら協力し合って学習することや、安全に運動をできるようにする。これらを単元の中で生徒に伝え、生徒が実践すること、自分の課題を見付けること、仲間と教え合いよりよいものを目指すこと、それらを教員が評価することを明確に位置づけ、学習を展開していきたい。

○生徒について

2年3・4組は体育の授業に積極的に取り組む生徒は多いが、運動能力の差が多く見られる。しかし器械運動に対するアンケートをとると、非日常的な動きが多い器械運動は「怖い」「怪我をしそう」という理由から約半数の生徒が積極的に取り組みづらいという結果となった。実際に昨年度に1学年の授業でも開脚跳びなどの基本的な技でも尻込みする生徒が見られた。そこで低い段数やセーフティーマットを用意するなどの場の工夫やスモールステップでの成功体験を積み重ねるなど、恐怖心を軽減させる工夫をしながら授業を進める必要がある。

2 本時の実際（2／5時）

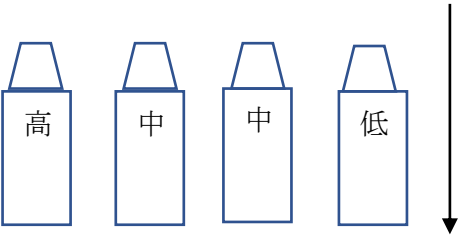
（1）本時のねらい

iPadを用いて自分の動きを客観的に見ることを通して、自分の課題を見つけ、実技テストに向けて、台上前転の完成度高めることができる。

（2）本時の構想

本時では、自分の課題を見つけ次時で行う台上前転の実技テストへの見通しを立て、積極的に取り組めるようにしたい。実技テストは「演技」であることに着目させ、より美しく、大きな演技をするための話し合い活動を取り入れる。iPadを使い自分の動きを客観的に見ることで、仲間との意見交流の場を設け、互いの技能の向上を図り、次時の実技テストに自信を持って取り組めるようにしたい。

(3) 展開

学習活動	教師の働き掛け (T) と 予想される児童生徒の反応 (S)	■評価・○留意点
導入 (10分) ・あいさつ、点呼、準備運動	跳び箱の準備やあいさつ、準備運動など	○ケガ防止のため、しっかりと行わせる。
展開 (30分) ・復習 ・学習課題の提示	T: 今日は台上前転の練習を行います。 T: 前回の復習です。台上前転の第一空中局面と第二空中局面のそれぞれのポイントはなんでしたか。 S: 第一空中局面は手を手前に着く。お尻を高く上げる。 第二空中局面は頭の後ろを跳び箱につける。体を開くタイミングに気を付ける。 T: そうですね。ポイントはいくつかありますが自分の台上前転をより美しく、大きいものにするための課題はわかりますか? S: 分からない。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 学習課題: より美しく、大きい台上前転をするための自分の課題は何だろうか。 </div>		
・練習 (1回目) ・話し合い	T: 前回決めた4人組で台上前転を10分練習します。1人は撮影、2人は補助につきます。 S: 練習をする。 <div data-bbox="491 1070 1066 1422" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;">  </div> T: 撮ってもらった動画と前回配ったお手本動画とワークシートを使い、仲間と話しながら自分の課題を探しましょう。 T: どんな課題が見つかりましたか。自分のまとめに記入してください。	○生徒の技の様子を観察し、後で行う話し合いで声かけをする内容を考えておく。 ○見るべきポイントはワークシートに記載しておく。 ■自分や仲間の良いところや改善点を見つけられているか。 ○動きのポイントがわからない生徒や間違った分析をしている生徒への声かけを行う。
まとめ (予想される生徒のまとめ) 第一空中局面の課題: ・手をついたらお尻をしっかりと上げる。こと。 第二空中局面の課題: ・目線をおへそに向けること。 ・足を伸ばすタイミングを早くしすぎないこと。		

・練習（２回目）	T：それでは見つかった自分の課題を練習で改善していきましょう。その際は仲間からiPadで撮影してもらい、動きを確かめながら行いましょう。 S：練習をする。	○課題が分かってもうまくいかない生徒にアドバイスをする。
終末（１０分）	S：片づけ、振り返りを行う。	

3 成果

- ①iPadを使い、客観的に自分の動きを見たり、場面ごとに映像を止めて仲間の動きを見たりすることで、技能のポイントに対しての振り返りや意見交流が行いやすくなった。
- ②動画を撮る場所や角度を工夫する生徒が見られたり、生徒自らどこから撮ってほしいという意見を出すようになるなど、課題解決のために必要なことを考える姿が見られた。

4 課題

- ①学習課題のポイントをより限定したものにすることで、生徒が課題解決に向けて考えやすくなると感じた。
- ②技能展開の場面をもう少し細分化（第一空中局面を踏切→着手にするなど）すると、様々な考えや意見が生まれるように感じた。

第二分科会授業実践

[単元名] 第1学年「ダンス（創作ダンス）」

[授業者] 両川中学校 教諭 矢木 忍

1 児童(生徒)と単元の指導構想

ダンスの学習を進めることで、仲間や他のグループの発想や動きのよさに声を掛けるなど互いに高め合い、教え合いながら、互いの運動意欲が高まることを理解することができる。また、練習の際に、仲間の手助けをしたり、学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとすることで、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めて活動することにつながることも理解できるようになる。

身近な生活や日常動作からテーマを設定することで、自らが表現したいイメージがわきやすくなる。また、動きを誇張したり、変化を付けたりすることを通して「ひと流れの動き」にして表現することができるようになる。そして、変化のあるひとまとまりの表現になるよう「はじめーなかーおわり」の構成で作品を仕上げ踊れるようになる。

単元を通して、主に次の4点を大切に指導する。

- ① 模倣を通して、多様な動きを高める。
 - ・多様な動きを模倣し、その経験から自分のイメージを表現する。
- ② 楽しい雰囲気の中で活動する。
 - ・毎時間ウォーミングアップ・ダンスで、心と体がリラックスできるようにする。
 - ・生徒がワクワクする興味・関心あるテーマを設定する。
- ③ タブレットを利用し、自分を客観的に見て分析する場を設定する。
 - ・言葉以外に視覚でも確認することで、自分の課題を見つけられるようにする。
- ④ 仲間と教え合う・伝え合う場を設定する。
 - ・「〇〇な感じ」といった表現が伝わっているか、①伝わり度、②ユニーク度、③メリハリ度で評価する。

2 本時の実際（6／7時）**(1) 本時のねらい**

ダンスの創作活動を通じて「イメージを捉えた表現が、見ている相手に伝える」ことができているか自己及びグループの課題の仮説を立て、合理的な解決に向けて取り組むことができる。また、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

(2) 本時の構想

創作ダンスを通じて「イメージを捉えた表現が、見ている相手に伝える」ことができているか、互いにタブレットで撮影した動画を確認し、表現などの自己の課題を発見した。本時は、課題解決のための仮説を立てて合理的な解決に向けて取り組むと共に、自己の考えたことを他者に伝えられる場を設け、表現力を向上させたい。

(3) 展開

学習活動	教師の働き掛け・予想される児童生徒の反応	■評価・留意点
(導入) 6分 ○ウォーミングアップ (リズムダンス) ○集合、あいさつ ○本時のねらいをつかむ	T1:「グループで楽しく踊り、仲間と関わり合いながら心と体がほぐれるようにしましょう」 S1:グループで楽しく踊る。 T2:本時は作品鑑賞するときの観点 ★〇〇な感じの伝わり度 ★ユニーク度 ★メリハリ度 の3つのうち「〇〇な感じの伝わり度」を高めていきます。	○大きな声でカウントをとり、楽しい雰囲気をつくる。 ○ねらいの理解と授業の見通しをもたせる 【評価の観点】 ★〇〇な感じの伝わり度 ★ユニーク度 ★メリハリ度

学習活動	教師の働き掛け・と予想される児童生徒の反応	■評価・○留意点
<p>(展開) 40分</p> <p>○前時の続きの確認と本時の学習課題について考える。</p> <p>○練習方法の説明</p> <p>○グループで仮説をシェアし合う</p> <p>○表現方法の仮説を生かした練習</p> <p>○発表と鑑賞</p> <p>○話し合い活動</p> <p>・伝えたい表現がどう見えたかを伝え、アドバイスを</p> <p>○本時のまとめをする。</p>	<p>T3: 「前時は創作した動きをタブレットで撮影し、見ている人にどんな感じを伝えたいのか、具体的にどのような動きをしていけばよいか仮説を立ててもらいました。今日はその仮説を実践していきます。</p> <p>そこで今日の課題は、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習課題】</p> <p>見ている人に伝えたい「○○な感じ」を伝えるためにはどんな動きをすればよいだろうか。</p> </div> <p>T3: 「練習の流れを説明します。」</p> <p>①グループで仮説をシェアする</p> <p>②曲を3回流す中で仮説を実践する</p> <p>③グループ同士で見せ合いアドバイスし合う</p> <p>T4: 「グループになり、自分の考えた表現方法を発表しましょう。」</p> <p>S2: 自分なりに考えた表現方法を伝え合う</p> <p>T5: 「意見を出し合ったことを意識した動きで練習してみましょう。」</p> <p>T7: 「見てもらうグループの人に、自分が表現したいことを伝えてプリントを渡してください。もらった人は、その表現が伝わったか評価をしましょう。」</p> <p>T7: 「見ていたグループのリーダーは、司会をして評価とアドバイスをしてください。」</p> <p>S3:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全身を使う。 <ul style="list-style-type: none"> →高さの空間を生かす。 ・「走る-止まる-見る」の1つ1つの動きを大きさにする。 <ul style="list-style-type: none"> →ポーズをしっかり作る。 ・歩き方や走り方の強弱や雰囲気を作って表現する。 <ul style="list-style-type: none"> →「止まり方」や「見る」の動作に緩急をつける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【本時のまとめ】</p> <p>動きに緩急や強弱を付けたり、表情を付けたりすることで、見ている人に表現したいことを伝えることができる。</p> </div>	<p>■話し合いを通して、仲間の意見を聞くだけでなく、自分の意見も述べるなど、考えを伝え合っている。</p> <p>○BGMを交互に流し、自分たちの曲になったら練習、異なる曲になったら話し合いをするよう指示を出す。</p> <p>■自ら意見を述べることができ、相手の発言に関心をもって聞き、質問したり、感想を述べたりして、相手の発言に関わっている。</p>
<p>(終末) 5分</p> <p>○振り返り (5分)</p> <p>○あいさつ</p>	<p>T13: 「自分の表現したい動きが伝わっていたか、自己評価をしてみましょう。自己評価のポイントは、自分や仲間と考えた表現方法の仮説で見ている相手に伝わっていたか。最後に、次の発表会で生かしたいを書いてください。」</p>	

3 成果

話し合いを重ねることによって、自分がイメージした表現がどう見えているかを確認することができた。また、仲間からアドバイスをもらうことで課題が明確になり、表現力が高まっていった。

4 課題

作品を見せ合い、評価する場面で「個」を見た表現力なのか、「集団」での表現力なのか曖昧であった。どこに焦点を当てて表現力を高めていくかを明確にし、生徒同士のアドバイスをし易くする工夫をしていきたい。

第三分科会授業実践（保健分野）

【単元名】 第1学年 単元：心身の発達と心の健康

【授業者】 新潟市立白根北中学校 教諭 新井 慧真

1 単元と指導の構想

(1) 単元について

「保健分野:心身の発達と心の健康」の単元は、体の諸器官が発達することや内分泌系の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること、また、精神と身体は相互に影響を与え、関わり合っていることなど将来の自分に深く関わる内容を取り扱っている。中学校の年代は、これらの発達が著しいことから保健体育の授業で扱うことは重要であるといえる。

思春期の年代は疾風怒濤の時代とも言われるように、自らの体の発育と心の発達が噛み合わず、アンバランスとなることもしばしば見られる。さらに、人間関係での軋轢や様々な欲求不満が原因で生じるストレスの正しい対処を理解できていないと、自分をコントロールできなくなってしまうこともある。本単元では、教える知識量が多い為、講義型で進める場面が多くなってしまふことが予想される。そこで、ロイノートを活用し、シンキングツールを用いることで生徒が少しでも自分事として捉えるようにし、他の生徒と考えをやりとりするを通して互いに成長していく関係性を築いていきたい。

(2) 指導の構想

今回授業を行う1年1組は男子16人、女子19人の計35人で、授業中には活発な発言や意見交流が見られる。その反面授業と関係ない発言が飛び交い、集中できないことも少なくない。また、自己肯定感が低い生徒や、対人関係に悩みを抱えている生徒も在籍している。そこで、本時では「欲求への対処」を扱うこととした。欲求不満の状態は時として人間が成長するために必要不可欠であり、欲求を満たそうと努力することで自己肯定感が醸成されるという一面もあることに気付かせたい。そこで以下の手立てを講じることとした。

手立て1：「座標軸」を用いて「テストで良い点を取りたかったけれど、取れなかった」という欲求不満への対処の仕方を分類する。

「テストで良い点を取りたい」という欲求への対処の仕方を座標軸に配置する。この活動では、欲求不満への対処の仕方を指定する。この活動を通して、欲求への対処とその行動が、欲求を満たすものかどうか、適切な行動かどうかを可視化する。そうすることで、手立て2での欲求への対処法を考える際の手がかりとする。

手立て2：「欲しいものが手に入らない」という身近なテーマについて、欲求不満への対処の仕方を考え、それが適切な行動かどうかを考える。

次に、適切な欲求不満への対処の仕方を考えるため、「欲しいものが手に入らない」時にどのような行動を取るかを考える。まず個人で考えた後、班の中で共有し座標軸にカードを配置する。こうすることで、対処の仕方は1つではなく、数ある中から取捨選択をし、行動に映すことが大切であることに気づかせる。また、班で共有することで自分では思いつかなかった欲求不満への対処の方法に触れることができる。そうすることで今までとは異なる視点で解決法を考えることにつなげる。また、無意識で行なっている行動の判断基準を可視化することで、欲求が単に満たされるかどうかだけで判断しているわけではないことにも気づかせる狙いがある。

2 本時の実際

(1) 本時のねらい

欲求の対処について、シンキングツール(座標軸)を用いて分類し、欲求が満たされない際にどのような行動をとるべきかを考える活動を通して、適切な問題解決が大切であることに気づくことができる。

(2) 展開

学習活動	教師の働きかけ (T) と予想される生徒の反応 (S)	■評価規準・留意点
<p>【導入】3分</p> <p>1.前時の学習内容の確認</p>	<p>T:前回の保健の授業の復習をします。前は欲求についてやりました。教科書を見ると書いてありますが、3種類ありましたね。覚えていますか?</p> <p>S:覚えています。</p> <p>T:それぞれの欲求が全て満たされている人はいません。そこで、欲求が満たされなかった時にどのように行動するのがよいのか考えてみましょう。</p>	<p>・生徒がわかりやすいような言葉で前時の内容を確認する。</p>
<p>【展開】30分</p> <p>2. テーマ1について考えながら、座標軸の使い方を確認する</p> <p>3. テーマ2について個人で考える</p> <p>4. テーマ2について班で共有する</p> <p>5. 班ごとの意見を比較する</p> <p>6. 自分だったらどの行動を取るかを選び、理由も記入する</p> <p>7. 個人で考えたものを共有する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>学習課題</p> <p>欲求不満の際にどのように行動したらよいのだろうか?</p> </div> <p>T:テストで目標点を取れなかった時、次の行動は座標軸のどこに当てはまりますか?「コツコツ努力する」はどうですか?</p> <p>S:グラフの右上です。</p> <p>T:「高い授業料を払って塾に行く」はどうですか?</p> <p>S:座標軸の右上です。</p> <p>T:違う意見はありませんか?</p> <p>S:座標軸の右下です。</p> <p>T:なるほど。同じ行動でも人によっては「アリ」か「ナシ」か違うんですね。</p> <p>T:では次に、もう少し身近なテーマについて考えます。「あなたには今10000円の欲しいものがあります。しかし、あなたの所持金は8000円です。」というテーマです。</p> <p>T:では、自由記述のカードを班長に送ってください。その後、班で話し合いながら座標軸のどこにそのカードが配置されるかを考えましょう。</p> <p>T:では、班長は出来上がった座標軸を提出箱に提出してください。</p> <p>T:それでは班ごとで意見を比べてみます。</p> <p>T:では、今度は現実的に考えて自分だったらどの行動を取るか2つ選び、その理由も記入してください。</p> <p>T:〇〇さんだったらどの行動を選びますか? S10:私だったら「中古品の安くなった物を買う」を選びます。なぜなら、私の家ではお手伝いをしてもお金はもらえないからです。</p>	<p>・黒板上でカードの位置を確認しながら座標軸の使い方を確認する。</p> <p>・考える活動に集中するため、個人で考えてカードを配置する。</p> <p>■意欲的に自分の考えをカードに記入している。(態)</p> <p>■自分の考えたことを仲間に伝えようとしている。(思)</p> <p>■自分の意見を積極的に仲間に伝えている。(態)</p> <p>・個人作業に集中するため、机を元に戻す。</p> <p>・異なる行動を選んだ生徒数人に意見を訊く。</p>

第四分科会授業実践

【単元名】 第3学年 「保健（健康な生活と疾病の予防）」 (オ)感染症の予防

【授業者】 潟東中学校 教諭 高森 修一

1 生徒と単元の指導構想

今の3年生は、中学校入学以前からコロナ禍による影響を受け始め、2年半以上が経った今でも、様々な制約の中で学校生活を過ごしている。また中学校入学以来、生徒の多くは感染症拡大防止の観点から、『3密の回避』や『マスクの着用』、『手洗い・手指の消毒』といった基本的な感染防止対策を意識して行っている。しかし、普段の学校生活に目を向けると、手洗いの場面や回数は少ないと考えられる。また、手洗いにかかる時間は短く、水洗いで済ませている男子生徒が少なからずいるのではないかと予想する。

本単元では、人間の健康は、主体と環境が関わり合って成り立つこと、健康を保持増進し、疾病を予防するためには、それに関わる要因に対する適切な対策があることについて、理解できるようにすることを目指している。(オ)感染症の予防では、感染症は適切な対策を講ずることにより、感染のリスクを軽減することができること、社会環境や主体の抵抗力、栄養状態などが相互に複雑に関係する中で、感染症が発病することを理解できるようにする。その際、病原体の種類によって、感染経路が異なることにも触れる。また、エイズ及び性感染症の増加傾向と、青少年の感染が社会問題になっていることから、それらの疾病概念や感染経路についても理解できるようにするとともに、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを、理解できるようにする。

2 本時の実際（3／7時）

(1) 本時のねらい

接触感染に予防効果がある手洗いを、手洗いチェッカーを活用して、その効果をグループで確認する。また、どの部分に洗い残しが多いのかを確認して、普段の手洗いを見直す機会とする。

(2) 本時の構想

普段の学校生活における手洗いの場面や回数が少ないと予想したので、事前に手洗いに関するアンケートを実施した。アンケートの結果は、ある程度予想した内容となった。

そこで普段の手洗いが、どの程度の予防効果があるのかを、手洗いチェッカーを活用して、その予防効果を可視化しながら、グループで確認させたい。その際に、手洗いのやり方を①水洗いのみで10秒、②石鹼を使って15秒、③石鹼を使って20秒、の3種類で行う。そして、3種類の手洗いには、どの部分に洗い残しが多いのかを、タブレットで撮影して比較検証を行っていききたい。更には、そこで得た比較検証の結果と、正しい手洗い（自動水栓と液体石鹼を使って、手洗いの順番に従い30秒）の方法を踏まえつつ、今後の手洗いに役立てていききたい。

(3) 展開

教師の働きかけ	予想される生徒の反応	■評価・○留意点・◇ICT
<導入> 1 手洗いに関する事前アンケートの結果を提示する。	・手洗いの場面や回数があまり多くない。 ・手洗いにかかる時間も意外と少ない	○事前アンケートの結果を、パワーポイントにより確認させる。

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【学習課題】 効果的な手洗いを行うには、どんな点に気を付けたらよいだろうか。 </div>		
<展 開> 2 3種類の手洗いについて手洗いチェッカーを活用しながら、その効果をグループで確認させる。 3 確認したことを、ワークシートにまとめさせる。 4 ワークシートにまとめたものを、グループで話し合わせる。 5 グループで話し合った内容を発表させる。 6 効果的な手洗いについて資料を基に説明する。	・水洗いのみの手洗いは、予想通りに洗い残しが多い。 ・石鹼を使った手洗いでも、爪の周りや指先に洗い残しが目立つ。 ・どの部分に洗い残しが多いのかを、ワークシートにまとめる。 ・効果的な手洗いに必要な条件や要素を、グループで話し合う。 ・グループで話し合った内容を発表する。 ・効果的な手洗いについて、資料を基に確認する。	○グループ内の役割分担や手洗いチェッカーの活用手順などを、パワーポイントにより確認させる。 ◇タブレットで手洗い前と手洗い後の状況を撮影して、比較検証させる。 ■ 検証結果から、正しい手洗いの必要性を実感している。 【知識及び技能】 ○話し合ったものを、ホワイトボードに記入させる。 ■ 話し合いや発表を聞く場で、効果的な手洗いに必要な条件や要素を熟考している。 【思考・判断・表現力】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 【まとめ】 爪の周りや指先など、洗い残しが多くなる部分を石鹼で丁寧に洗おう。 </div>		
<終 末> 7 ワークシートに本時の授業を振り返らせる。	・ワークシートに本時の授業の振り返りを行う。	■ 振り返りの活動を通して、感染症の予防に努めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 【振り返り】 これまでの手洗いを振り返り、今後に活かしていきたいことを書き出そう。 </div>		

3 成果

- ①事前アンケートを実施して、学校生活における手洗いの状況を把握したこと。
- ②手洗いチェッカーを活用して、手洗い効果の可視化により、その状況を確認したこと。
- ③手洗い効果を検証する実験を通して、学習課題の解決に迫る授業を展開したこと。
- ④実験結果の比較検証を通して、正しい手の洗い方を理解したこと。

4 課題

- ①タブレットで撮影した写真を、エアドロップを使ってグループ内で共有化を図れば、各自のタブレットで比較検証をすることができるので、授業の流れがよりスムーズになると思われる。
- ②他のグループが話し合った内容を、ロイロノートを使って回答の共有化を図れば、各自がタブレットの画面上で発表内容を確認することができるので、発表内容がよりイメージしやすくなると思われる。

Ⅲ 体育連盟の活動

[1] 新潟市小学校体育連盟の活動

1 第52回新潟市小学校陸上競技記録会

(1) 日 時 [西地区大会] 令和4年7月26日(火) 8:45(開会式)~12:30
 [東地区大会] 令和4年7月27日(水) 8:45(開会式)~12:30

(2) 会 場 新潟市陸上競技場

(3) 過去3年間の参加校数及び出場選手数

*令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止

*令和4年度は熱中症・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、6年生児童のみの参加

年度	東地区大会						西地区大会					
	5年		6年		合計	参加校数	5年		6年		合計	参加校数
	男子	女子	男子	女子			男子	女子	男子	女子		
令和元	307	293	302	308	1210	53	273	270	267	267	1077	54
令和3	296	303	302	287	1188	52	255	229	255	232	971	55
令和4			300	302	602	52			259	228	487	52

(4) 第51回大会までの大会記録 * < >内は20年度より導入した写真判定による大会記録

種目	性別	男 子		女 子	
		5年	6年	5年	6年
100m		13秒3 <13秒50>	12秒2 <12秒61>	14秒0 <14秒61>	13秒3 <14秒01>
200m		28秒6	27秒1	—	—
800m		—	—	2分35秒5 <2分33秒65>	2分29秒6 <2分28秒01>
1500m		4分59秒3 <4分55秒88>	4分52秒2 <4分47秒72>	—	—
80mH		13秒3 <13秒67>	12秒3 <12秒46>	13秒7 <14秒01>	13秒0 <13秒30>
走り幅跳び		4m43cm	5m23cm	4m18cm	4m45cm
走り高跳び		1m44cm	1m60cm	1m32cm	1m48cm
4×100mR		57秒4 <57秒66>	52秒4 <53秒89>	57秒2 <59秒45>	55秒5 <56秒38>

(5) リレー優勝チーム及び大会新記録者 *令和4年度は熱中症・新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、6年生児童のみの参加

	東地区大会		西地区大会	
	男 子	女 子	男 子	女 子
リレー優勝5年				
リレー優勝6年	葛塚東小学校	鳥屋野小学校	巻北小学校	坂井輪小学校
大会新記録者	【6年男子】4×100mR 巻北小学校チーム 53秒78 【6年女子】100m 附属新潟小 齋藤 紗慈 13秒86			

2 新潟市小学校体育実技講習会

	第 1 回	第 2 回
日 時	令和 4 年 6 月 2 4 日 (木)	令和 4 年 11 月 22 日 (火)
会 場	新潟市陸上競技場	新潟市立両川小学校
講 師	新潟市中学校体育連盟 渡邊 祐哉 教諭 (高志中等教育学校) 梅沢 怜史 教諭 (木戸中学校)	新潟市南区教育支援センター 指導主事 南 啓史 様
内 容	「短距離走・ハードル走」 小・中体連連携事業	「マット・跳び箱を使った運動遊び」
参加者数	4 5 名	3 2 名

3 新潟市水泳競技記録会 ※令和 2 年度より休止

4 令和 5 年度 陸上競技記録会実施日

第 5 3 回 陸上競技記録会	東地区大会	西地区大会
	令和 5 年 7 月 2 5 日 (火)	令和 5 年 7 月 2 6 日 (水)
	予備日 2 7 日 (木)	2 8 日 (金)
	於：デンカビッグスワンスタジアム	

5 まとめと来年度の方向

令和 3 年度に引き続き、熱中症対策に加え、「コロナ感染対策チーム」を編成し、感染症対策や内容を熟慮し大会運営を進めてきた。待機場所で児童が密集状態になることが予想されるフィールド種目の休止、当日の来場者数の制限や保護者入場券の提出、競技時間短縮を測るため 6 年生児童のみの大会参加等、熱中症・感染防止対策を講じ、大会の新たな方向性を見出すことができた。加えて、新潟市教育委員会とも連携を取り合い、熱中症対策、感染症対策を万全にし、陸上記録会を実施した。

また、本記録会では、2 つの大会新記録が出た。新潟市の子どもたちの達成感や運動に対する熱い思いを醸成することのできた意義のある大会となった。

体育実技講習会では、新潟市中学校体育連盟との連携事業である陸上競技指導について講習会を開催することができた。今回は、市内中学校から 2 名の講師をお招きした。陸上運動の種目ごとに、感覚づくりや動きづくりについて、指導のポイントを分かりやすく教えていただき、専門性の高い指導に触れられる機会となった。多くの先生から参加いただき、今年度も大変好評であった。

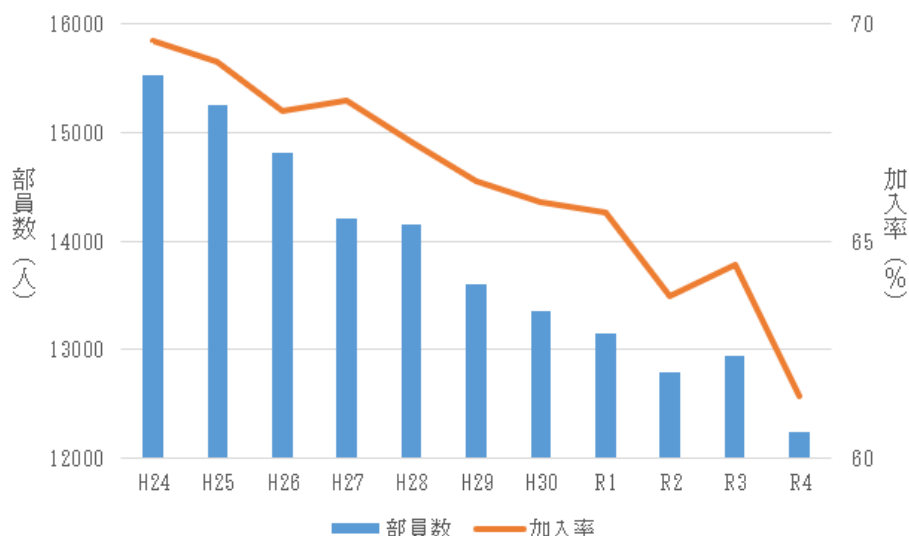
第 2 回では、低学年の運動領域である「マット・跳び箱を使った運動遊び」をテーマに講習会を行った。全ての学年の基礎となる運動遊びについて、子どもたちが遊びやゲームを楽しみながら力を高めていけるような指導法を教えていただくことができた。参加した多くの先生も実際に体を動かして動きを体験することで、たくさんの気付きや学びがあり、充実した会となった。

今後も猛暑の中、さらにコロナ禍での小体連事業の実施が予想される。そこで、現在、次年度以降の事業における対策や内容について検討している。子どもたちや保護者、参加する職員の安全を最優先に、子どもたちの力を伸ばしていける小体連事業を目指していく。

(文責 新潟市小学校体育連盟事務局長 沼垂小学校 竹松 譲)

〔2〕新潟市中学校体育連盟の活動

1 運動部活動部員数・加入率の推移



生徒数の減少とともに、運動部活動の部員数も減少（10年間で約3,200人）しています。今年度、運動部活動に所属している生徒数は、12,252人で新潟市全体の生徒数の約61%にあたります。

2 各種競技大会

(1) 第63回 新潟市中学校体育大会

- ① 主催 新潟県中学校体育連盟 新潟市中学校体育連盟
- ② 期日 令和4年6月13日(月)・14日(火)・18日(土)
20日(月)・21日(火)・25日(土)
【競技によって開催日が異なるが、最大3日間開催】
- ③ 会場 新潟市体育施設・新潟市内中学校

(2) 第53回 新潟県中学校総合体育大会

- ① 主催 新潟県中学校体育連盟
- ② 期日 令和4年7月16日(土)・17日(日)・18日(月祝)
【サッカー・軟式野球のみ3日間開催】
- ③ 会場 新潟県内の体育施設(新潟市開催は、3種目)

(3) 第43回 北信越中学校総合競技大会

- ① 主催 北信越中学校体育連盟 北信越各県中学校体育連盟
- ② 期日 令和4年8月1日(月)～6日(土)
- ③ 会場 長野県内各地
- ④ 入賞(3位以上)校・選手一覧

競技	種目	順位	氏名 (学校名)
陸上	3年男子 100m	1	宮村 温 (鳥屋野)
	男子 400m	1	坂井 駿介 (松浜)
		2	森 飛遥 (早通)

	男子 800m	2	古野間 久明 (宮浦)
	男子走高跳	2	保苺 楓太 (石山)
	男子砲丸投	3	中川 冬夢 (下山)
	男子 4×100mR	3	脇川 光貴・宮村 温 大崎 遥輝・渡部 賢司 (鳥屋野)
	男子四種競技	2	近藤 嵐 (巻東)
		3	三浦 遙仁 (坂井輪)
	2年女子 100m	1	田中 麗愛 (宮浦)
	女子 800m	2	石川 桃子 (巻東)
水泳	男子自由形 400m	3	坂木 荘介 (寄居)
	男子背泳ぎ 100m	1	長谷川 温大 (大江山)
		3	須田 大晴 (上山)
	男子背泳ぎ 200m	1	長谷川 温大 (大江山)
		2	須田 大晴 (上山)
	男子個人メドレー400m	2	清水 優希 (亀田)
	女子自由形 50m	2	神田 行空 (新津第二)
	女子背泳ぎ 100m	2	
女子平泳ぎ 200m	3	神田 倫来 (木戸)	
女子バタフライ 100m	2	門間 悠月 (亀田)	
バスケットボール	女子	1	新潟清心女子中学校
バレーボール	男子	3	中之口中学校
ソフトテニス	男子団体	1	巻西中学校
		3	巻東中学校
	男子個人	1	町澤 緯宙・笹川 慈瑛 (巻西)
		2	高橋 憐依・日野 莉大 (巻西)
		3	高澤 颯・高澤 泉 (内野)
卓球	男子団体	2	黒埼中学校
バドミントン	女子シングルス	3	佐藤 弥生 (白根第一)
柔道	男子団体	3	葛塚中学校
	男子 90kg 級	1	騰川 雄喜 (白根第一)
剣道	男子団体	1	小針中学校
	男子個人	3	金澤 心 (石山)
	女子団体	3	石山中学校
		3	小針中学校
	女子個人	1	佐藤 愛海 (小針)

(4) 令和4年度 全国中学校体育大会 夏季大会

- ① 主催 日本中学校体育連盟
 ② 期日 令和4年8月17日(水)～25日(木)
 ③ 会場 北海道・東北ブロック

④ 入賞校・選手一覧

競技	種目	順位	氏名 (学校名)
陸上	男子 4×100mR	1	脇川 光貴・宮村 温 大崎 遥輝・渡部 賢司 (鳥屋野)
	男子 400m	2	坂井 駿介 (松浜)
	男子走高跳	5	保苺 楓太 (石山)
水泳	男子 100m 背泳ぎ	6	長谷川 温大 (大江山)
剣道	女子個人	1	佐藤 愛海 (小針)

(5) 第63回 新潟市中学校新人大会

- ① 主催 新潟市教育委員会 新潟市中学校体育連盟
- ② 期日 令和4年9月27日(火) 東地区
28日(水) 西地区
- ③ 会場 新潟市体育施設・新潟市内中学校

(6) 第32回 新潟市中学校駅伝競走大会

- ① 主催 新潟県中学校体育連盟 新潟市中学校体育連盟 新潟市陸上競技協会
- ② 期日 令和4年10月13日(木)
- ③ 会場 デンカビッグスワンスタジアム発着特設駅伝コース
(新潟県スポーツ公園内園地)

(7) 第32回 新潟県中学校駅伝競走大会

- ① 主催 新潟県中学校体育連盟 新潟陸上競技協会
- ② 期日 令和4年11月2日(水)
- ③ 会場 小千谷市白山運動公園陸上競技場周辺特設コース

(8) 第66回 新潟県中学校スキー大会

- ① 主催 新潟県中学校体育連盟
- ② 期日 令和5年1月10日(火)～13日(金)
- ③ 会場 アルペン：松之山温泉スキー場

(9) 令和4年度 全国中学校体育大会 冬季大会

- ① 主催 日本中学校体育連盟
- ② 期日 令和5年2月
- ③ 会場 長野県

3 会議

(1) 第1回本部会・第1回事務局会【4月11日：市陸上競技場】

第1回常任理事会提出資料と会議のもち方の検討

(2) 部活動顧問会【4月11日・12日・14日・15日：市陸上競技場・市音文会館】

市中学校体育大会・新人大会、専門部事業についての検討

(3) 第1回常任理事会【4月19日：黒埼市民会館】

役員承認・前年度決算報告・当年度の予算案審議・市中学校体育大会要項審議等

(4) 市中学校新人大会準備会【7月8日：黒埼市民会館】

市中学校新人大会運営の確認・会計事務の説明

- (5) 第2回本部会【9月16日：市陸上競技場】
来年度の事業計画についての検討
- (6) 第3回本部会・第2回事務局会【1月27日：市陸上競技場】
第2回常任理事会提出資料と会議の持ち方の検討
- (7) 第2回常任理事会【2月17日：万代シルバーホテル】
来年度の事業計画等の確認

4 専門部事業（スポーツ活動）

専門部名	月/日	曜日	会場	内容
バスケットボール	2/25	土	25日：西川中 高志中等 関屋中 清心女子中	西地区1年生（男・女）練習会 トーナメント・リーグ戦試合
	2/26	日	26日：西川中 25日：光晴中 藤見中 亀田中 横越中 26日：光晴中	
新体操	5/21	土	上山中	新潟市大会に向けて演技の アドバイス・ルール講習
	2/11	土	木戸中	からだづくり、手具操作に 関する実技講習会
バレエボール	5/22	日	中之口中 巻西中 西川中 白南中 岡方中 木崎中 横越中 石山中	市体育大会に向けた交流会 （東西女子）
	8/20	土	月潟中 山潟中 巻西中 高志中等 藤見中 木崎中 光晴中 東石山中	新人大会に向けた審判講習会 新人交流会（東西女子）
	2/23	木祝	山の下中 山潟中 高志中等 寄居中 横越中 大江山中 岡方中 東石山中	1年生対象の新人交流会 （男子・東西女子）
ソフトテニス	7/24	日	濁川運動広場	1年生を主対象とした 審判講習会と実技演習 交流戦
	8/20	土	豊栄総体テニスコート	
	8/21	日		
卓球	7/2	土	東総合スポーツセンター	中学校から卓球を始めた 1年生対象の技術講習会【西】
	7/9	土	亀田総合体育館	中学校から卓球を始めた 1年生対象の技術講習会【東】
バドミントン	5/14	土	東西男子：東スポ 東女子：東スポ 西女子：東スポ	市内大会に向けた、2・3年生を 主対象とした審判講習会と実技演習 前半：審判講習会 後半：交流戦（実技演習）
	10/29	土	東西男子：白根北中 東女子：新津第二中 西女子：宮浦中	個人戦による交流戦

ソフト ボール	5/14	土	みどりと森の運動公園	技術講習会
	5/21	土	木戸中学校	
	6/11	土	坂井輪中学校	
	6/25	土	東石山中学校	
	11/12	土	みどりと森の運動公園	
	11/13	日		
	1/14	土		
	1/15	日		
柔道	11/19	土	鳥屋野体育館武道場	東京学館新潟高校の監督 による技術講習会 高校生との合同練習会
剣道	1/21	土	新潟市体育館	審判講習会 初心者向けの大会 錬成試合

5 研修（部活動指導者研修会）

	開催日・会場	内容	講師
第1回	7/29（金） 県健康づくり スポーツ医科学 センター	○ スポーツフォーラム （スポーツ傷害の防止と 成長期スポーツ選手の セルフチェック等）	新潟医療福祉大学 大森 豪 様 埴 晴雄 様 菊元 孝則 様 小林真里奈 様 熊崎 昌 様 大塚製薬 露木 亮 様
第2回	10/21（金） 市陸上競技場	○ 優秀指導者実践発表	鳥屋野中学校 立花 泰志 様
第3回	12/9（金） 万代シルバー ホテル	○ 講演会 望ましいスポーツ環境の 整備について	長岡市 スポーツ振興課 石川 智雄 様

6 おわりに

いつも当連盟の諸事業に対し、温かくご支援いただいている市教育委員会・関係競技団体・各中学校の皆様へ深く感謝申し上げます。

感染禍ではありましたが、感染症対策・熱中症対策を徹底しながら、滞りなく事業を進めることができました。

また、令和5年度から段階的に実施される休日の部活動の地域移行や働き方改革の視点で、専門部事業（スポーツ活動）の在り方を検討しました。心身の健康増進および健全育成に寄与することをねらいとし、活動を精選していきます。

さらに、来年度からは、中体連主催大会に地域スポーツ団体の参加が可能になります。大会参加認定にかかわる説明等、丁寧に対応し、地域の指導者と協力（競技役員や審判等）しながら、大会を運営していきます。

新型コロナウイルスの感染が新たな局面を迎えており、予見が難しい状況となっております。生徒・教職員・大会関係者の健康面・安全面を最優先に考えた感染症対策を徹底した上で、『社会の流れに対応しつつ、中学校体育・スポーツの振興を図る』活動を続けてまいります。

	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 体育	体づくり 体ほくしの運動(2) ゲーム 鬼遊び(3)	走・跳 かけっこ遊び(2) 投げ遊び(2) リレー遊び 体づくり いろいろな動きづくり(4)	器械・器具 遊具遊び 器械・器具 跳び箱遊び(3) 表現リズム遊び	水遊び 水遊び(10)	体づくり いろいろな動きづくり(6) 器械/器具	ゲーム ボール蹴りゲーム(10)	ゲーム ボール投げゲーム(4) 器械・器具	ゲーム 走・跳 跳び遊び(6)	体づくり 器械・器具 マット遊び(8)	ゲーム 表現リズム遊び 表現遊び(7)	走・跳 走・跳 リレー遊び(3)
2 体育	体づくり 体ほくしの運動(3) ゲーム 鬼遊び(3)	表現リズム遊び リズム遊び(6) 体づくり いろいろな動きづくり(4)	器械/器具 鉄棒遊び(4) ゲーム	水遊び 水遊び(10)	走・跳 かけっこ遊び(2) 投げ遊び(2) リレー遊び(2) 器械/器具 鉄棒遊び(3)	走・跳 跳び遊び(6) 器械・器具 遊具遊び(3) 体づくり いろいろな動きづくり	走・跳 かけっこ遊び(3) 器械・器具	表現リズム遊び 表現遊び(5) 走・跳 リレー遊び(3)	体づくり 体ほくしの運動 器械・器具 マット遊び(7) 体づくり いろいろな動きづくり(3)	ゲーム ボール蹴りゲーム(10)	ゲーム 鬼遊び(3)
3 体育	体づくり 体ほくしの運動(3) 体づくり いろいろな動きづくり(4)	走・跳の運動 ゲーム ネット型ゲーム	走・跳の運動 ゲーム ネット型ゲーム 保健(4) けんこうな生活	水泳運動 水泳運動(10) 保健(4) けんこうな生活	体づくり いろいろな動きづくり(2) 走・跳の運動 器械運動 マット運動(6)	走・跳の運動 器械運動 鉄棒運動(5) ゲーム ネット型ゲーム	ゲーム ゴール型ゲーム タグラグビー(6) ゲーム ネット型ゲーム	表現運動 表現(6) 体づくり いろいろな動きづくり(4)	体づくり運動 表現運動 リズムダンス(4)	ゲーム ベースボール型ゲーム キャッチボール 器械運動 跳び箱運動(6)	ゲーム ゴール型ゲーム ラインサッカー(6)
4 体育	体づくり 体ほくしの運動(3) 走・跳の運動	体づくり いろいろな動きづくり(3) 走・跳の運動	ゲームネット型ゲーム ソフトバレーボール(8) 保健(4) 体の成長とわたし	水泳運動 水泳運動(10) 保健(4) 体の成長とわたし	走・跳の運動 体づくり いろいろな動きづくり	器械運動 ゲーム ベースボール型ゲーム	ゲーム ゴール型ゲーム セストボール(6) 走・跳の運動	器械運動 跳び箱運動(6) 体づくり運動	表現運動 表現(5) ゲーム ゴール型ゲーム	体づくり いろいろな動きづくり 表現運動 リズムダンス(4)	ゲーム ゴール型ゲーム ハンドボール(6)
5 体育	体づくり 体ほくしの運動(3) 体づくり いろいろな動きづくり(3)	陸上運動 投運動(1) 陸上運動 短距離・リレー(6) ボール運動 ネット型 ソフトバレーボール(10)	水泳運動 水泳運動(10) 保健 心の健康(3)	水泳運動 水泳運動(10) 保健 心の健康(3)	体づくり いろいろな動きづくり 器械運動	陸上運動 投運動(1) ボール運動 ベースボール型 ティーンボール(11)	表現運動 表現(6) 陸上運動 走り幅跳び(4) 保健 けがの防止(5)	表現運動 表現(6) 陸上運動 走り高跳び(5)	体づくり運動 表現運動	ボール運動 ゴール型(12) サッカー タグラグビー	
6 体育	体づくり 体ほくしの運動(3) 体づくり いろいろな動きづくり(3)	陸上運動 器械運動 鉄棒運動(7) 陸上運動 ハードル走(5)	水泳運動 水泳運動(10) 保健 病気の予防1(4)	水泳運動 水泳運動(10) ボール運動 ネット型 ソフトバレーボール(9)	体づくり いろいろな動きづくり(3) 陸上運動 投運動(1) ボール運動	陸上運動 投運動(1) ボール運動	器械運動 跳び箱運動(6) 陸上運動 走り高跳び(5)	表現運動 外国のフォークダンス(2) 表現(6)	ボール運動 ゴール型(10) ハンドボール バスケットボール 保健 病気の予防(4)		

教科名	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 保健体育	体づくり運動	体育理論	球技 ネット型(8)		体づくり運動 (9)		保健 健康な生活と病気の予防(5)		保健 心身の発達と心の健康(11)		
		陸上競技-1 (7)	ダンス (9)	水泳 (9)	陸上競技-2	武道	器械運動 マット運動+ (鉄棒運動・平均台運動・跳び箱運動から1つ)(10)	体づくり運動 (3)	球技		
2 保健体育	体育理論 運動やスポーツの意義や効果(3)	陸上競技-1 (7)	ダンス	球技 ベースボール型 ソフトボール(8)	水泳 (9)	陸上競技-2	保健 健康な生活と病気の予防(7)		保健		
	体づくり運動 (2)						武道 (12)	器械運動 マット運動 +(鉄棒運動・平均台運動・跳び箱運動から1つ)(9)	体づくり運動 (3)	球技 ネット型(12)	
3 保健体育	体育理論 文化としてのスポーツの意義(3)		球技 ネット型(6)	選択2	体づくり運動 (4)		保健		保健		
	体づくり運動	選択1 陸上競技、器械運動から選択 (17)			選択3 陸上競技、ダンスから選択 (14)		選択4 球技、ベースボール型、武道から選択 (18)		球技		

V-2 評価に関する参考資料

文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター編
「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料

【 小学校体育 】

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_taiku.pdf



【 中学校保健体育 】

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_mid_hokent.pdf

